子ども・子育て支援に関する
アンケート調 査 報 告 書

平成 31 年３月

阿見町

もくじ

第１章　調査概要 1
１　調査目的 3
２　調査対象及び調査方法 3
３　回収状況 3
４　報告書の見方 4
第２章　就学前児童保護者 5
１　お住まいの地域について 7
（１）　居住地区 7
２　お子様とご家族のことについて 8
（１）　子どもの年齢 8
（２）　子どもの人数 8
（３）　調査票回答者 9
（４）　調査票回答者の配偶関係 9
（５）　主に子育てをしている人 9
３　子どもの育ちをめぐる環境について 10
（１）　子育てに日常的に関わっている人・施設 10
（２）　子育てに影響すると思われる環境 10
（３）　子どもをみてもらえる親族・友人の有無 11
（４）　祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況 11
（５）　友人・知人に子どもをみてもらっている状況 12
（６）　気軽に相談できる人・場所の有無 13
（７）　気軽に相談できる人・場所 13
４　保護者の就労状況について 14
（１）　母親の就労状況 14
（２）　就労している母親の就労日数・就労時間 15
（３）　就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻 16
（４）　父親の就労状況 17
（５）　就労している父親の就労日数・就労時間 18
（６）　就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻 19
（７）　パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望 20
（８）　パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望 21
（９）　就労していない母親の就労希望 22
（１０）　就労していない父親の就労希望 24
５　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 25
（１）　平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況 25

（２）　利用している平日の定期的な教育・保育の事業 25
（３）　平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望 26
（４）　平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所 28
（５）　平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由 28
（６）　平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由 29
（７）　利用したい平日の定期的な教育・保育の事業 30
（８）　平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所 31
（９）　幼稚園の強い利用希望 31
（１０）　平日の教育・保育の事業を選ぶ際に重視する点 32
（１１）　無償化による、利用意向の変化について 33
（１２）　幼児教育、保育の無償化により起こりうること 34
６　　地域の子育て支援事業の利用状況について 35
（１）　地域子育て支援拠点事業の利用状況 35
（２）　地域子育て支援拠点事業の利用希望 37
（３）　各種事業の認知度 39
（４）　各種事業の利用状況 41
（５）　各種事業の利用意向 43
７　　土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について 45
（１）　定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望 45
（２）　定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望 46
（３）　土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由 47
（４）　定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望 48
（５）　長期休暇期間中、たまに利用したい理由 49
８　　お子様の病気の際の対応について　【平日の教育・保育事業の利用者のみ】 50
（１）　病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと 50
（２）　事業が利用できなかった場合の対処方法 51
（３）　病児・病後児保育施設等の利用希望 53
（４）　病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態 54
（５）　病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 54
（６）　父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったか 55
（７）　休んでみることが難しい理由 56
９　　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 57
（１）　利用している不定期の教育・保育の事業 57
（２）　不定期の教育・保育の事業を利用していない理由 59
（３）　私用等の目的での事業の利用希望 60
（４）　子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと 62
（５）　親族・知人にみてもらった場合の困難度 64
１０　　小学校就学後の放課後の過ごし方について 65

（１） 希望する低学年時の放課後の過ごし方 65
（２） 希望する高学年時の放課後の過ごし方 67
（３） 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 69
（４） 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 70
（５） 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 71
１１ 職場の両立支援制度について 72
（１） 母親の育児休業の取得状況 72
（２） 父親の育児休業の取得状況 74
（３） 育児休業取得後の状況 76
（４） 育児休業から職場に復帰する時期 77
（５） 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由 78
（６） 育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由 79
（７） 子どもが１歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向 79
１２ 子育て支援施策全般について 80
（１） 子育てに関しての不安感や負担感 80
（２） 子育てに関する悩み・気になること 81
（３） 阿見町の子育て環境について 82
（４） 子育ての環境や支援への満足度 83
（５） 阿見町に期待する子育て支援 84
第３章 小学生保護者 85
１ お住まいの地域について 87
（１） 居住地区 87
２ お子様とご家族のことについて 88
（１） 子どもの学年 88
（２） 子どもの人数 88
（３） 調査票回答者 89
（４） 調査票回答者の配偶関係 89
（５） 主に子育てをしている人 89
３ 子どもの育ちをめぐる環境について 90
（１） 子育てに日常的に関わっている人・施設 90
（２） 子育てに影響すると思われる環境 90
（３） 子どもをみてもらえる親族・友人の有無 91
（４） 気軽に相談できる人・場所の有無 92
（５） 気軽に相談できる人・場所 92
４ 保護者の就労状況について 93
（１） 母親の就労状況 93
（２） 就労している母親の就労日数・就労時間 94
（３） 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻 95

（４） 父親の就労状況 96
（５） 就労している父親の就労日数・就労時間 97
（６） 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻 98
（７） パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望 99
（８） パート・アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望 99
（９） 就労していない母親の就労希望 100
（１０） 就労していない父親の就労希望 102
５ お子様の病気の際の対応について 103
（１） 病気やケガで学校を休まなければならなかったこと 103
（２） 学校を休んだり、預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法 104
（３） 病児・病後児保育施設等の利用希望 106
（４） 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態 107
（５） 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 107
（６） 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか 108
（７） 休んでみることが難しい理由 108
６ 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 109
（１） 利用している不定期の教育・保育の事業 109
（２） 不定期の教育・保育の事業を利用していない理由 110
（３） 私用等の目的での事業の利用希望 111
（４） 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと 113
７ 小学校就学後の放課後の過ごし方について 115
（１） 希望する低学年時の放課後の過ごし方 115
（２） 希望する高学年時の放課後の過ごし方 117
（３） 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 119
（４） 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 120
（５） 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望 121
（６） 現在の放課後の過ごし方 122
８ 子育て支援施策全般について 124
（１） 子育てに関しての不安感や負担感 124
（２） 子育てに関する悩み・気になること 125
（３） 阿見町の子育て環境について 126
（４） 子育ての環境や支援への満足度 127
（５） 阿見町に期待する子育て支援 128

第1章　調査概要

1　調査目的

本調査は、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、「第２期阿見町子ども・子育て支援事業計画」の資料とするため、保育ニーズや子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、ニーズ調査として実施しました。

2　調査対象及び調査方法

（１）調査対象

	調査対象者	対象者数	
1	就学前児童保護者	2,530 人	保育所（園）、認定こども園就園児は各園を通じた配布・回収 幼稚園児、未就園児は郵送配布・回収
2	小学生保護者	1,219 人	小学１・３・５年生を対象に学校を通じた配布・郵送回収

（２）調査期間：平成 31 年 2 月 5 日～平成 31 年 2 月 20 日

3　回収状況

	対象者	配付数	回収数	回収率(%)
1	就学前児童保護者	2,530 人	1,349 件	53.3%
2	小学生保護者	1,219 人	567 件	46.5%

４　報告書の見方

（１）比率は、小数点以下第２位を四捨五入しています。このため比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記しています。また、合計が 100.0％とならないこともあります。

（２）複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が 100％を超えることがあります。

（３）グラフ中の（N:○○）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。

（４）クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

第2章　就学前児童保護者

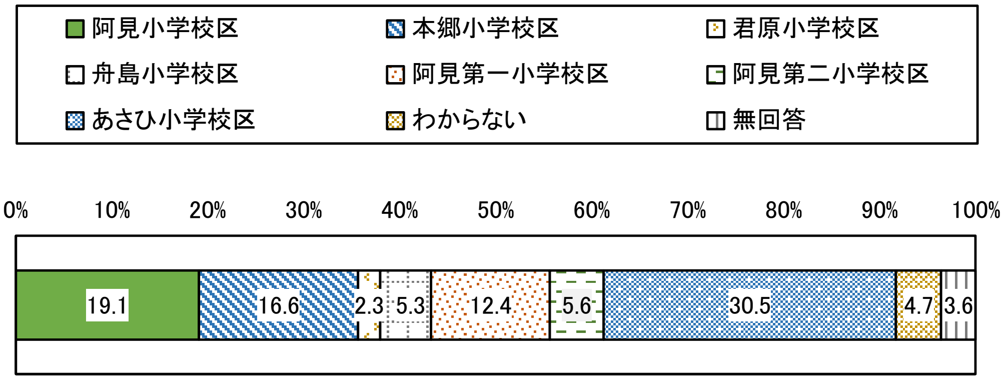
1　お住まいの地域について

（1）居住地区

問1　お住まいの地区は次のうちどちらですか。（1つに○）

居住地区は、「あさひ小学校区」が 30.5％で最も多く、次いで「阿見小学校区」が 19.1％、「本郷小学校区」が 16.6％、「阿見第一小学校区」が 12.4％、「阿見第二小学校区」が 5.6％となっています。

(n=1,349)

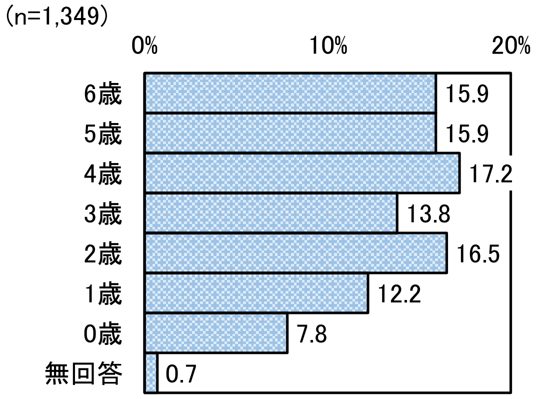


2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの年齢

問2 お子さんの生年月をご記入ください。

子どもの年齢は、「4 歳」が 17.2％で最も多く、次いで「2 歳」が 16.5％、「5 歳」、「6 歳」がともに 15.9％、「3 歳」が 13.8％となっています。

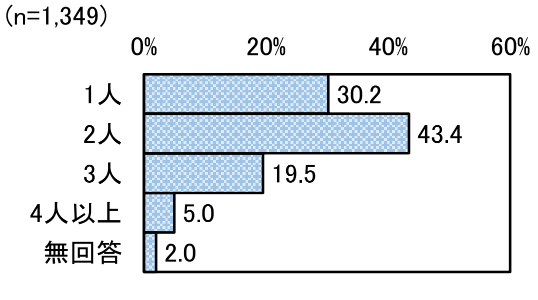


(2) 子どもの人数

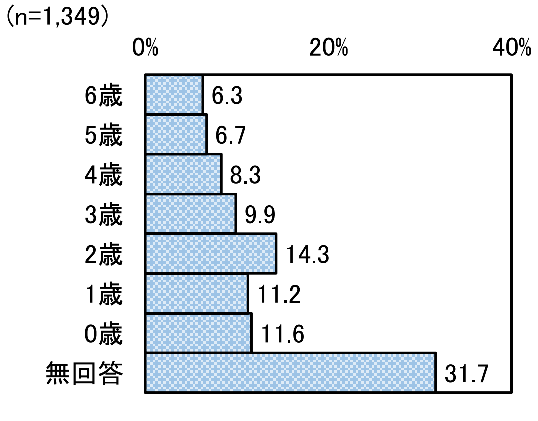
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの人数は、「2 人」が 43.4％で最も多く、次いで「1 人」が 30.2％、「3 人」が 19.5％、「4 人以上」が 5.0％、「無回答」が 2.0％となっています。また、末子の年齢は、「2 歳」が 14.3％で最も多く、次いで「0 歳」が 11.6％、「1 歳」が 11.2％、「3 歳」が 9.9％、「4 歳」が 8.3％となっています。

・きょうだいの数



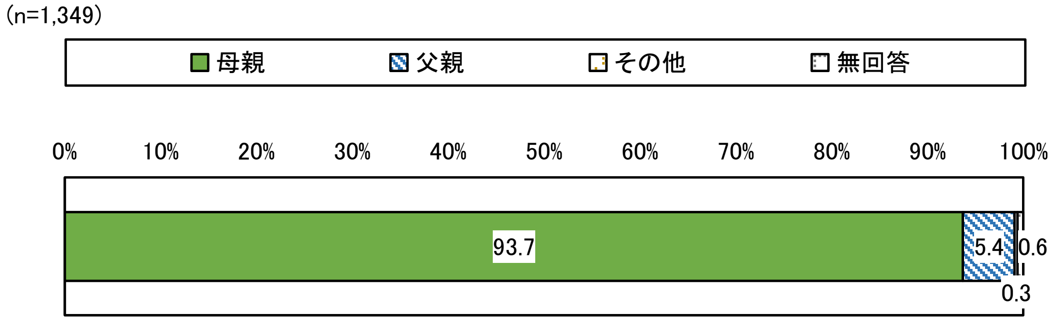
・末子の年齢



（3）調査票回答者

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

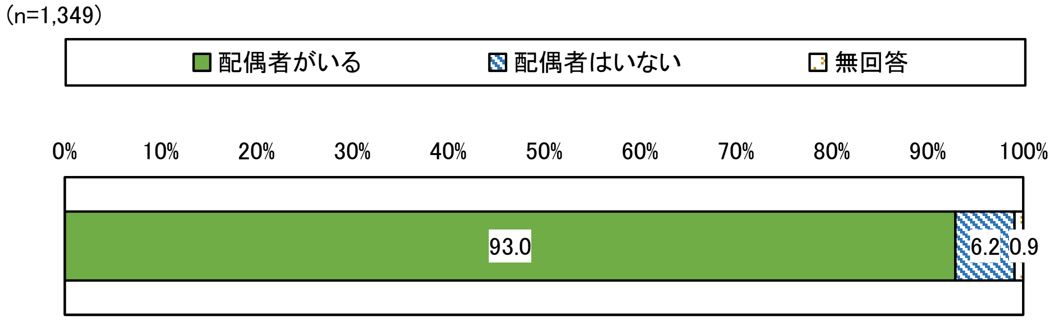
調査票回答者は、「母親」が 93.7%、「父親」が 5.4%となっています。



（4）調査票回答者の配偶関係

問5　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）

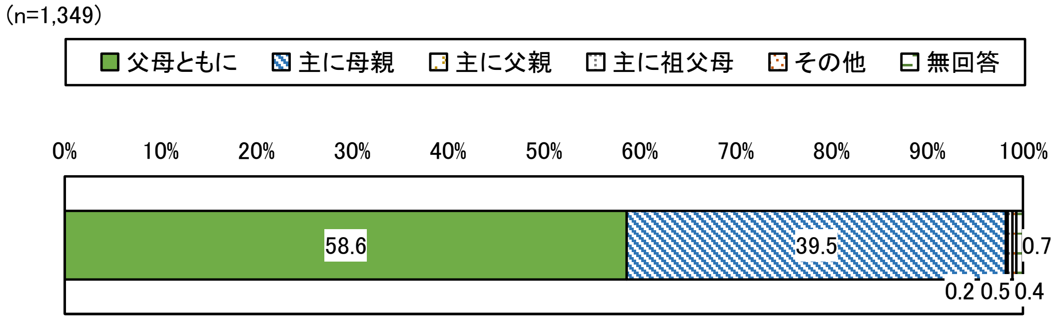
調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 93.0%、「配偶者はいない」が 6.2%となっています。



（5）主に子育てをしている人

問6　お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が 58.6%で最も多く、次いで「主に母親」が 39.5%、「主に祖父母」が 0.5%、「主に父親」が 0.2%となっています。



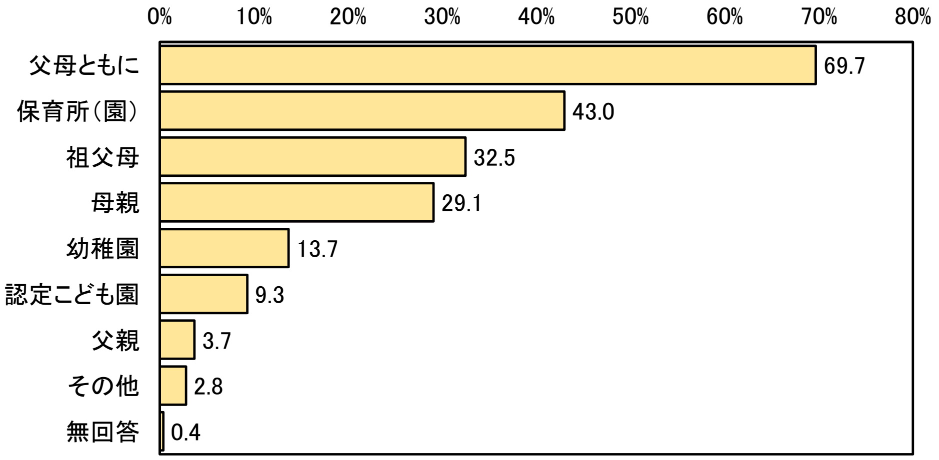
3　子どもの育ちをめぐる環境について

（1）子育てに日常的に関わっている人・施設

問7　お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が 69.7%で最も多く、次いで「保育所（園)」が 43.0%、「祖父母」が 32.5%、「母親」が 29.1%、「幼稚園」が 13.7%となっています。

（n=1,349）

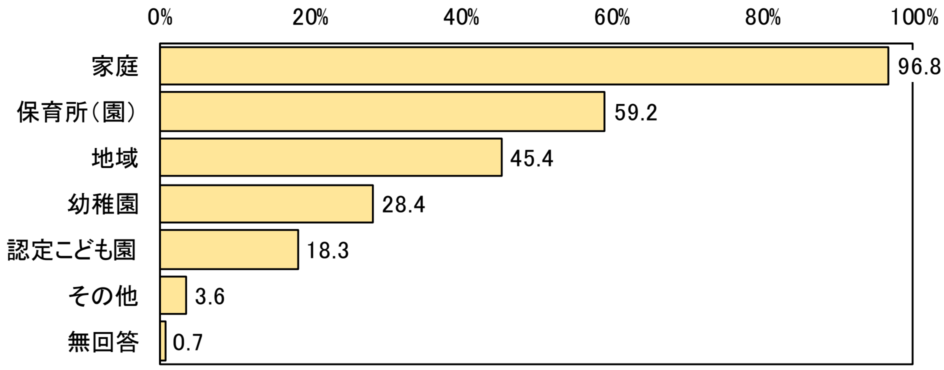


（2）子育てに影響すると思われる環境

問8　お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が 96.8%で最も多く、次いで「保育所（園)」が 59.2%、「地域」が 45.4%、「幼稚園」が 28.4%、「認定こども園」が 18.3%となっています。

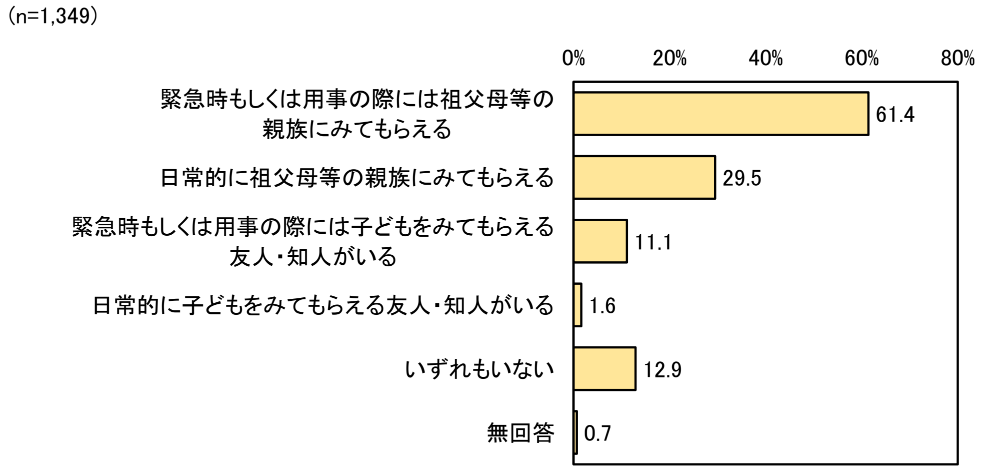
（n=1,349）



（3）子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9　保育所等施設の通所の有無に関わらず、日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）

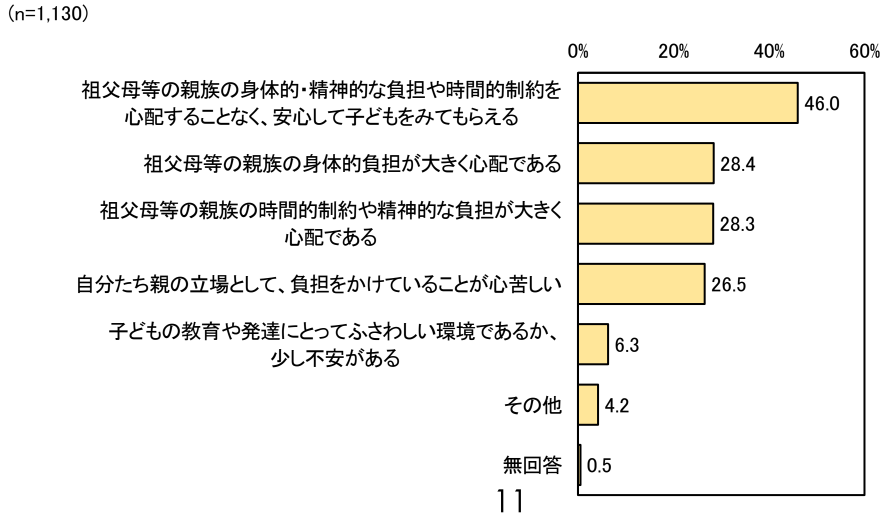
子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 61.4％で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 29.5％、「いずれもいない」が 12.9％、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 11.1％、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 1.6％となっています。



（4）祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況

問9で「１」、「２」に○をつけた方のみ
問9－１　祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

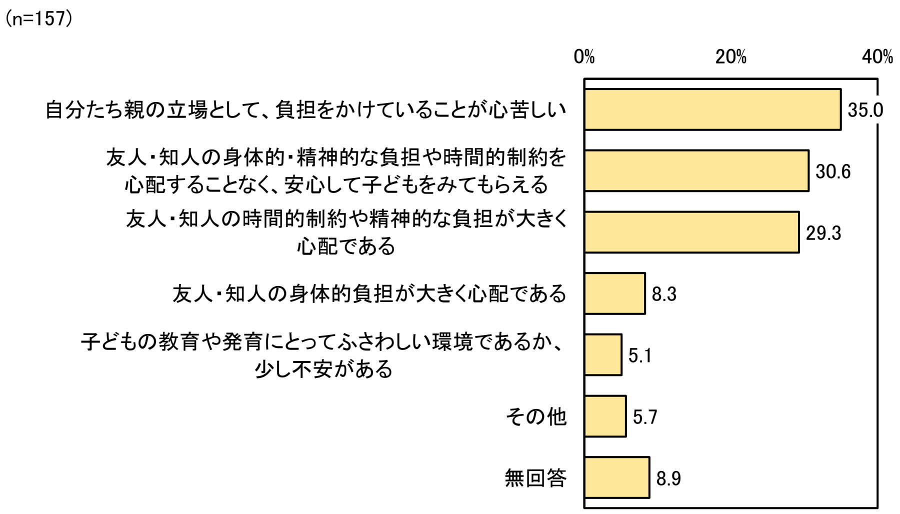
祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 46.0％で最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 28.4％、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 28.3％、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 26.5％、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が 6.3％となっています。



(5) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9で「3」、「4」に○をつけた方のみ
問9－2　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

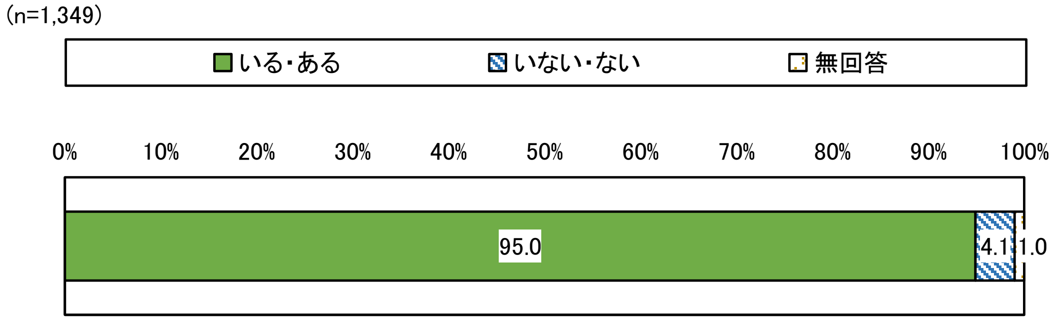
友人・知人に子どもをみてもらっている状況は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 35.0％で最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 30.6％、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 29.3％、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が 8.3％となっています。



（6）気軽に相談できる人･場所の有無

問 10　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（1つに○）

気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる・ある」が 95.0％、「いない・ない」が 4.1％となっています。

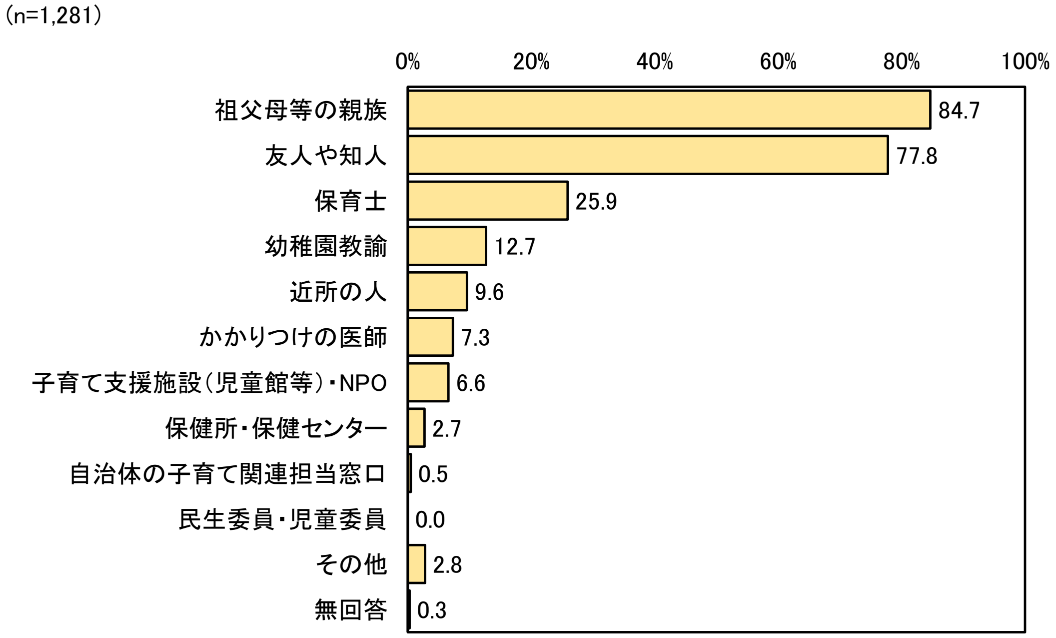


（7）気軽に相談できる人･場所

問 10 で「1. いる･ある」に○をつけた方のみ

問 10－1　お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が 84.7％で最も多く、次いで「友人や知人」が 77.8％、「保育士」が 25.9％、「幼稚園教諭」が 12.7％、「近所の人」が 9.6％となっています。



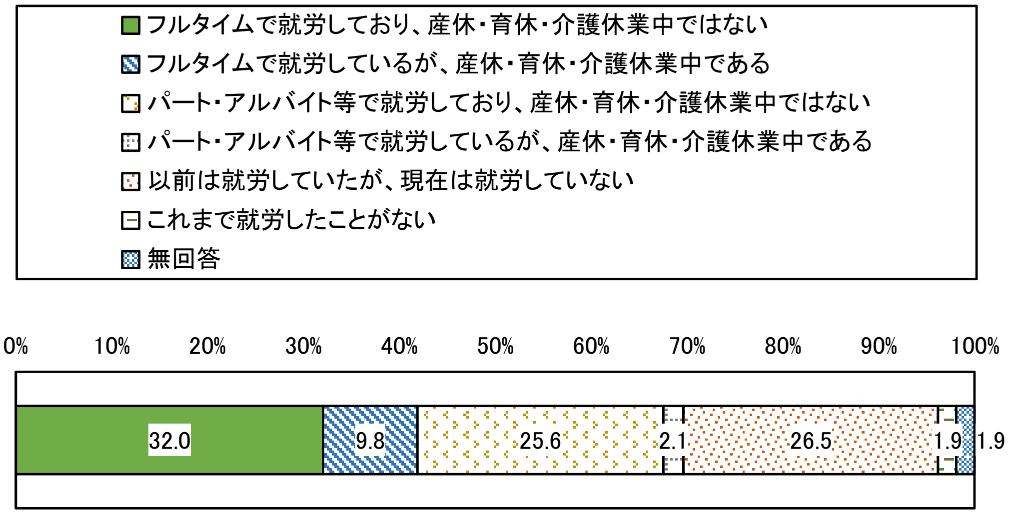
４　保護者の就労状況について

（1）母親の就労状況

問 12　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つに○）
（1）母親 【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 32.0％で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 26.5％、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 25.6％、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 9.8％、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 2.1％となっています。

(n=1,349)



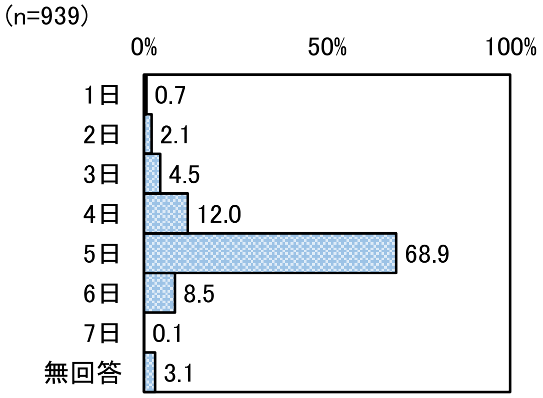
（2）就労している母親の就労日数・就労時間

（1）で「1」～「4」に○をつけた方のみ
（1）－1　1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

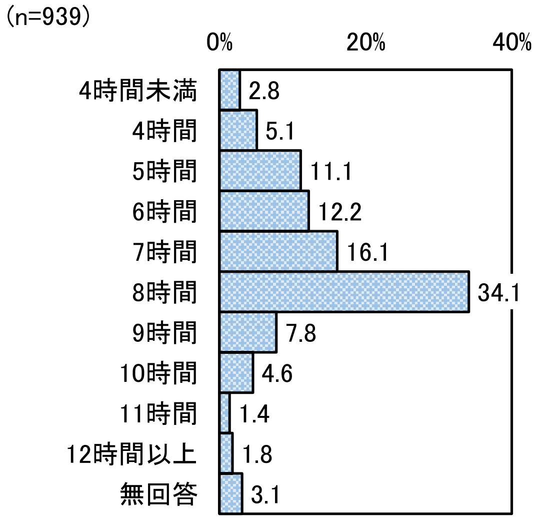
就労している母親の１週あたりの就労日数は、「5 日」が 68.9％で最も多く、次いで「4 日」が 12.0％、「6 日」が 8.5％、「3 日」が 4.5％、「2 日」が 2.1％となっています。

また、１日あたりの就労時間は、「8 時間」が 34.1％で最も多く、次いで「7 時間」が 16.1％、「6 時間」が 12.2％、「5 時間」が 11.1％、「9 時間」が 7.8％となっています。

・１週あたりの就労日数



・１日あたりの就労時間



(3) 就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

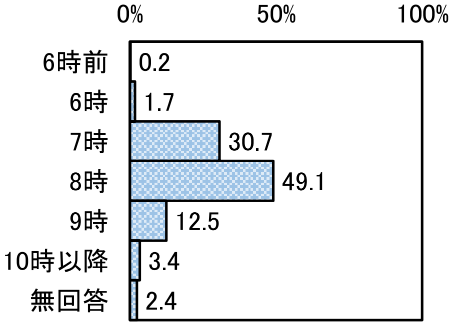
(1)で「1」～「4」に○をつけた方のみ
(1)－2　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

就労している母親の家を出る時刻は、「8 時」が 49.1%で最も多く、次いで「7 時」が 30.7%、「9 時」が 12.5%、「10 時以降」が 3.4%、「6 時」が 1.7%となっています。

また、帰宅時刻は、「18 時」が 39.9%で最も多く、次いで「17 時」が 19.7%、「19 時」が 14.5%、「16 時」が 7.3%、「15 時」が 4.7%となっています。

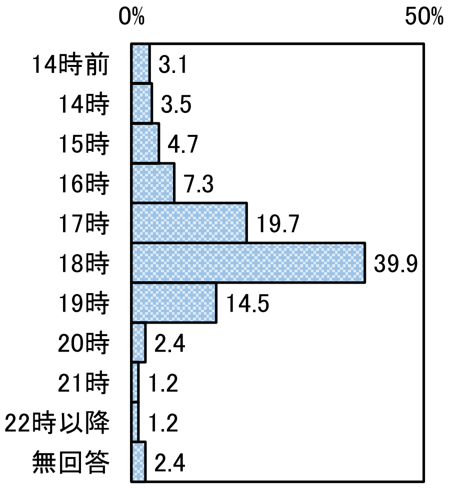
・家を出る時刻

(n=939)



・帰宅時刻

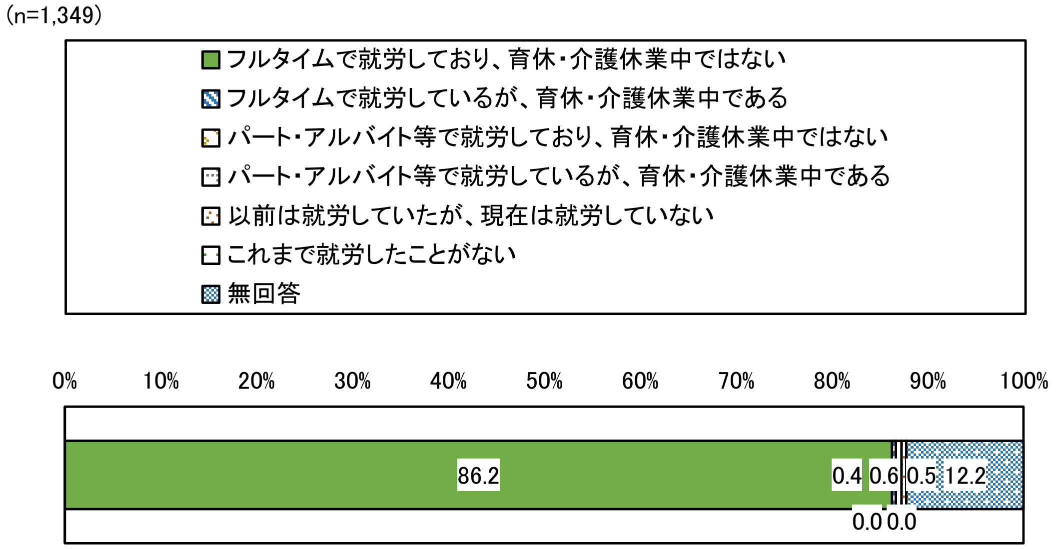
(n=939)



（4）父親の就労状況

問 12　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つに○） （2）父親 【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 86.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 0.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.5%、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が 0.4%となっています。



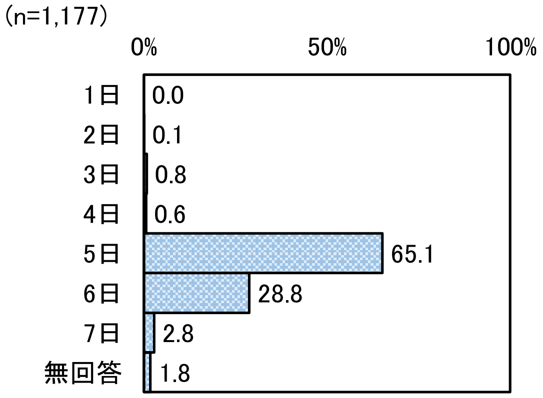
(5) 就労している父親の就労日数・就労時間

(2)で「1」～「4」に○をつけた方のみ
(2)－1　1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

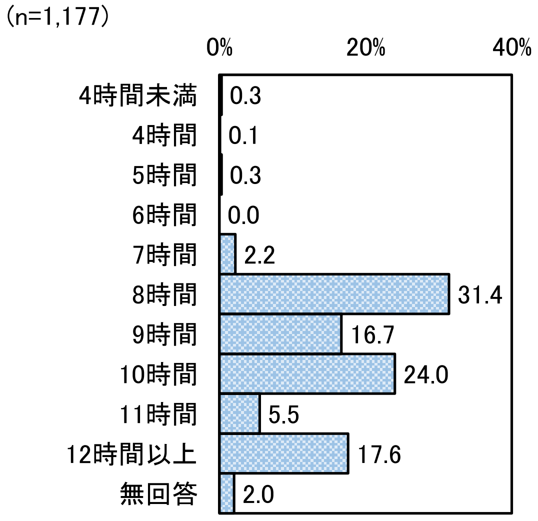
就労している父親の１週あたりの就労日数は、「5 日」が 65.1％で最も多く、次いで「6 日」が 28.8％、「7 日」が 2.8％、「3 日」が 0.8％、「4 日」が 0.6％となっています。

また、１日あたりの就労時間は、「8 時間」が 31.4％で最も多く、次いで「10 時間」が 24.0％、「12 時間以上」が 17.6％、「9 時間」が 16.7％、「11 時間」が 5.5％となっています。

・１週あたりの就労日数



・１日あたりの就労時間



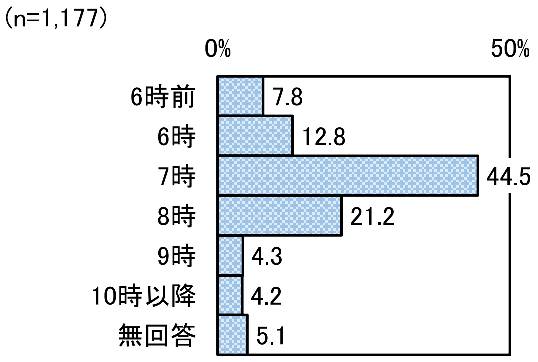
（6）就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

（2）で「１」～「４」に○をつけた方のみ
（2）－２　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

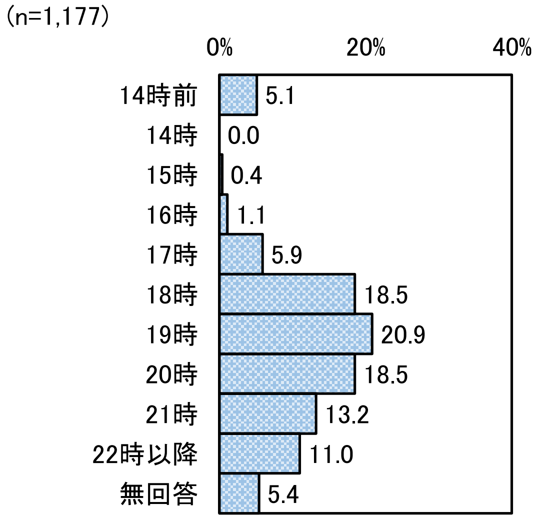
就労している父親の家を出る時刻は、「7 時」が 44.5％で最も多く、次いで「8 時」が 21.2％、「6 時」が 12.8％、「6 時前」が 7.8％、「9 時」が 4.3％となっています。

また、帰宅時刻は、「19 時」が 20.9％で最も多く、次いで「18 時」、「20 時」がともに 18.5％、「21 時」が 13.2％、「22 時以降」が 11.0％となっています。

・家を出る時刻



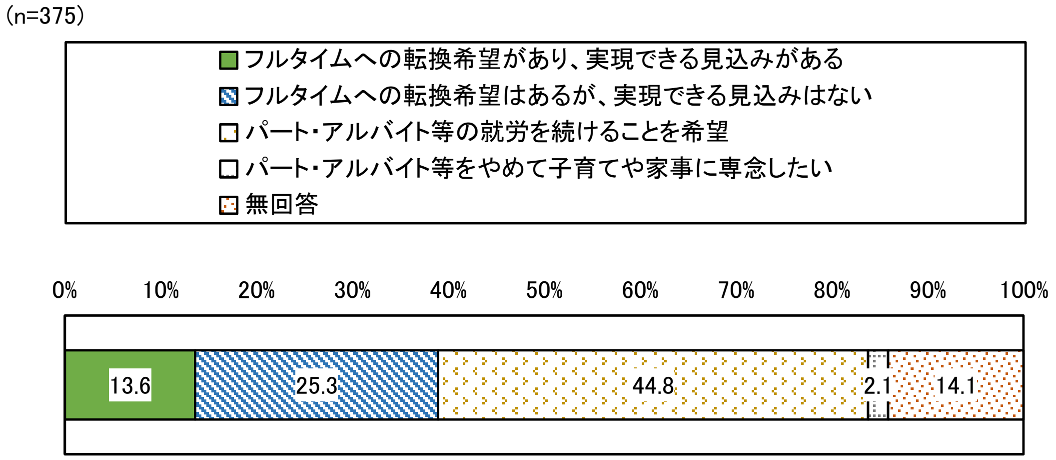
・帰宅時刻



（7）パート･アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問 12 の（１）または（2）で「３」、「４」（パート･アルバイト等で就労）に○をつけた方のみ
問 13　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに○）

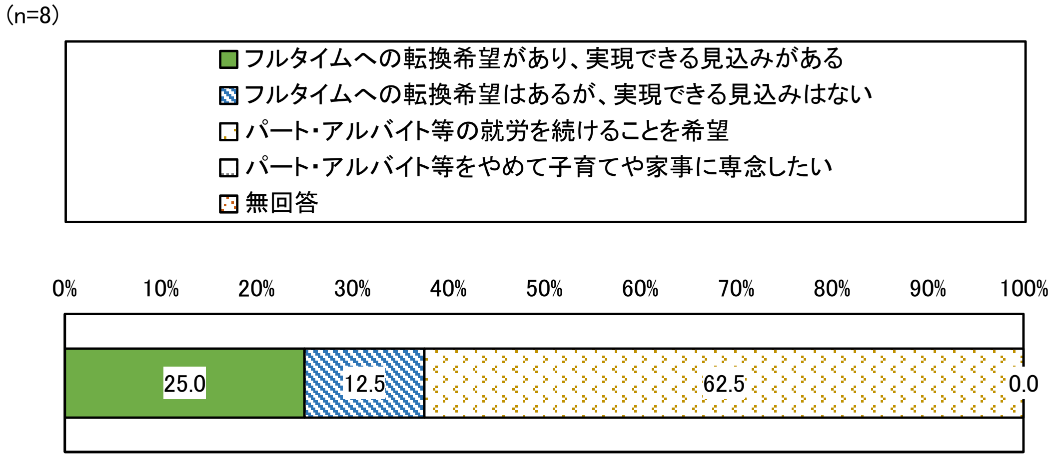
パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 44.8％で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.3％、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 13.6％、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 2.1％となっています。



（8）パート･アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問 12 の（1）または（2）で「3」、「4」（パート･アルバイト等で就労）に〇をつけた方のみ
問 13　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに〇）

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 62.5％で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 25.0％、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 12.5％となっています。



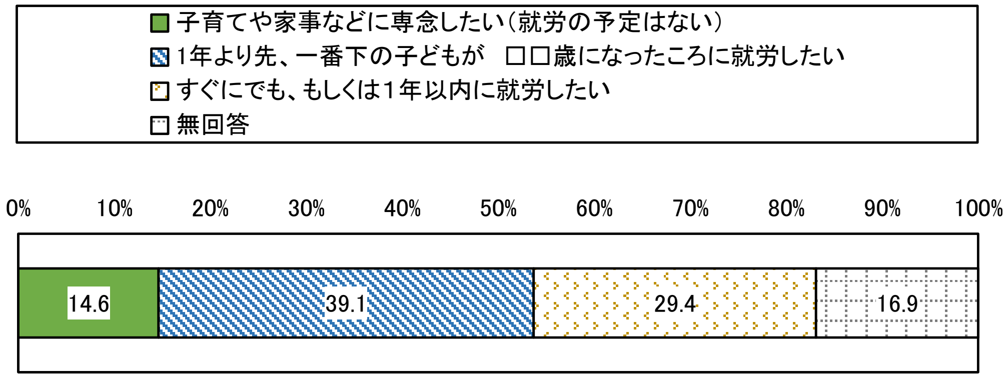
（9）就労していない母親の就労希望

問 12 の（1）または（2）で「5」、「6」（就労していない）に○をつけた方のみ
問 14　就労したいという希望はありますか。（それぞれ該当する番号・記号１つに○、該当する□内に記入）

就労していない母親の就労希望は、「1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が 39.1％で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 29.4％、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 14.6％となっています。

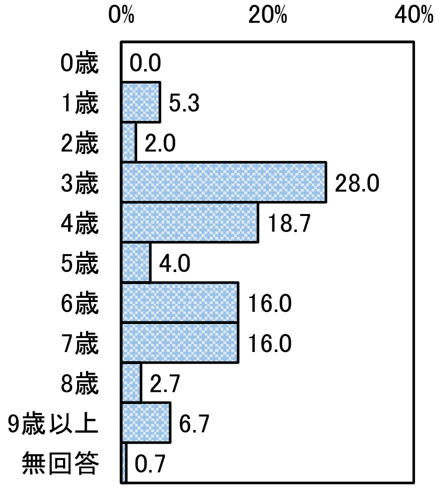
なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「3 歳」が 28.0％で最も多く、次いで「4 歳」が 18.7％、「6 歳」、「7 歳」がともに 16.0％、「9 歳以上」が 6.7％となっています。

（n=384）



・母親の就労希望時の下の子どもの年齢

（n=150）

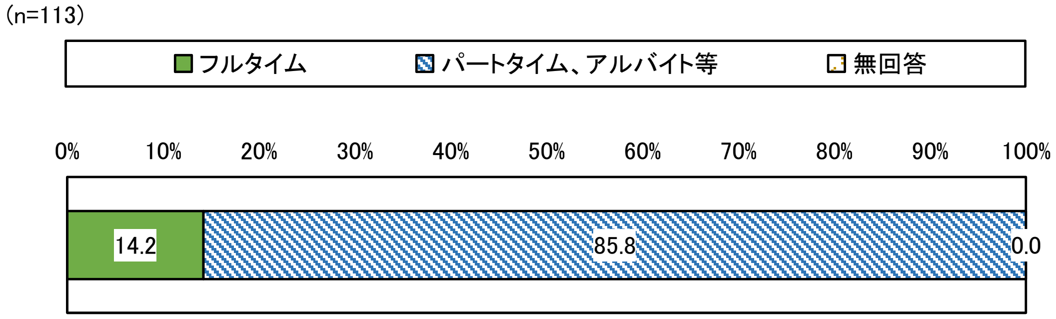


１年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が 85.8%、「フルタイム」が 14.2%となっています。

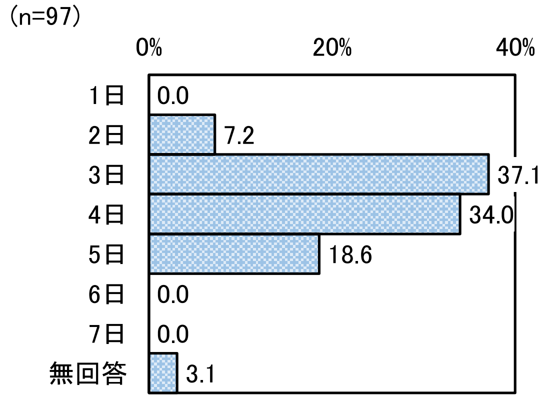
パートタイム、アルバイト等を希望する場合の１週当たりの就労日数は、「3 日」が 37.1%で最も多く、次いで「4 日」が 34.0%、「5 日」が 18.6%、「2 日」が 7.2%となっています。

また、１日当たりの就労時間は、「5 時間」が 39.2%で最も多く、次いで「4 時間」が 26.8%、「6 時間」が 15.5%、「7 時間」が 6.2%、「4 時間未満」が 5.2%となっています。

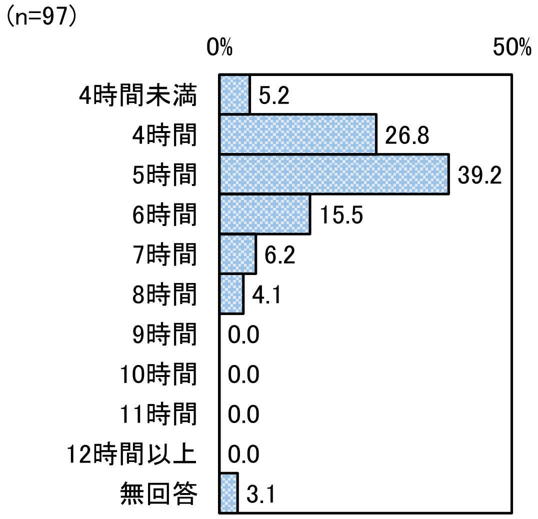
・希望する就労形態



・希望する１週あたりの就労日数



・希望する１日あたりの就労時間

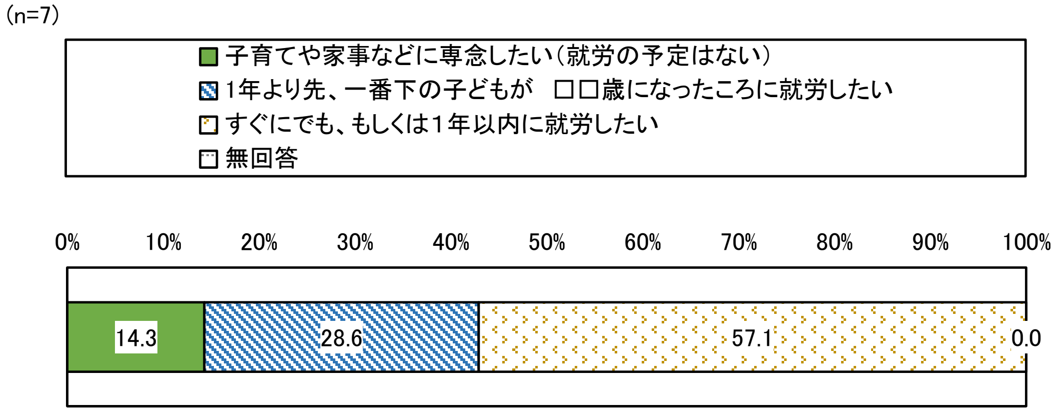


（10）就労していない父親の就労希望

問 12 の（1）または（2）で「5」、「6」（就労していない）に〇をつけた方のみ
問 14　就労したいという希望はありますか。（それぞれ該当する番号・記号１つに〇、該当する□内に記入）

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 57.1％で最も多く、次いで「1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が 28.6％、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 14.3％となっています。

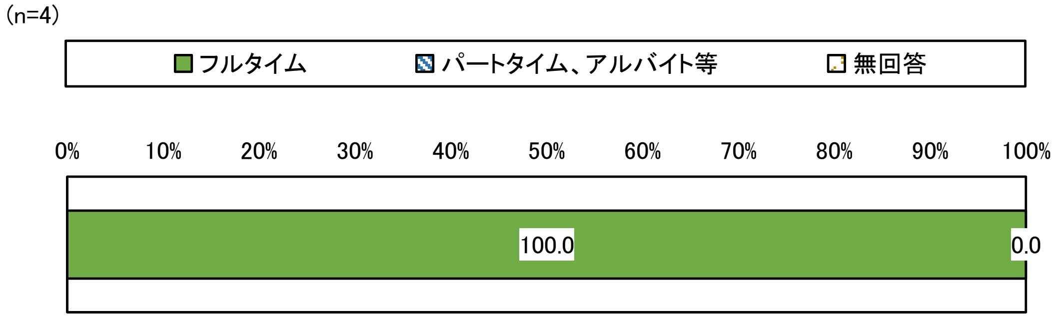
なお、父親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「6 歳」が２人となっています。



１年以内に就労したい父親が希望する就労形態は、「フルタイム」が４人となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の１週当たりの就労日数、１日当たりの就労時間についての回答は得られませんでした。

・希望する就労形態



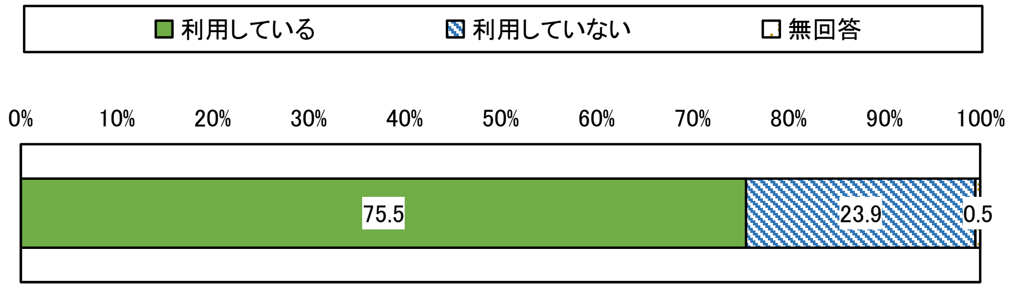
5　平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

（1）平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

問 15　お子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つに○）

平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が 75.5％、「利用していない」が 23.9％となっています。

（n=1,349）



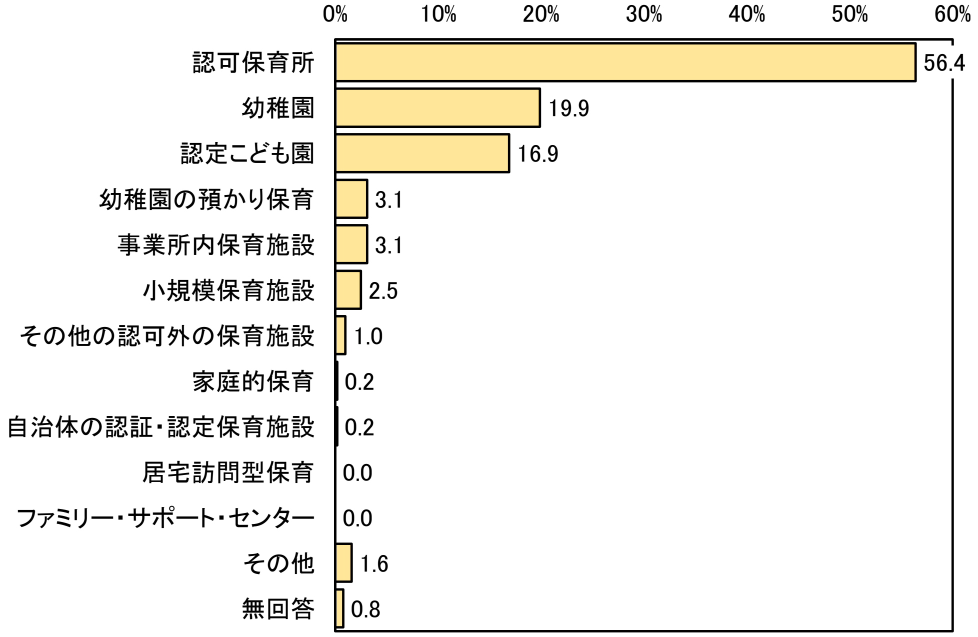
（2）利用している平日の定期的な教育・保育の事業

問 15 で「1．利用している」に○をつけた方のみ

問　15－1　お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

利用している平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育所」が 56.4％で最も多く、次いで「幼稚園」が 19.9％、「認定こども園」が 16.9％、「幼稚園の預かり保育」、「事業所内保育施設」がともに 3.1％となっています。

（n=1,019）



（3）平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況・利用希望

問 15 で「1. 利用している」に〇をつけた方のみ
問　15－２　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

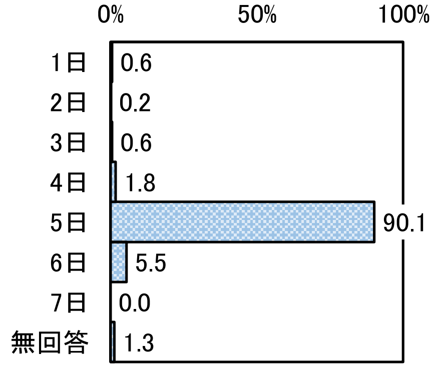
平日の定期的な教育・保育の事業の１週あたりの現在の利用日数は、「5 日」が 90.1％で最も多く、希望の利用日数も「5 日」が 56.5％で最も多くなっています。

１日あたりの現在の利用時間は、「10 時間」が 20.9％で最も多く、希望の利用時間も「10 時間」が 14.1％で最も多くなっています。

・１週あたりの利用日数

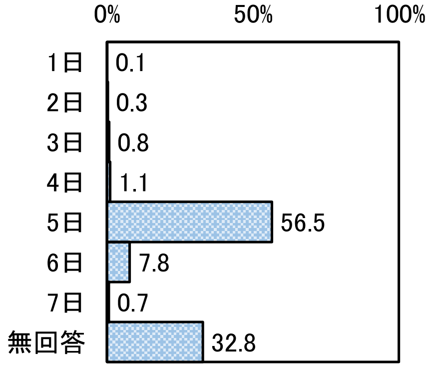
【現在】

(n=1,019)



【希望】

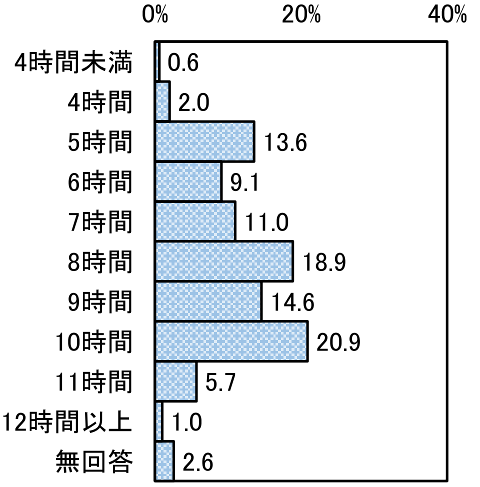
(n=1,019)



・１日あたりの利用時間

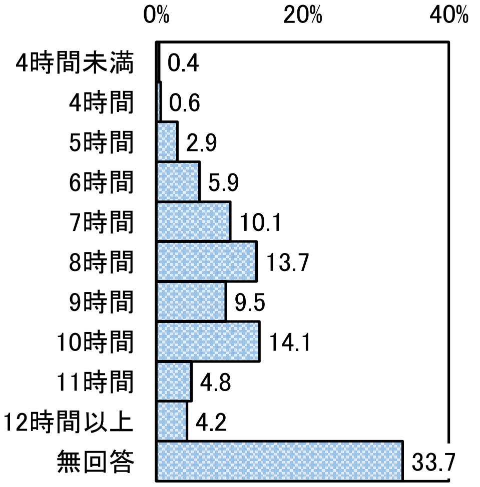
【現在】

(n=1,019)



【希望】

(n=1,019)



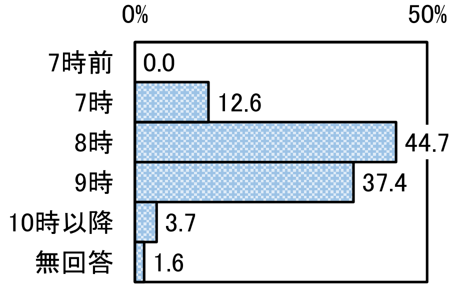
現在の利用開始時刻は、「8 時」が 44.7％で最も多く、次いで「9 時」が 37.4％となっており、希望の開始時刻も、「8 時」が 30.7％で最も多く、次いで「9 時」が 22.1％となっています。

現在の利用終了時刻は、「18 時」が 27.0％で最も多く、次いで「16 時」が 22.1％となっていますが、希望の終了時刻は、「16 時」が 16.2％で最も多く、次いで「18 時」が 16.0％となっています。

・利用開始時刻

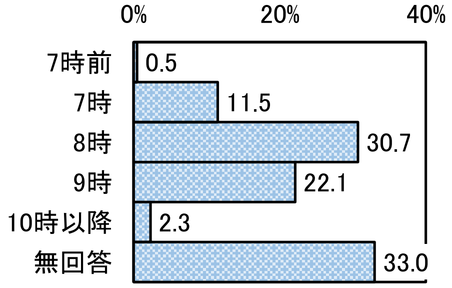
【現在】

(n=1,019)



【希望】

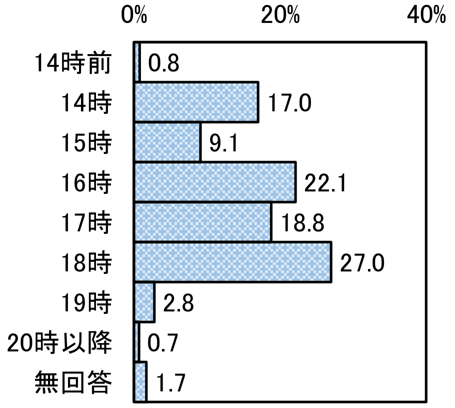
(n=1,019)



・利用終了時刻

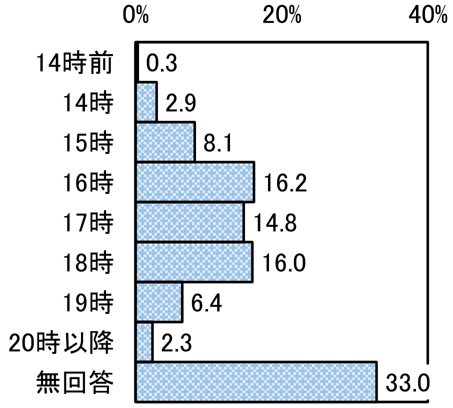
【現在】

(n=1,019)



【希望】

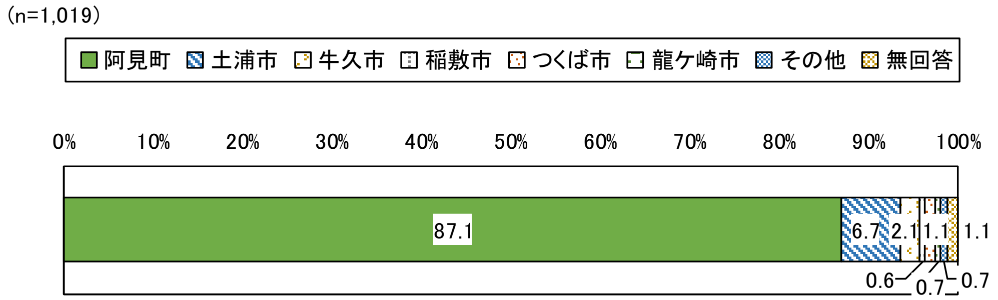
(n=1,019)



(4) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所

問 15 で「1. 利用している」に〇をつけた方のみ
問 15－3　現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つに〇)

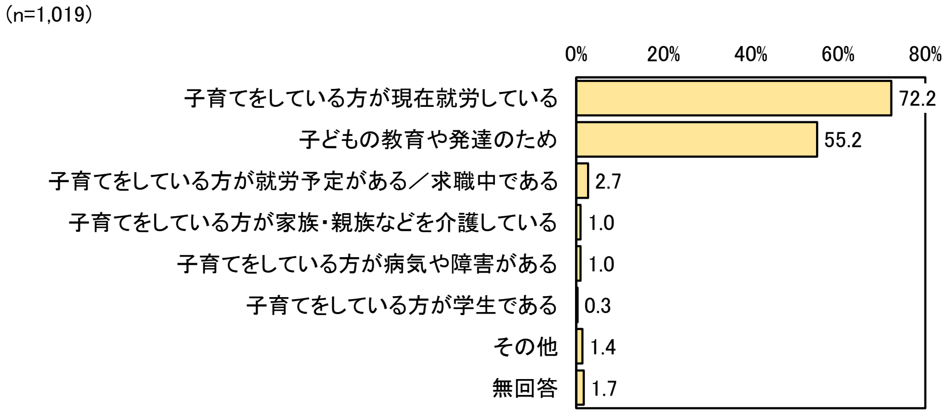
平日の定期的な教育・保育の事業を利用している場所は、「阿見町」が 87.1%で最も多く、次いで「土浦市」が 6.7%、「牛久市」が 2.1%、「つくば市」が 1.1%、「龍ケ崎市」が 0.7%となっています。



(5) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由

問 15 で「1. 利用している」に〇をつけた方のみ
問 15－4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに〇)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用する理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が 72.2%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 55.2%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」が 2.7%、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」、「子育てをしている方が病気や障害がある」がともに 1.0%となっています。

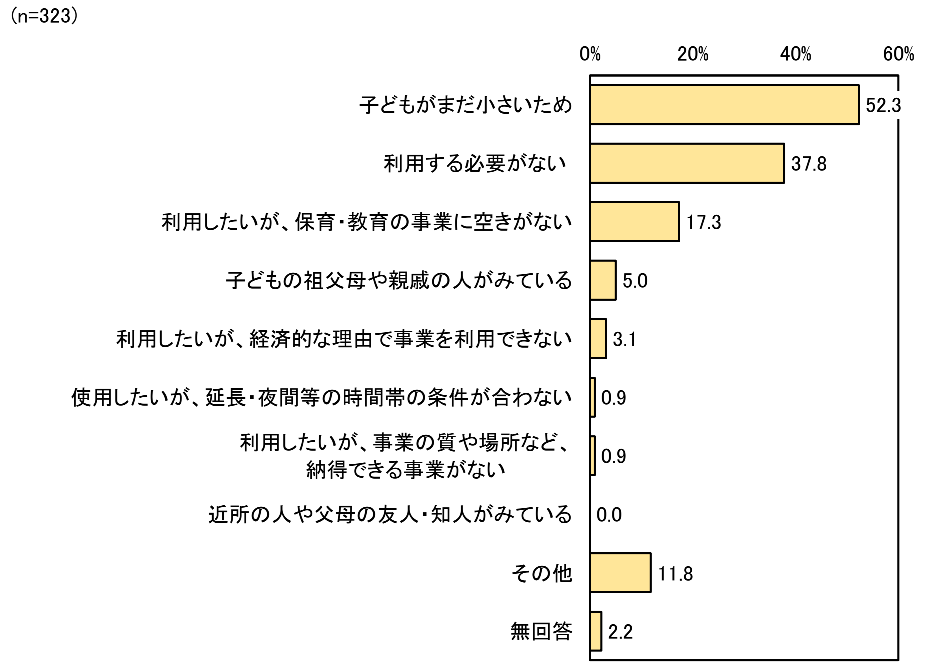


（6）平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由

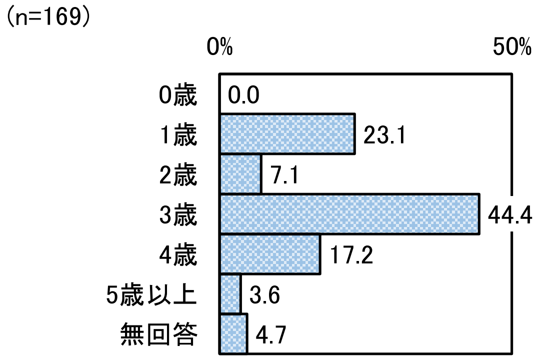
問 15 で「2. 利用していない」に〇をつけた方のみ
問 15－5　利用していない理由としてあてはまるものをお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 52.3％で最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 37.8%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 17.3%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 5.0%となっています。

なお、事業の利用を予定している子どもの年齢は、「3 歳」が 44.4%で最も多くなっています。



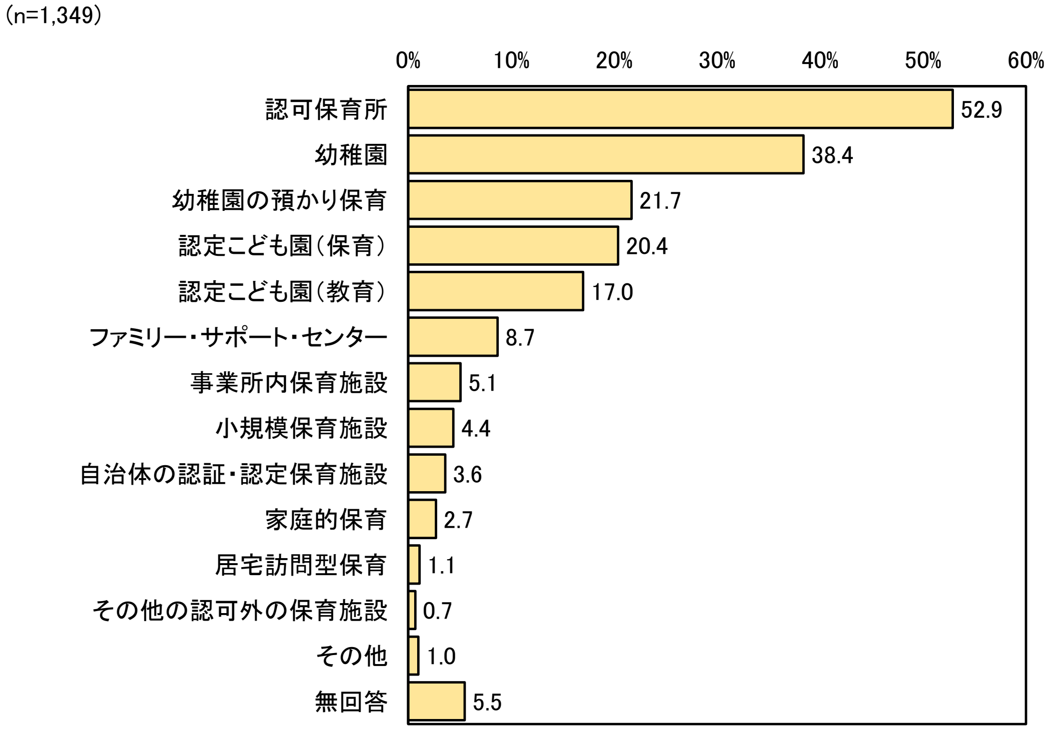
・事業の利用を予定している子どもの年齢



（7）利用したい平日の定期的な教育・保育の事業

問 16　現在の利用状況にかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（あてはまるものすべてに○）

利用したい平日の定期的な教育・保育の事業は、「認可保育所」が 52.9％で最も多く、次いで「幼稚園」が 38.4％、「幼稚園の預かり保育」が 21.7％、「認定こども園（保育）」が 20.4％、「認定こども園（教育）」が 17.0％となっています。

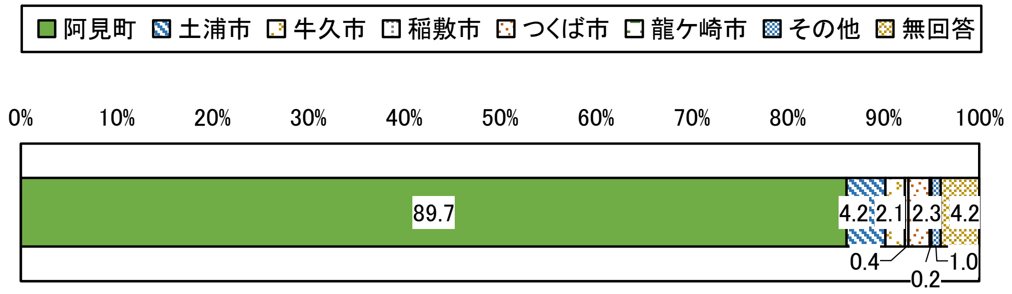


（8）平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所

問 16－１　教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。（1つに○）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用したい場所は、「阿見町」が 89.7%で最も多く、次いで「土浦市」が 4.2%、「つくば市」が 2.3%、「牛久市」が 2.1%となっています。

（n=1,349）



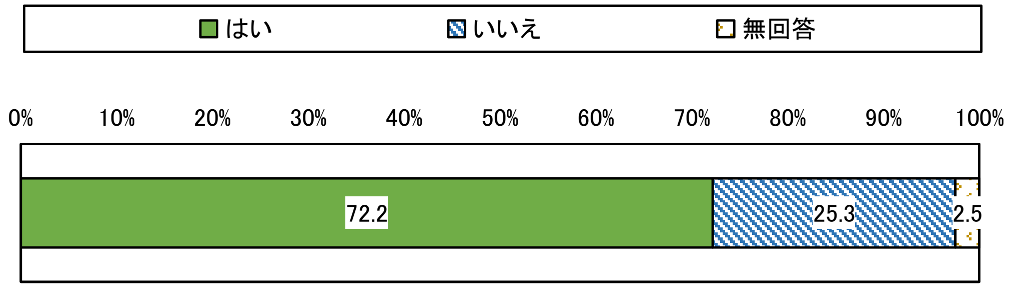
（9）幼稚園の強い利用希望

問 16 で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方のみ

問 16－２　特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が 72.2%、「いいえ」が 25.3%となっています。

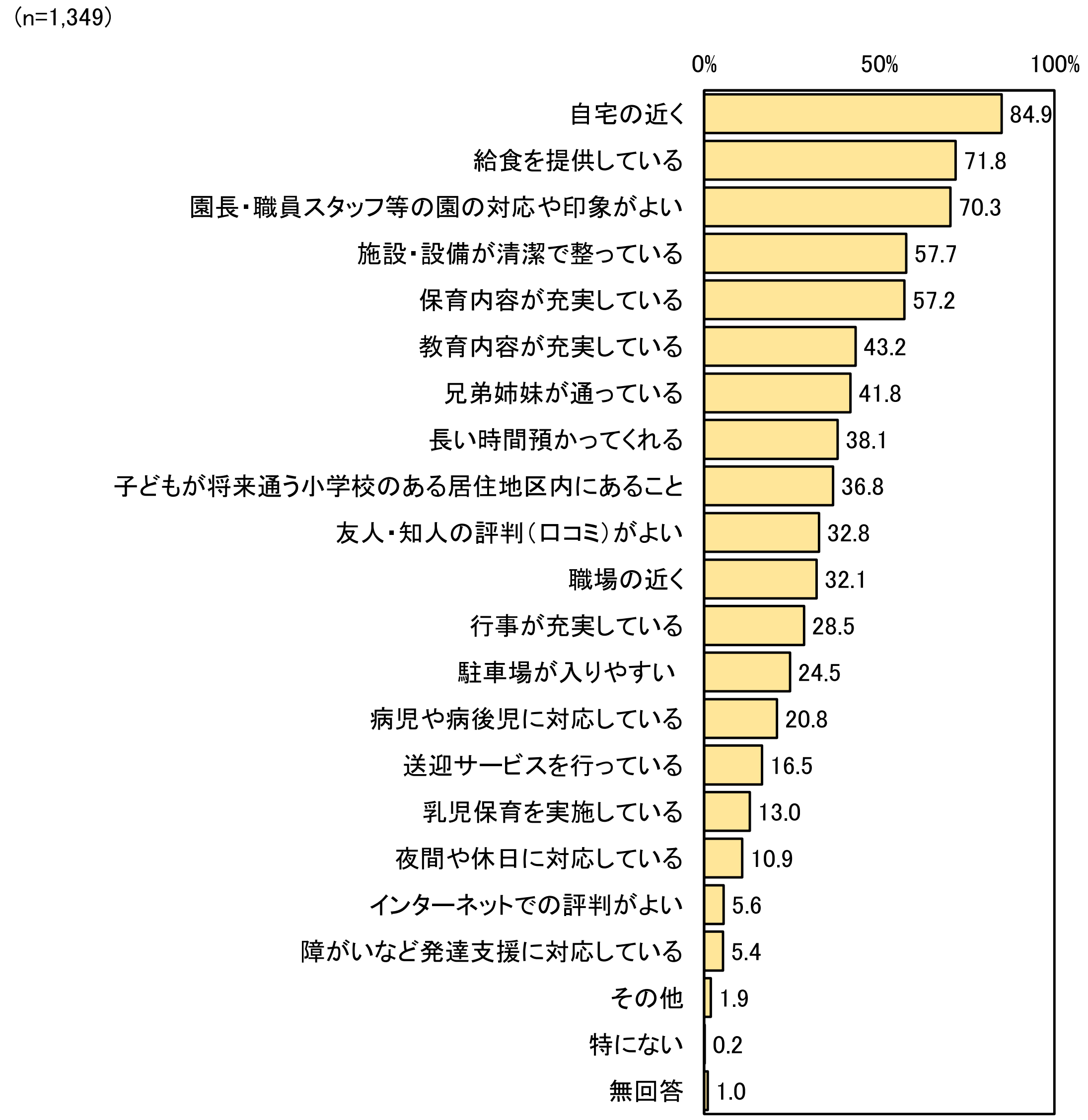
（n=316）



（10）平日の教育･保育の事業を選ぶ際に重視する点

問 17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育･保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

平日利用の教育・保育の事業を選ぶ際に重視する点は、「自宅の近く」が 84.9％で最も多く、次いで「給食を提供している」が 71.8％、「園長・職員スタッフ等の園の対応や印象がよい」が 70.3％、「施設・設備が清潔で整っている」が 57.7％、「保育内容が充実している」が 57.2％となっています。

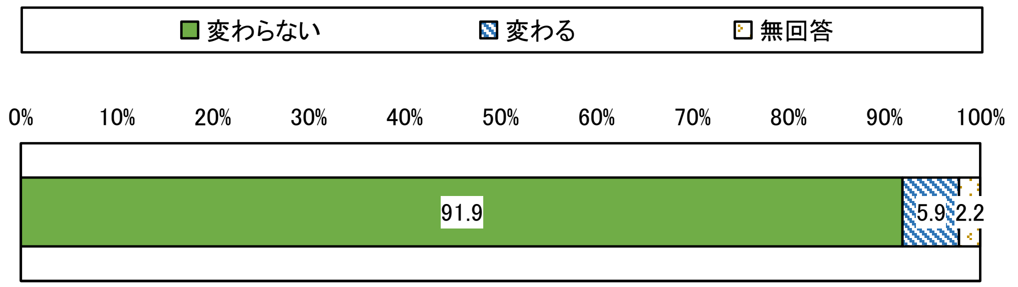


（11）無償化による、利用意向の変化について

問 18　2019 年の 10 月から、3歳から5歳までの子どもの保育園・幼稚園・認定こども園の基本的な利用料は無償（0歳から2歳児の利用料は住民税非課税世帯を対象に無償）になる予定です。※実費として徴収されている費用（通園送迎費、食材料費、行事費など）は、無償化の対象外となります。幼児教育、保育が無償化になったら、平日の教育・保育の事業の利用意向（問 16 で回答した内容）は変わりますか。（1つに○）

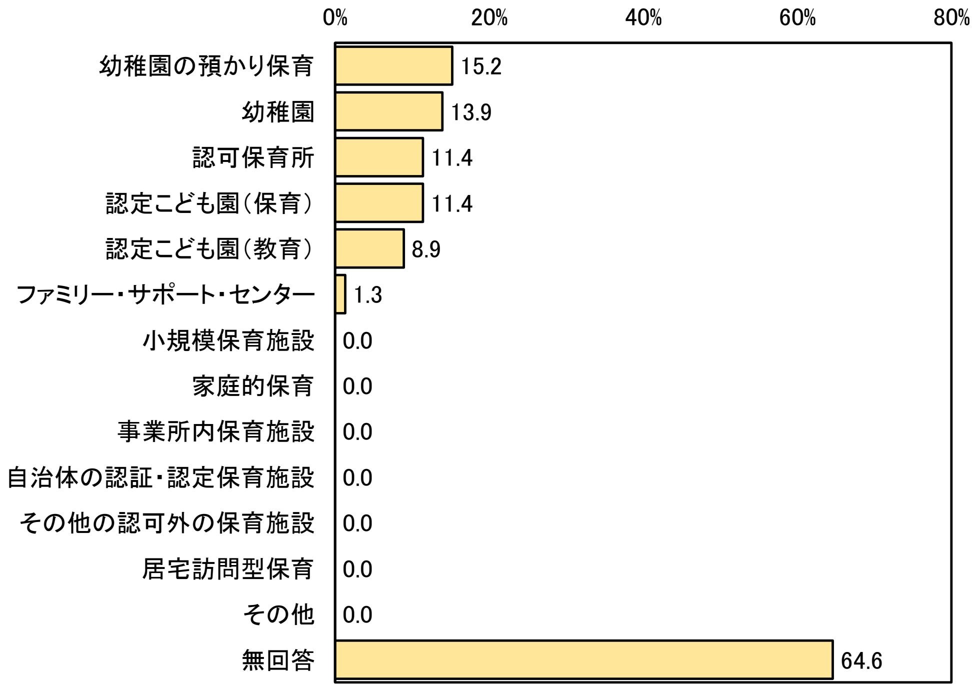
幼児教育、保育が無償化になったら、平日の教育・保育の事業の利用意向は変わるかについては、「変わらない」が 91.9%、「変わる」が 5.9%となっています。

(n=1,349)



・変わると答えた方の利用意向

(n=79)

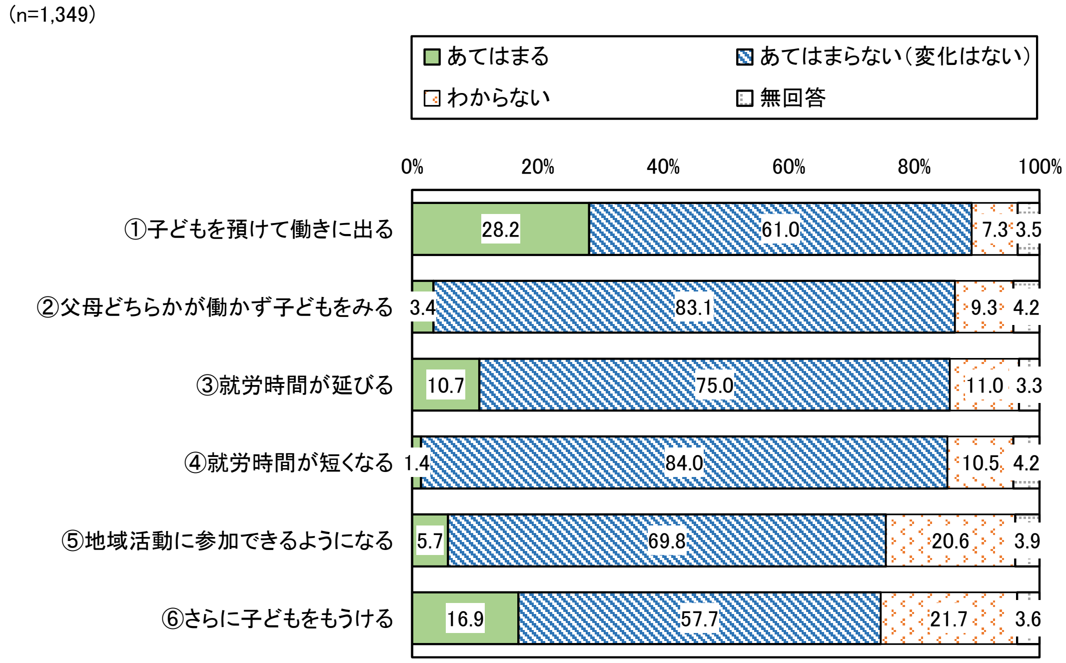


（12）幼児教育、保育の無償化により起こりうること

問 19　幼児教育、保育の無償化（3～5歳児の保育園・幼稚園・認定こども園の利用料無償化）がなされることで、あなたの家庭で起こりうると思うことを回答してください。（それぞれ1つに○）

幼児教育、保育の無償化により、あなたの家庭で起こりうることについて、「はい」が多い順に、「①子どもを預けて働きに出る」（28.2%）、「⑥さらに子どもをもうける」（16.9%）、「③就労時間が延びる」（10.7%）、「⑤地域活動に参加できるようになる」（5.7%）、「②父母どちらかが働かず子どもをみる」（3.4%）、「④就労時間が短くなる」（1.4%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「④就労時間が短くなる」（84.0%）、「②父母どちらかが働かず子どもをみる」（83.1%）、「③就労時間が延びる」（75.0%）、「⑤地域活動に参加できるようになる」（69.8%）、「①子どもを預けて働きに出る」（61.0%）、「⑥さらに子どもをもうける」（57.7%）となっています。



６　地域の子育て支援事業の利用状況について

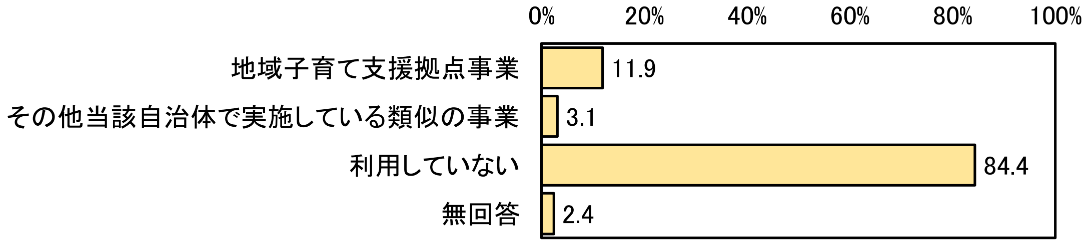
（1）地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 20　お子さんは、現在、子育て支援センターなどの地域子育て拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○、おおよその利用回数（頻度）を記入）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が 84.4％で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 11.9％、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が 3.1％となっています。

それぞれ利用している人の利用回数は、１週あたり、１か月あたりともに「１回」～「２回」が多くなっています。

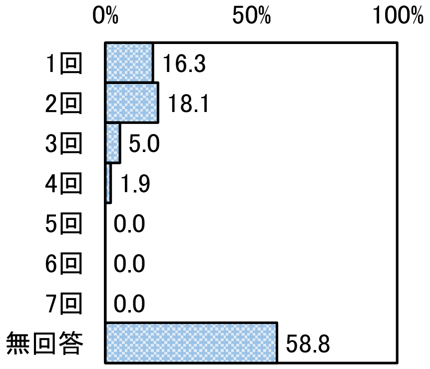
（n=1,349）



【地域子育て支援拠点事業】

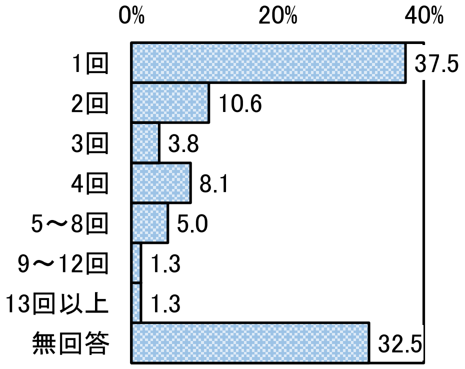
・１週あたりの利用回数

（n=160）



・１か月あたりの利用回数

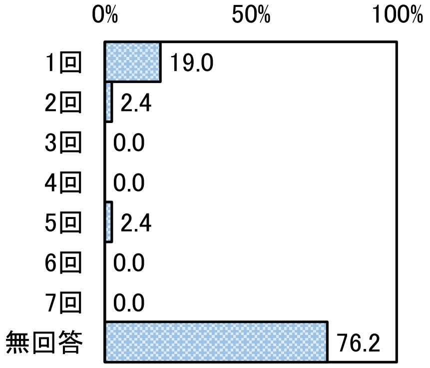
（n=160）



【その他当該自治体で実施している類似の事業】

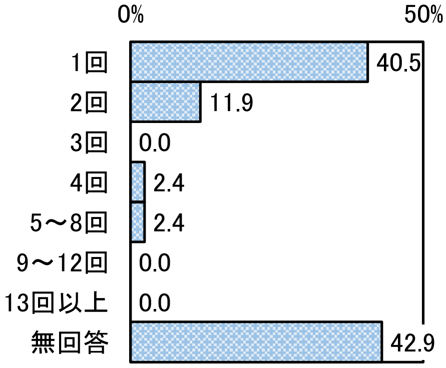
・１週あたりの利用回数

（n=42）



・１か月あたりの利用回数

（n=42）



（2）地域子育て支援拠点事業の利用希望

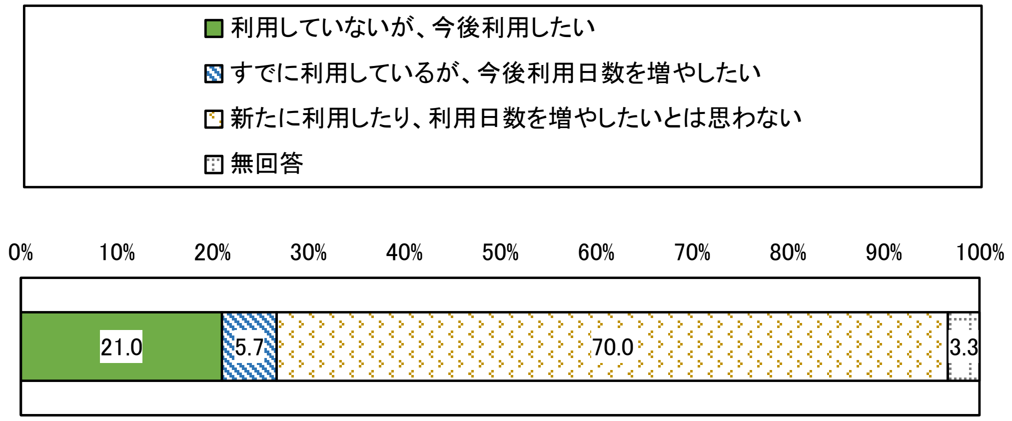
問 21　問 20 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。（1つに○、おおよその利用回数を記入）

地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 70.0%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 21.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 5.7%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」と回答した方の利用回数は、１週あたり、１か月あたりともに「１回」が最も多くなっています。

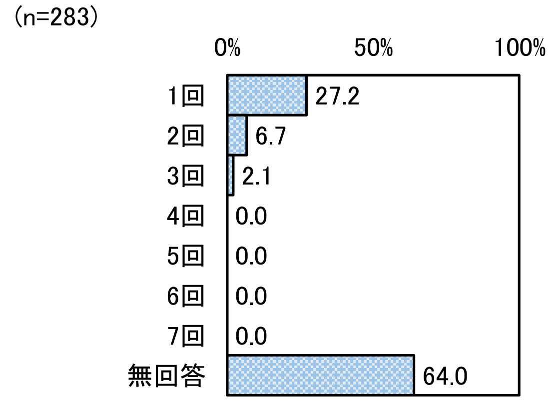
また、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した方の利用回数は、１週あたりでは「１回」、１か月あたりでは「２回」が最も多くなっています。

（n=1,349）

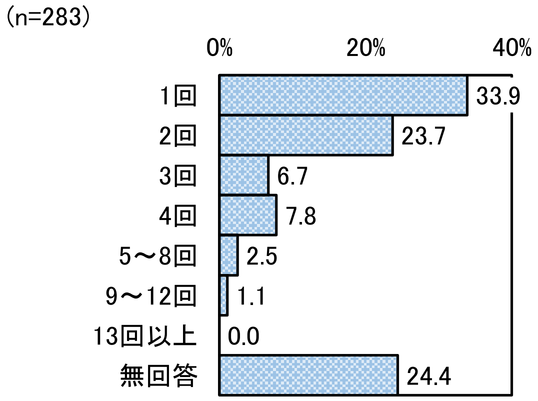


【利用していないが、今後利用したい】

・１週あたりの利用回数

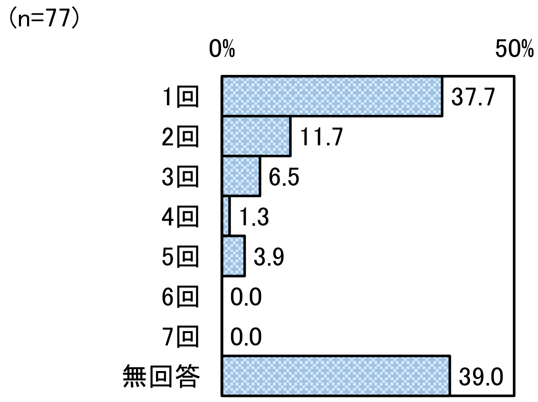


・１か月あたりの利用回数

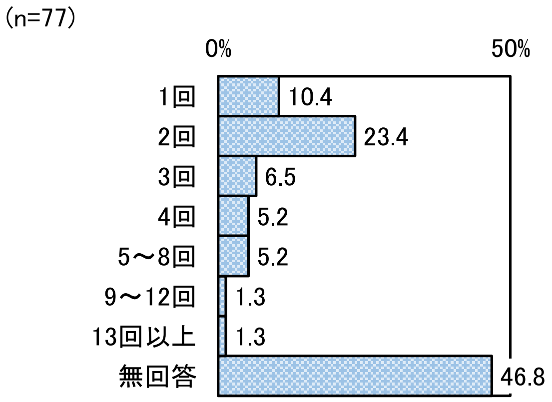


【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい】

・１週あたりの利用回数



・１か月あたりの利用回数



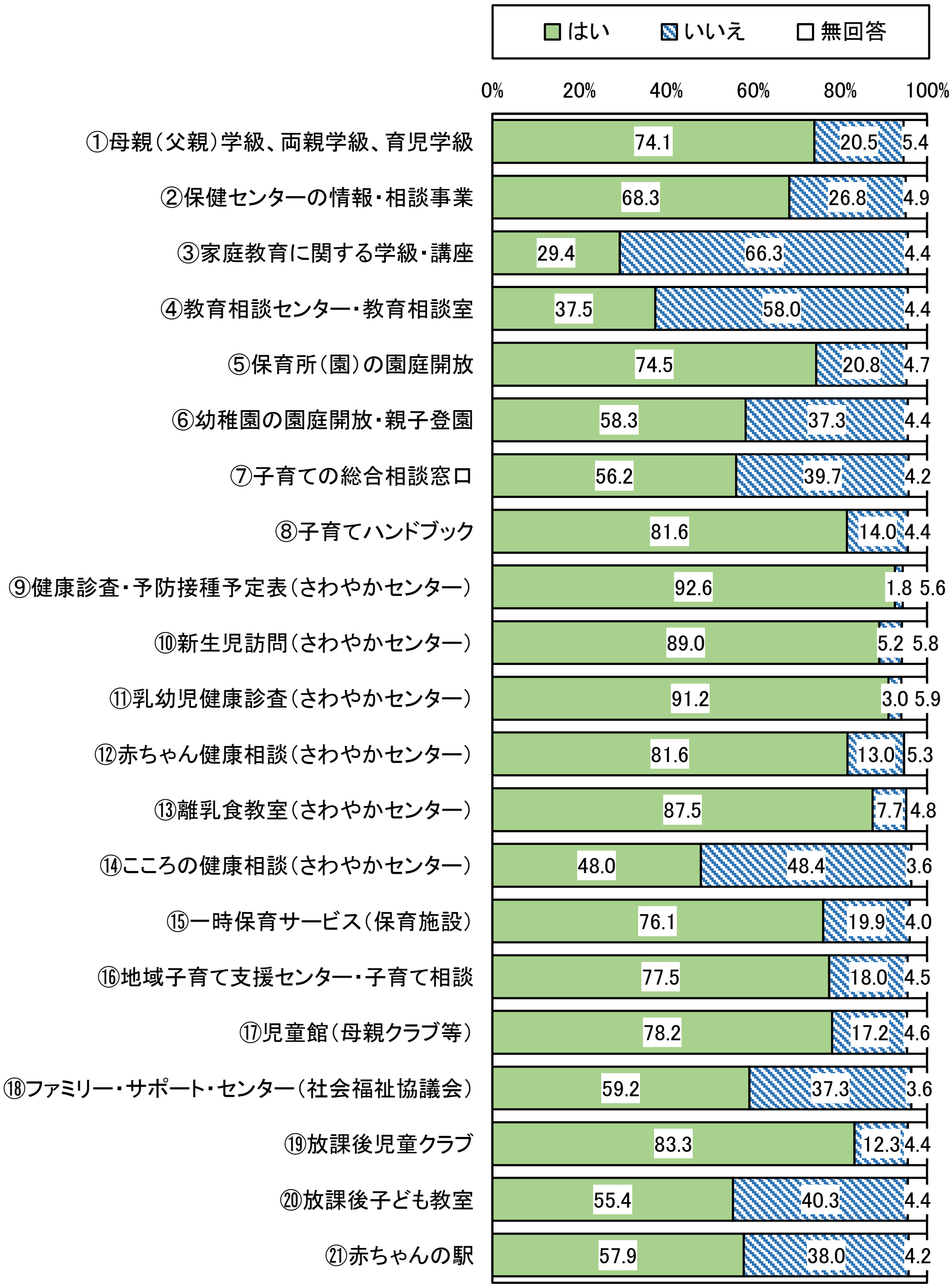
（3）各種事業の認知度

問 22　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～㉑の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○）

各種事業の認知度（知っているもの）について、「はい」が多い順に、「⑨健康診査・予防接種予定表（さわやかセンター）」(92.6%)、「⑪乳幼児健康診査（さわやかセンター）」(91.2%)、「⑩新生児訪問（さわやかセンター）」(89.0%)、「⑬離乳食教室（さわやかセンター）」(87.5%)、「⑲放課後児童クラブ」(83.3%）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「③家庭教育に関する学級・講座」(66.3%)、「④教育相談センター・教育相談室」(58.0%)、「⑭こころの健康相談（さわやかセンター）」(48.4%)、「⑳放課後子ども教室」(40.3%)、「⑦子育ての総合相談窓口」(39.7%）となっています。

（n=1,349）


はい
いいえ
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級
74.1
20.5
5.4
②保健センターの情報・相談事業
68.3
26.8
4.9
③家庭教育に関する学級・講座
29.4
66.3
4.4
④教育相談センター・教育相談室
37.5
58.0
4.4
⑤保育所（園）の園庭開放
74.5
20.8
4.7
⑥幼稚園の園庭開放・親子登園
58.3
37.3
4.4
⑦子育ての総合相談窓口
56.2
39.7
4.2
⑧子育てハンドブック
81.6
14.0
4.4
⑨健康診査・予防接種予定表（さわやかセンター）
92.6
1.8
5.6
⑩新生児訪問（さわやかセンター）
89.0
5.2
5.8
⑪乳幼児健康診査（さわやかセンター）
91.2
3.0
5.9
⑫赤ちゃん健康相談（さわやかセンター）
81.6
13.0
5.3
⑬離乳食教室（さわやかセンター）
87.5
7.7
4.8
⑭こころの健康相談（さわやかセンター）
48.0
48.4
3.6
⑮一時保育サービス（保育施設）
76.1
19.9
4.0
⑯地域子育て支援センター・子育て相談
77.5
18.0
4.5
⑰児童館（母親クラブ等）
78.2
17.2
4.6
⑱ファミリー・サポート・センター（社会福祉協議会）
59.2
37.3
3.6
⑲放課後児童クラブ
83.3
12.3
4.4
⑳放課後子ども教室
55.4
40.3
4.4
㉑赤ちゃんの駅
57.9
38.0
4.2

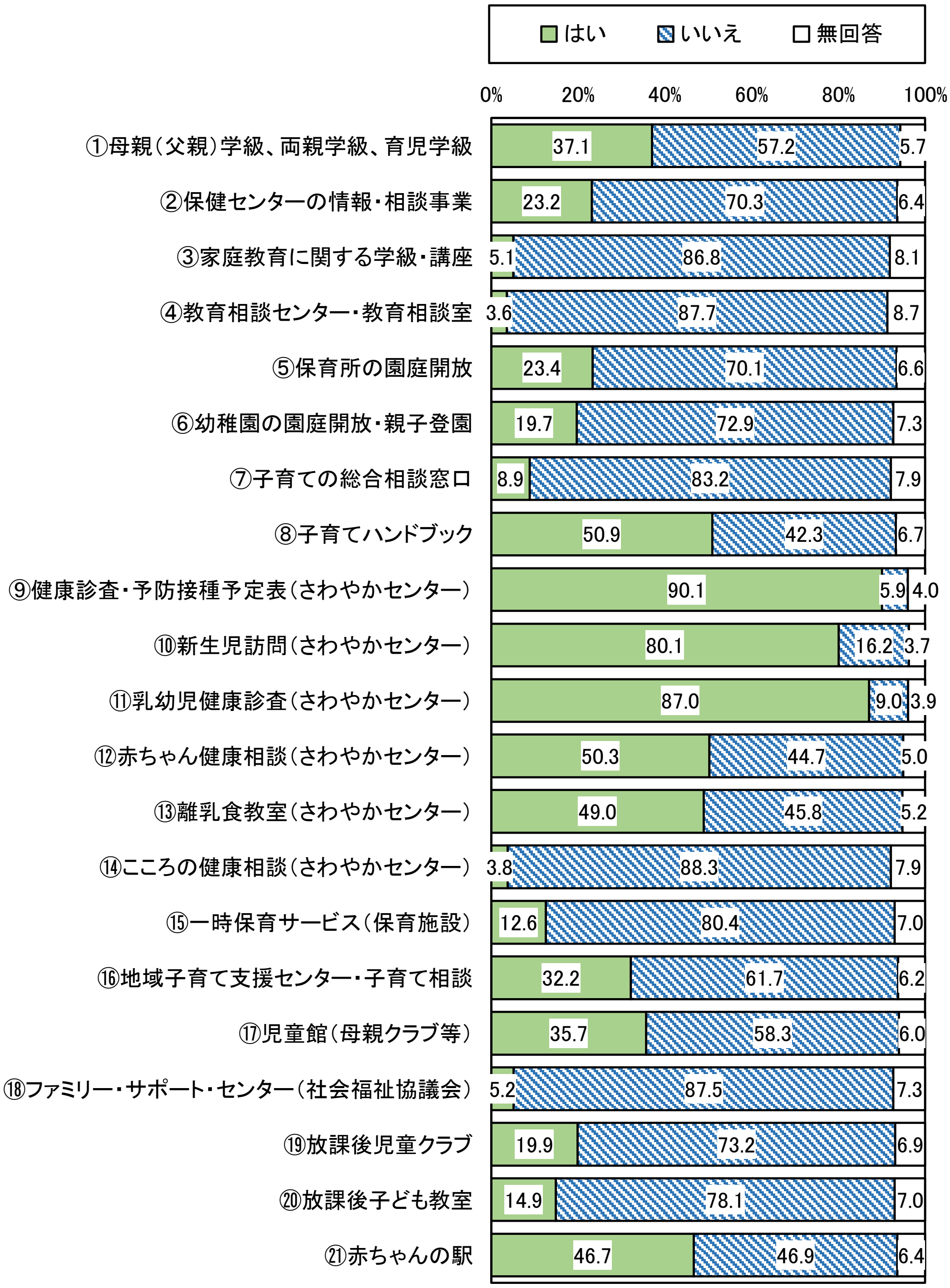
（4）各種事業の利用状況

問 22　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～㉑の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○）

各種事業の利用状況（これまでに利用したことがあるもの）について、「はい」が多い順に、「⑨健康診査・予防接種予定表（さわやかセンター）」（90.1％）、「⑪乳幼児健康診査（さわやかセンター）」（87.0％）、「⑩新生児訪問（さわやかセンター）」（80.1％）、「⑧子育てハンドブック」（50.9％）、「⑫赤ちゃん健康相談（さわやかセンター）」（50.3％）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「⑭こころの健康相談（さわやかセンター）」（88.3％）、「④教育相談センター・教育相談室」（87.7％）、「⑱ファミリー・サポート・センター（社会福祉協議会）」（87.5％）、「③家庭教育に関する学級・講座」（86.8％）、「⑦子育ての総合相談窓口」（83.2％）となっています。

（n=1,349）


はい
いいえ
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級
37.1
57.2
5.7
②保健センターの情報・相談事業
23.2
70.3
6.4
③家庭教育に関する学級・講座
5.1
86.8
8.1
④教育相談センター・教育相談室
3.6
87.7
8.7
⑤保育所の園庭開放
23.4
70.1
6.6
⑥幼稚園の園庭開放・親子登園
19.7
72.9
7.3
⑦子育ての総合相談窓口
8.9
83.2
7.9
⑧子育てハンドブック
50.9
42.3
6.7
⑨健康診査・予防接種予定表（さわやかセンター）
90.1
5.9
4.0
⑩新生児訪問（さわやかセンター）
80.1
16.2
3.7
⑪乳幼児健康診査（さわやかセンター）
87.0
9.0
3.9
⑫赤ちゃん健康相談（さわやかセンター）
50.3
44.7
5.0
⑬離乳食教室（さわやかセンター）
49.0
45.8
5.2
⑭こころの健康相談（さわやかセンター）
3.8
88.3
7.9
⑮一時保育サービス（保育施設）
12.6
80.4
7.0
⑯地域子育て支援センター・子育て相談
32.2
61.7
6.2
⑰児童館（母親クラブ等）
35.7
58.3
6.0
⑱ファミリー・サポート・センター（社会福祉協議会）
5.2
87.5
7.3
⑲放課後児童クラブ
19.9
73.2
6.9
⑳放課後子ども教室
14.9
78.1
7.0
㉑赤ちゃんの駅
46.7
46.9
6.4

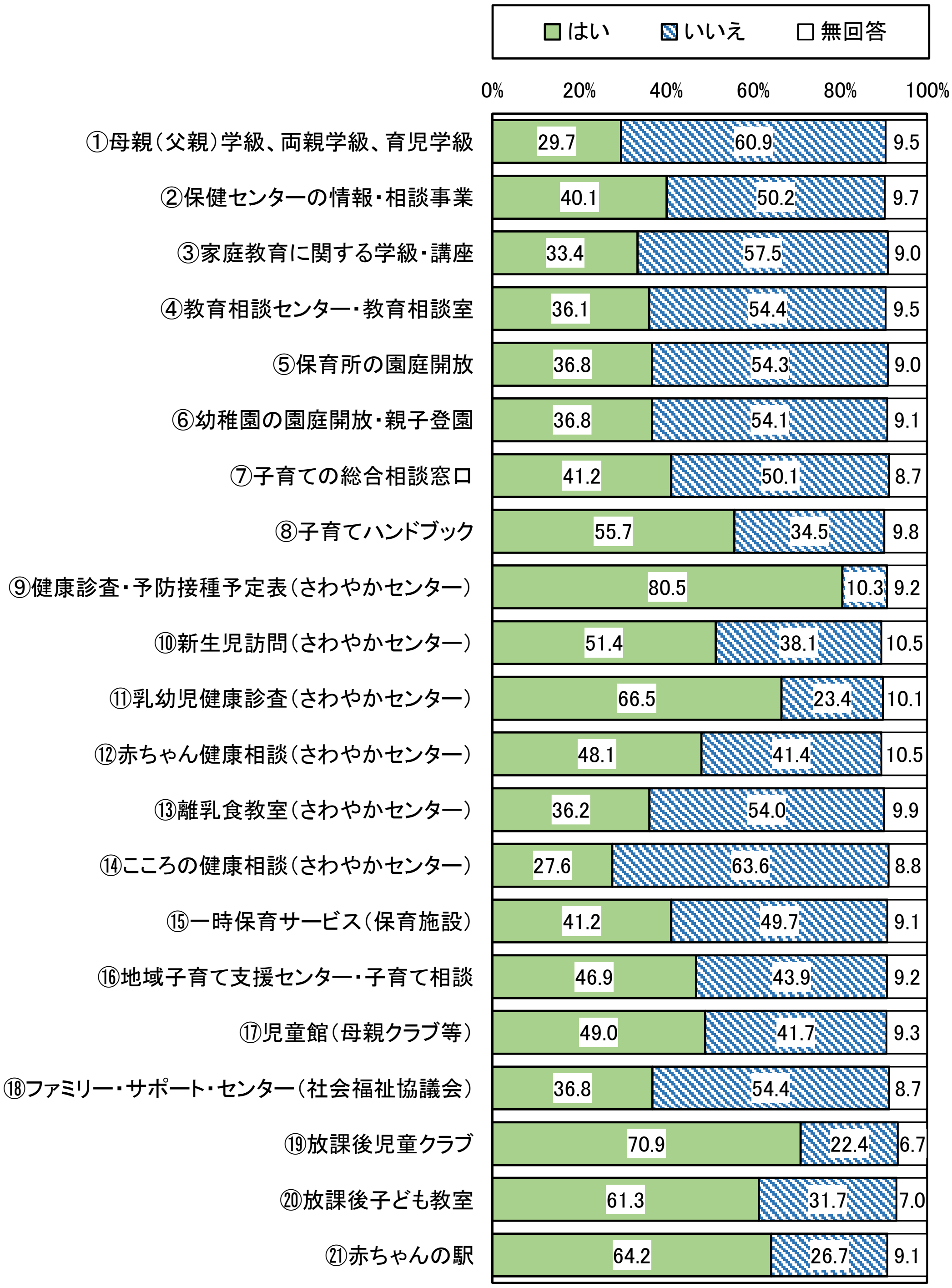
（5）各種事業の利用意向

問 22　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～㉑の事業ごとにＡ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○）

各種事業の利用意向（今後、利用したいと思うものを）について、「はい」が多い順に、「⑨健康診査・予防接種予定表（さわやかセンター）」（80.5％）、「⑲放課後児童クラブ」（70.9％）、「⑪乳幼児健康診査（さわやかセンター）」（66.5％）、「赤ちゃんの駅（商業施設やイベント等での、授乳やオムツ替えのスペース）」（64.2％）、「⑳放課後子ども教室」（61.3％）となっています。

一方、「いいえ」が多い順では、「⑭こころの健康相談（さわやかセンター）」（63.6％）、「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（60.9％）、「③家庭教育に関する学級・講座」（57.5％）、「④教育相談センター・教育相談室」（54.4％）、「⑱ファミリー・サポート・センター（社会福祉協議会）」（54.4％）となっています。

(n=1,349)



はい
いいえ
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級 29.7 60.9 9.5
②保健センターの情報・相談事業 40.1 50.2 9.7
③家庭教育に関する学級・講座 33.4 57.5 9.0
④教育相談センター・教育相談室 36.1 54.4 9.5
⑤保育所の園庭開放 36.8 54.3 9.0
⑥幼稚園の園庭開放・親子登園 36.8 54.1 9.1
⑦子育ての総合相談窓口 41.2 50.1 8.7
⑧子育てハンドブック 55.7 34.5 9.8
⑨健康診査・予防接種予定表（さわやかセンター） 80.5 10.3 9.2
⑩新生児訪問（さわやかセンター） 51.4 38.1 10.5
⑪乳幼児健康診査（さわやかセンター） 66.5 23.4 10.1
⑫赤ちゃん健康相談（さわやかセンター） 48.1 41.4 10.5
⑬離乳食教室（さわやかセンター） 36.2 54.0 9.9
⑭こころの健康相談（さわやかセンター） 27.6 63.6 8.8
⑮一時保育サービス（保育施設） 41.2 49.7 9.1
⑯地域子育て支援センター・子育て相談 46.9 43.9 9.2
⑰児童館（母親クラブ等） 49.0 41.7 9.3
⑱ファミリー・サポート・センター（社会福祉協議会） 36.8 54.4 8.7
⑲放課後児童クラブ 70.9 22.4 6.7
⑳放課後子ども教室 61.3 31.7 7.0
㉑赤ちゃんの駅 64.2 26.7 9.1

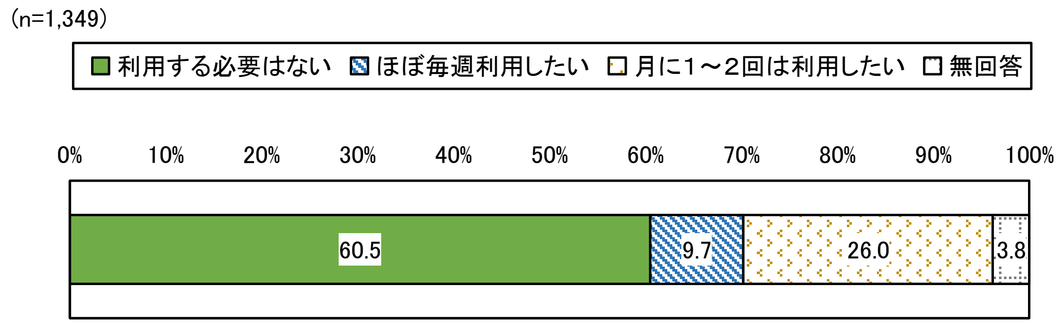
7　土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

（1）定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望

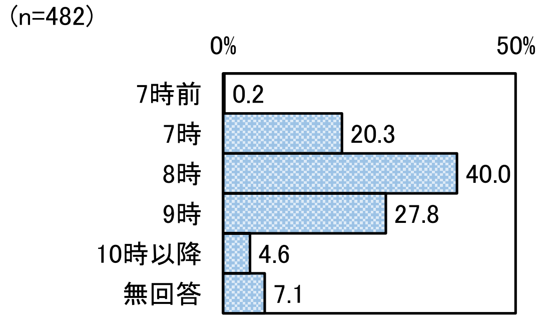
問 23　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入）

定期的な教育・保育の事業の土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」が 60.5%で最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 26.0%、「ほぼ毎週利用したい」が 9.7%となっています。

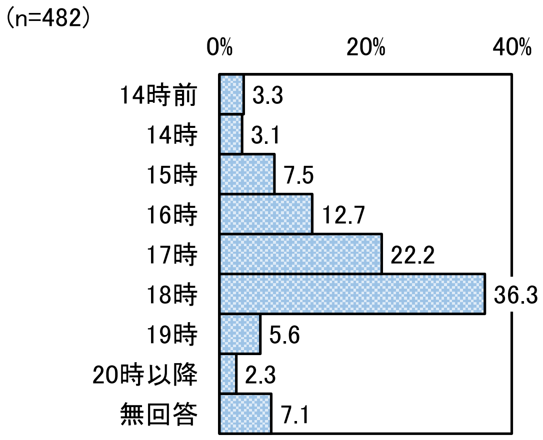
希望する利用開始時刻は、「8 時」が 40.0%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18 時」が 36.3%で最も多くなっています。



・利用開始時刻



・利用終了時刻



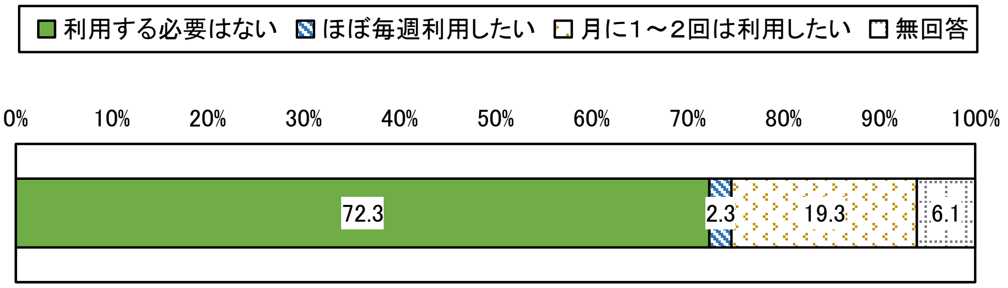
（2）定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望

問 23　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます）はありますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（それぞれ１つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入）

定期的な教育・保育の事業の日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が 72.3%で最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 19.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.3%となっています。

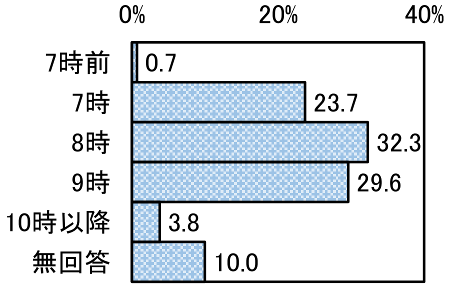
希望する日曜・祝日の利用開始時刻は、「8 時」が 32.3%で最も多く、希望する利用終了時刻は、「18 時」が 39.5%で最も多くなっています。

（n=1,349）



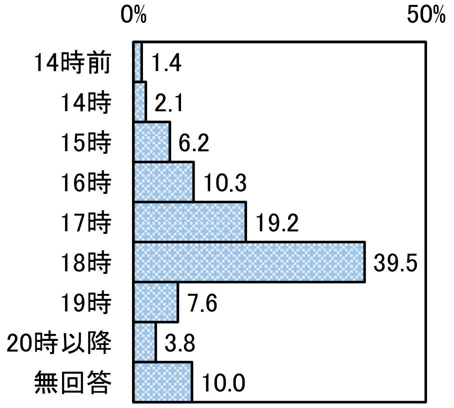
・利用開始時刻

（n=291）



・利用終了時刻

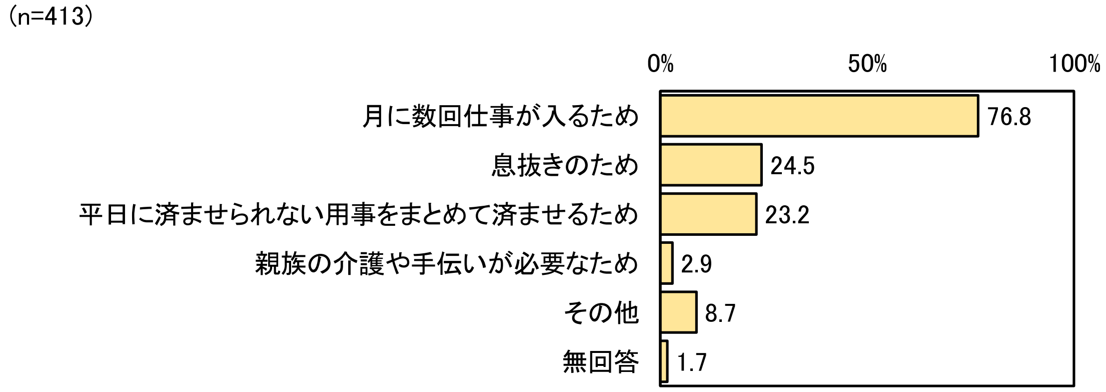
（n=291）



(3) 土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由

問 23 の（1）土曜日、（2）日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」に〇をつけた方のみ
問 23－1　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

土曜・日曜・祝日に、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が 76.8%で最も多く、次いで「息抜きのため」が 24.5%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 23.2%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が 2.9%となっています。



（4）定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望

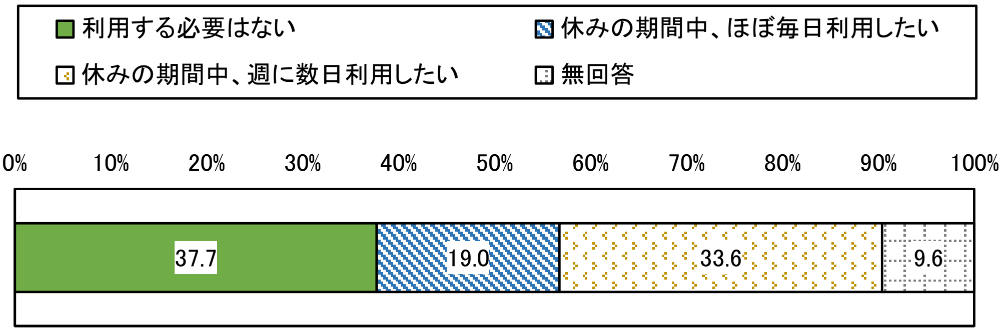
「幼稚園」・「認定こども園（教育）」を利用されている方のみ

問 24　お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。（1つに○、希望がある場合は利用したい時間帯を記入）

幼稚園を利用している方の定期的な教育・保育の事業の長期休暇期間の利用希望は、「利用する必要はない」が 37.7％で最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 33.6％、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 19.0％となっています。

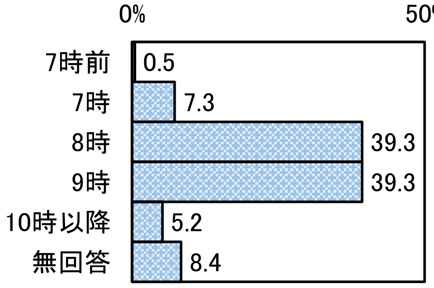
希望する長期休暇期間の利用開始時刻は、「8 時」、「9 時」がともに 39.3％で最も多く、希望する利用終了時刻は、「15 時」が 29.3％で最も多くなっています。

(n=363)



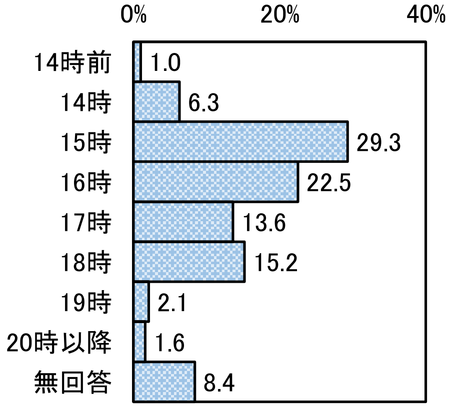
・利用開始時刻

(n=191)



・利用終了時刻

(n=191)



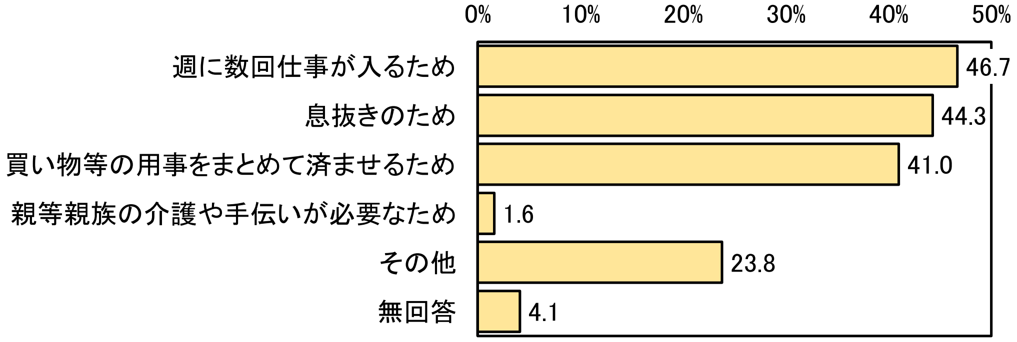
（5）長期休暇期間中、たまに利用したい理由

問 24 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

問 24－１　毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

長期休暇期間に、毎日ではなく、たまに利用したい理由は「週に数回仕事が入るため」が 46.7％で最も多く、次いで「息抜きのため」が 44.3％、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 41.0％、「親等親族の介護や手伝いが必要なため」が 1.6％となっています。

（n=122）



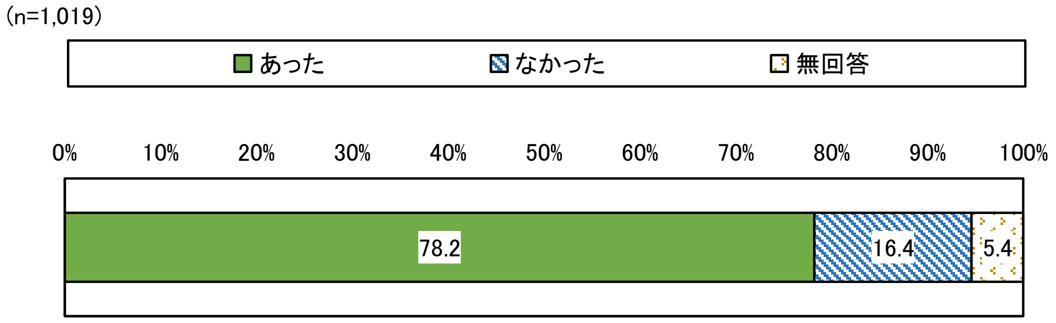
８　お子様の病気の際の対応について【平日の教育・保育事業の利用者のみ】

（1）病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問 15 で平日の定期的な教育・保育の事業について「1. 利用している」に〇をつけた方のみ

問 25　この１年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
（1つに〇）

子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が 78.2%、「なかった」が 16.4%となっています。



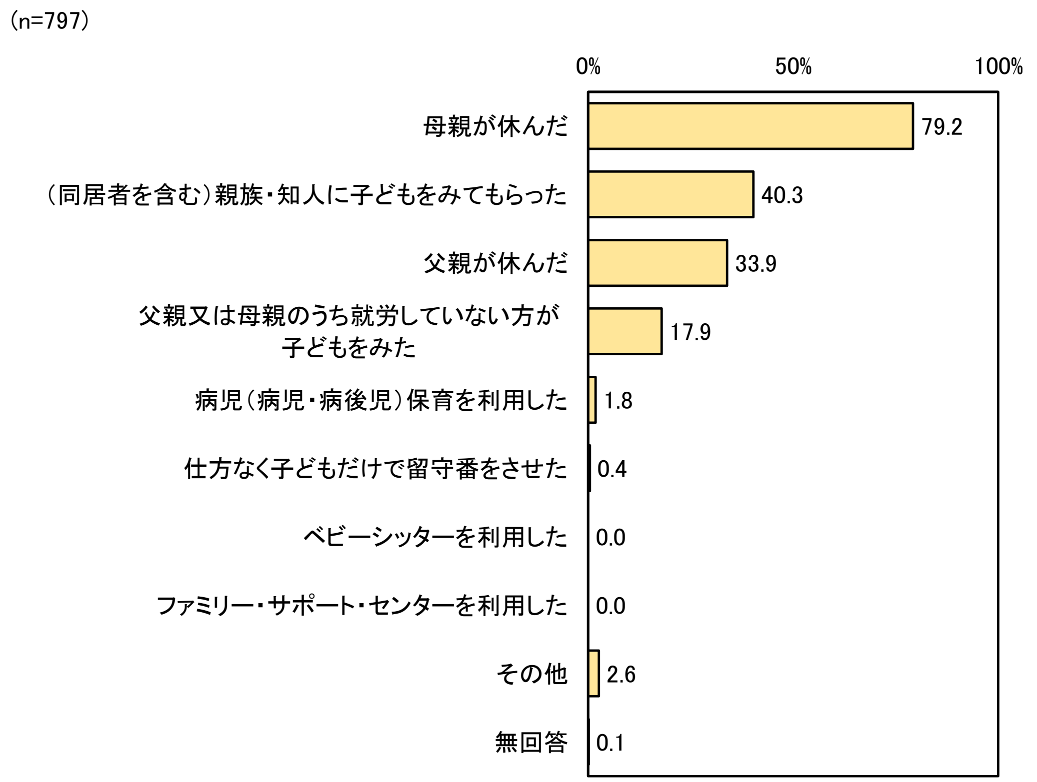
（2）事業が利用できなかった場合の対処方法

問 25 で「1．あった」に○をつけた方のみ

問 25－１　お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお答えください。（あてはまるものすべてに○、それぞれの日数を記入、半日程度の対応の場合も1日とカウントする）

事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が 79.2%で最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 40.3%、「父親が休んだ」が 33.9%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 17.9%、「病児（病児・病後児）保育を利用した」が 1.8%となっています。

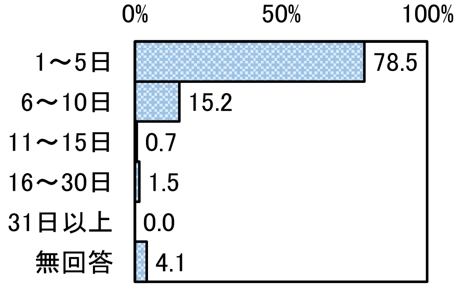
１年間の対処日数は、「母親が休んだ」のみ「6～10 日」が最も多くなっていますが、その他はいずれも「1～5 日」が最も多くなっています。



【１年間の対処日数】

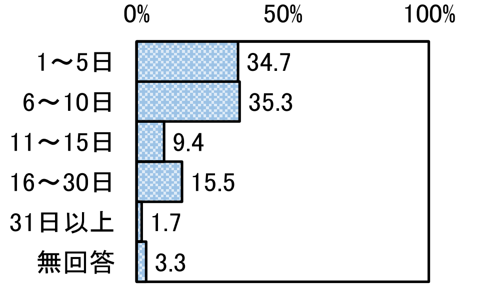
・父親が休んだ

（n=270）



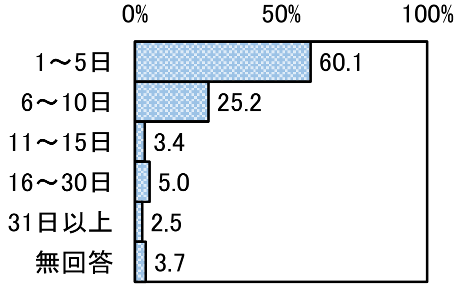
・母親が休んだ

（n=631）



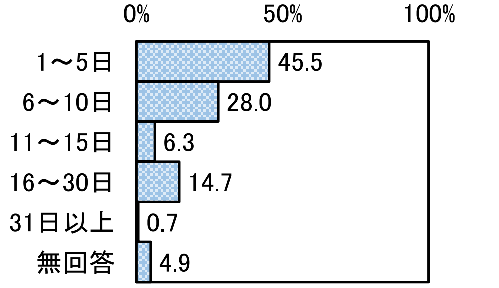
・親族・知人にみてもらった

（n=321）



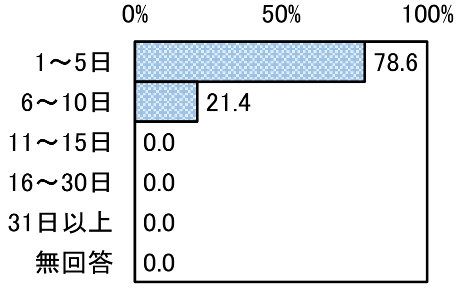
・父母のうち就労していない方が子どもをみた

（n=143）



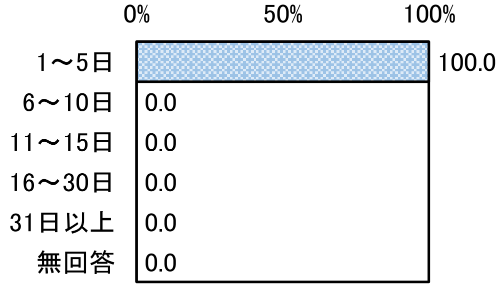
・病児・病後児の保育を利用した

（n=14）



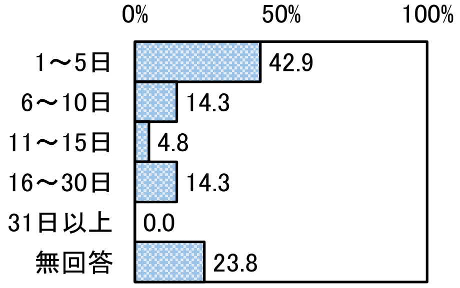
・子どもだけで留守番をさせた

（n=3）



・その他の対処

（n=21）

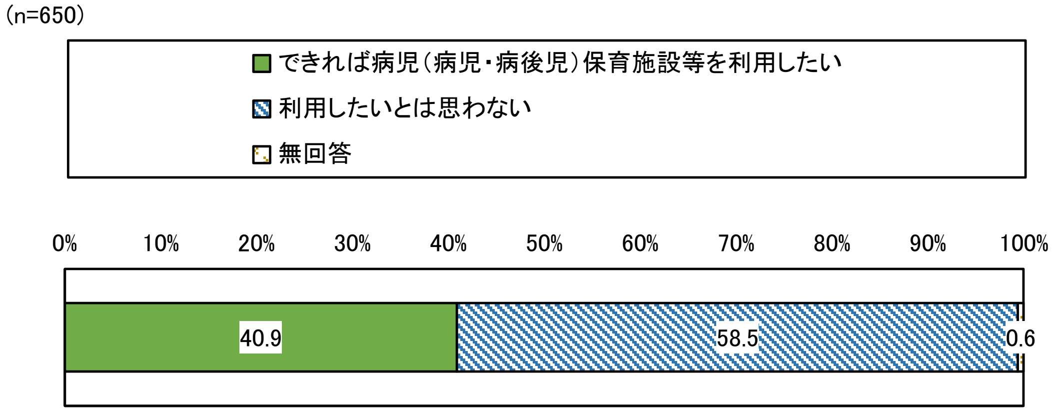


（3）病児・病後児保育施設等の利用希望

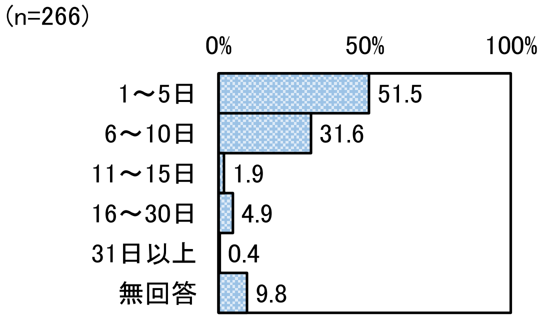
問 25－1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」に○をつけた方のみ
問 25－2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つに○、日数を記入）

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が 58.5%、「できれば病児（病児・病後児）保育施設等を利用したい」が 40.9%となっています。

希望する病児・病後児保育施設等の１年間の利用日数は「1～5 日」が 51.5%で最も多くなっています。



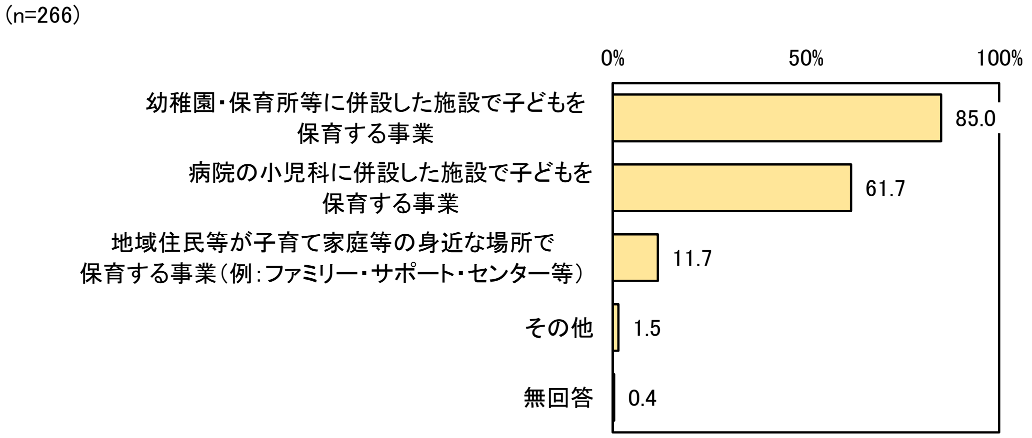
・１年間の利用日数



（4）病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問 25－2で「1．できれば病児（病児・病後児）保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
問 25－３　上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

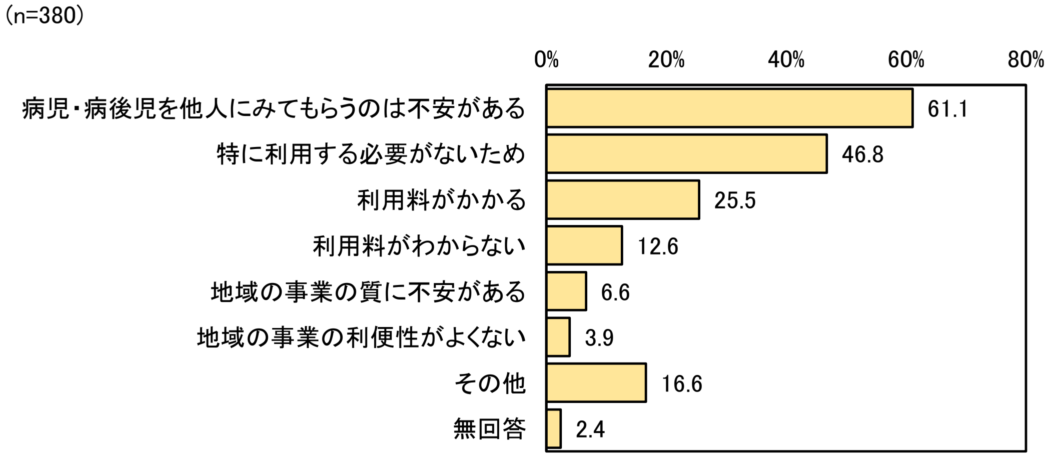
病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業　」が 85.0％で最も多く、次いで「病院の小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 61.7％、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 11.7％となっています。



（5）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問 25－2で「2．利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
問 25－４　利用したいとは思わない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安がある」が 61.1％で最も多く、次いで「特に利用する必要がないため（親が仕事を休んで対応する）」が 46.8％、「利用料がかかる（1 日当たり、2,000 円～3,000 円程度が一般的です）」が 25.5％となっています。

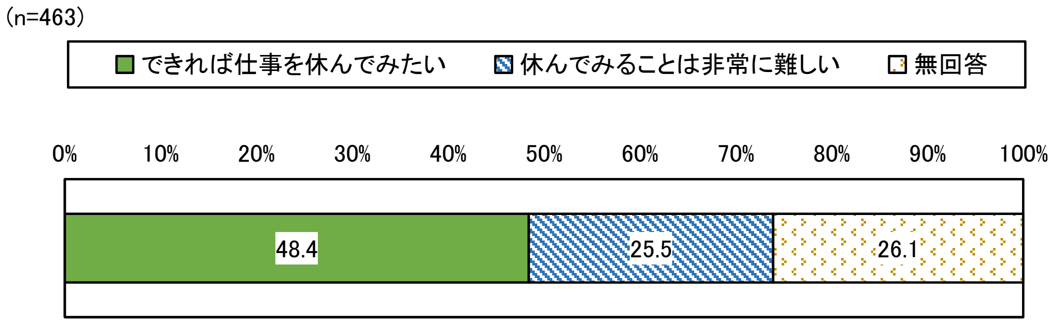


（6）父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったか

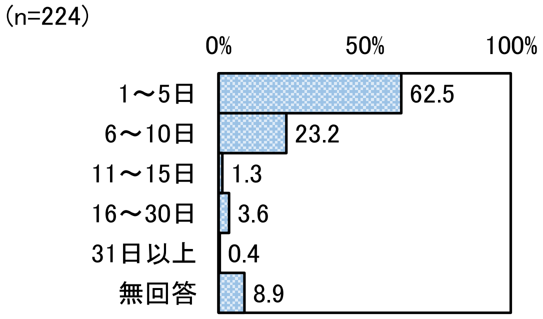
問 25－１で「３」～「９」に○をつけた方のみ
問 25－５　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。
（１つに○、「３」から「９」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数を数字で記入）

父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかどうかは、「できれば仕事を休んでみたい」が 48.4％、「休んでみることは非常に難しい」が 25.5％となっています。

仕事を休んで看たい１年間の日数は、「1～5 日」が 62.5％で最も多くなっています。



・１年間の日数



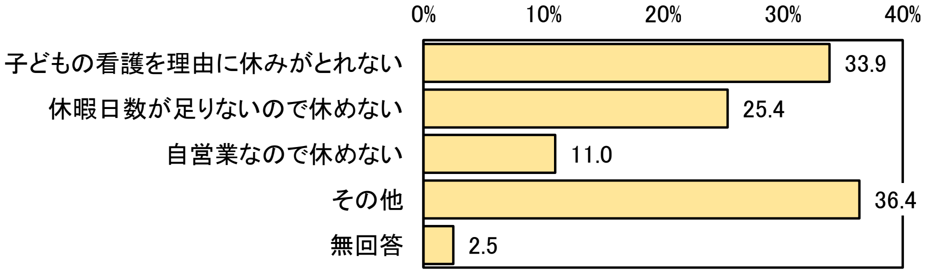
(7) 休んでみることが難しい理由

問 25－5で「2. 休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方のみ
問 25－6　そう思われる理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

仕事を休んで、病児・病後児をみることは非常に難しいと思う理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 33.9％で最も多く、次いで、「休暇日数が足りないので休めない」が 25.4％、「自営業なので休めない」が 11.0％となっています。

また、「その他」が 36.4％となっています。

(n=118)



≪参考≫その他
仕事を休めないため、人手が足りないため、連休を取りづらいため、急に休みを取れないため、仕事が忙しいため、代わりがきかないため、時給制で収入が減ってしまうため、会社に申し訳ないため、など

９　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

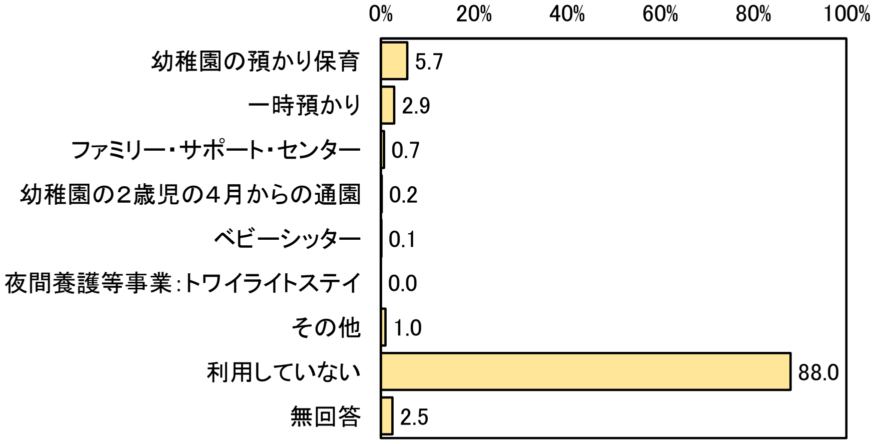
（1）利用している不定期の教育・保育の事業

問 26　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○、1年間のおおよその利用日数を記入）

利用している不定期の教育・保育の事業は、「利用していない」が 88.0％で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 5.7％、「一時預かり」が 2.9％、「ファミリー・サポート・センター」が 0.7％となっています。

１年間の利用日数は、「その他」は「31 日以上」が 46.2％で最も多くなっていますが、その他はいずれも「1～5 日」が最も多くなっています。

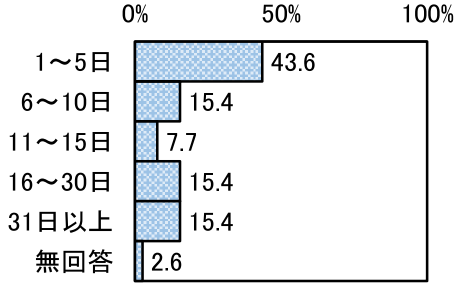
（n=1,349）



【１年間の利用日数】

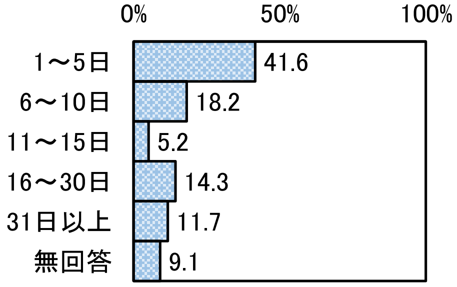
・一時預かり保育

（n=39）



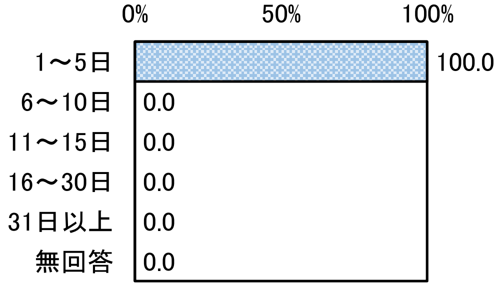
・幼稚園の預かり保育

（n=77）



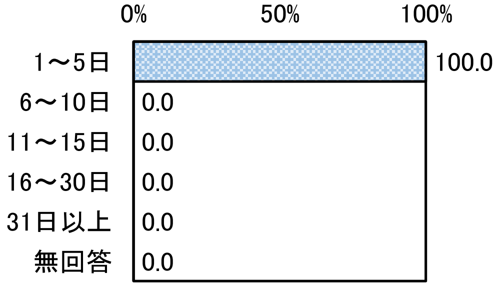
・ファミリー・サポート・センター

（n=9）



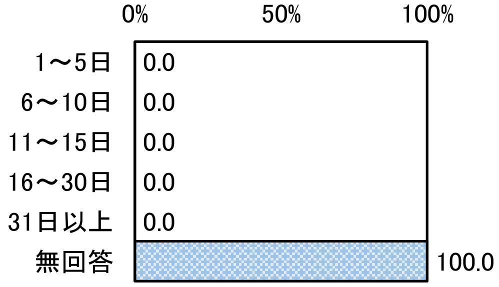
・ベビーシッター

（n=1）



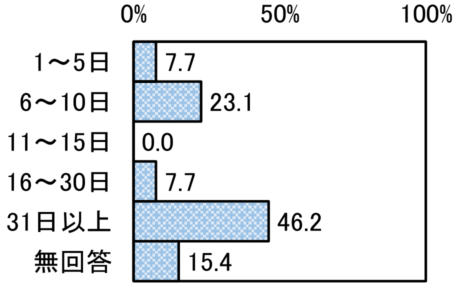
・幼稚園の２歳児の４月からの通園

（n=3）



・その他

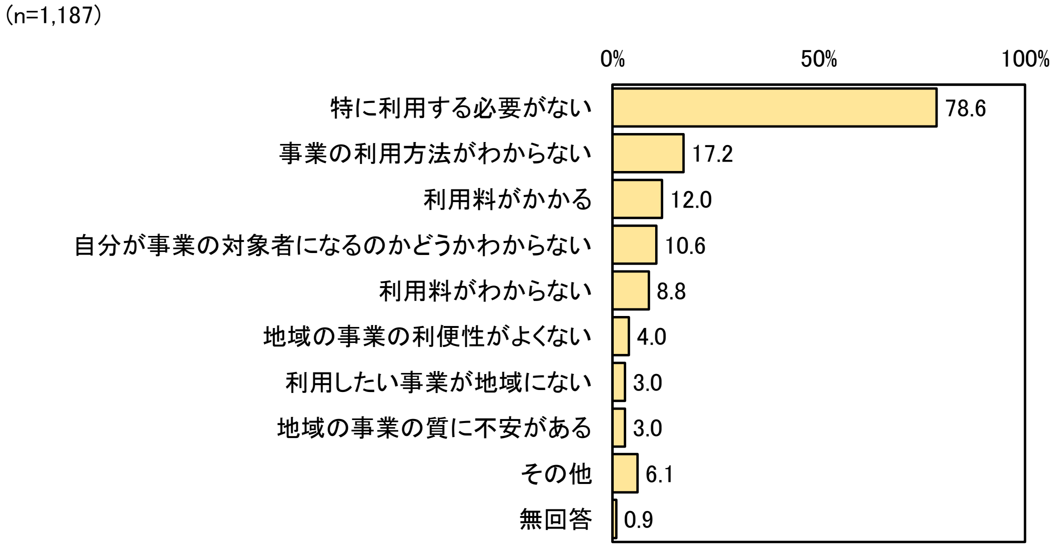
（n=13）



（2）不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

問 26 で「8. 利用していない」に〇をつけた方のみ
問 26－1　現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 78.6％で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 17.2％、「利用料がかかる」が 12.0％、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が 10.6％、「利用料がわからない」が 8.8％となっています。



（3）私用等の目的での事業の利用希望

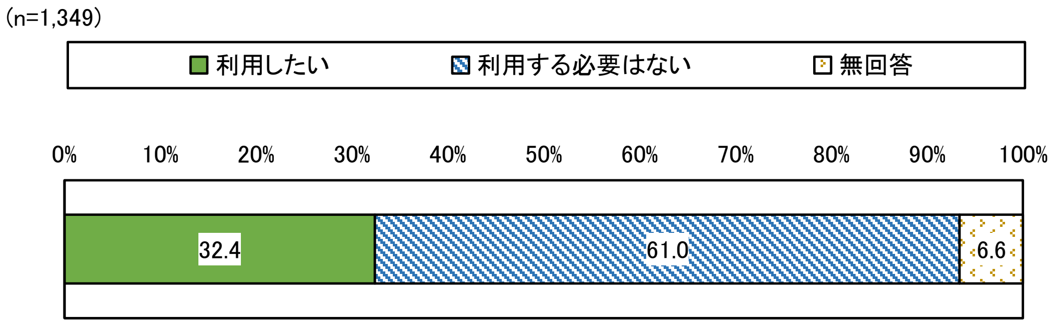
問 27 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は日数の合計と目的別の内訳の日数を記入）

私用等の目的での事業の利用希望は、「利用する必要はない」が 61.0%、「利用したい」が 32.4%となっています。

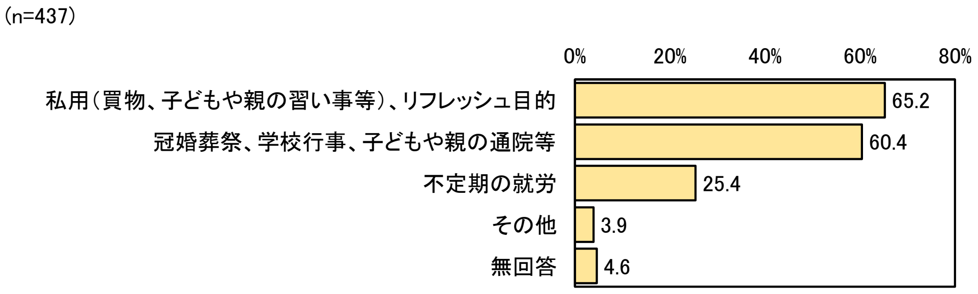
利用したい場合の１年間の合計日数は、「6～10 日」が 16.0%で最も多く、次いで「16～30 日」が 15.8%となっています。

事業の利用目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 65.2%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 60.4%、「不定期の就労」が 25.4%となっています。

また、それぞれ１年間に必要な日数は、「1～5 日」が最も多くなっています。

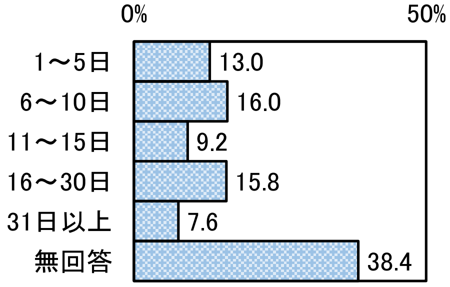


・事業の利用目的



・利用したい場合の１年間の合計日数

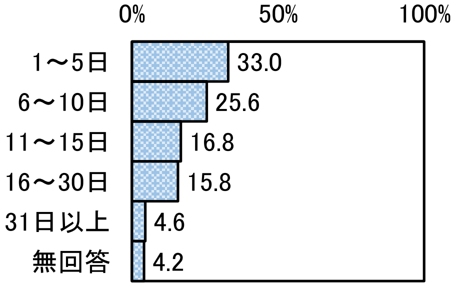
（n=437）



【１年間に必要な日数】

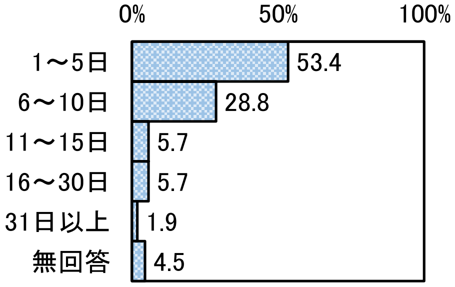
・私用、リフレッシュ目的

（n=285）



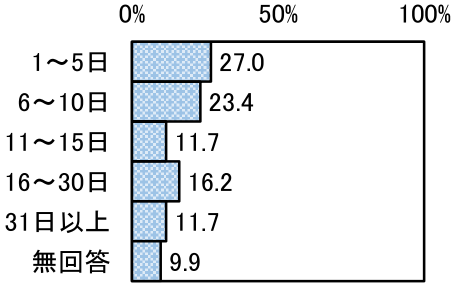
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

（n=264）



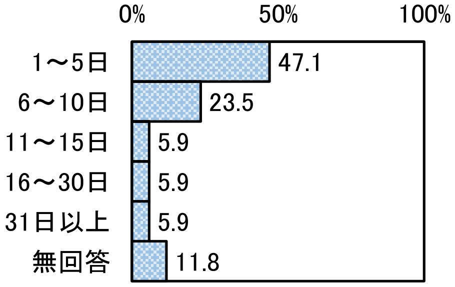
・不定期の就労

（n=111）



・その他の目的

（n=17）



（4）子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

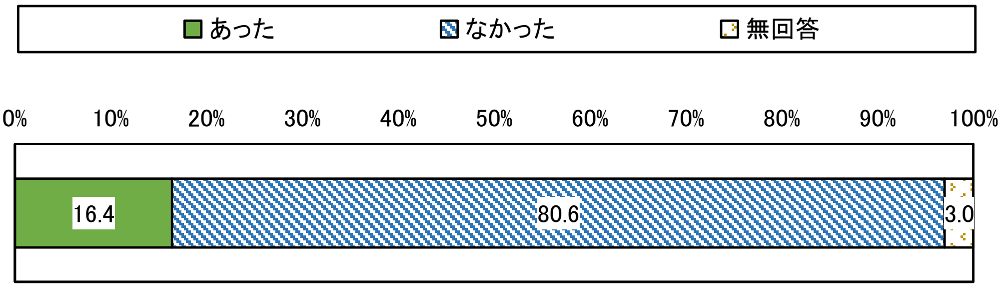
問 28　この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないこと（預け先が見つからなかった場合も含みます）はありましたか。（あてはまる番号・記号すべてに〇、あった場合はそれぞれの日数を記入）

この１年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「なかった」が 80.6%、「あった」が 16.4%となっています。

対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 82.4%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 16.3%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 1.4%、「ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」が 0.5%となっています。

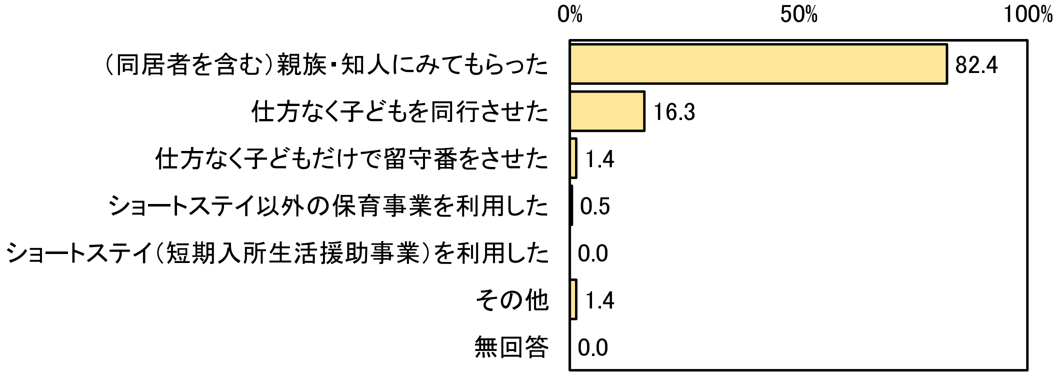
１年間の対処泊数は、「1～5 泊」が最も多くなっています。泊数の多いものとしては「ショートステイ以外の保育事業を利用した」が「11～15 泊」、「その他の対処」が「16～30 泊」となっています。

（n=1,349）



・対処方法

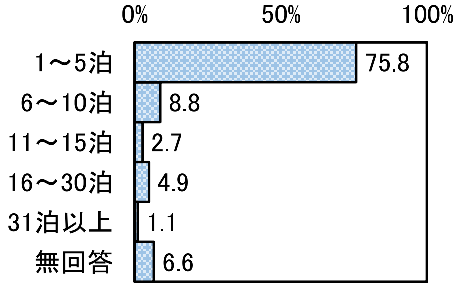
（n=221）



【１年間の対処泊数】

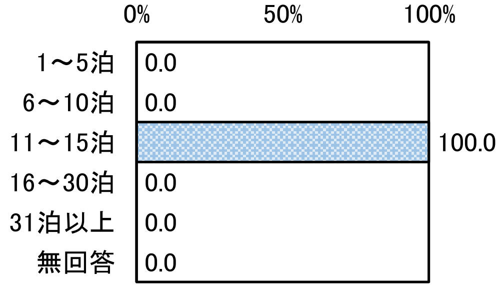
・親族・知人にみてもらった

（n=182）



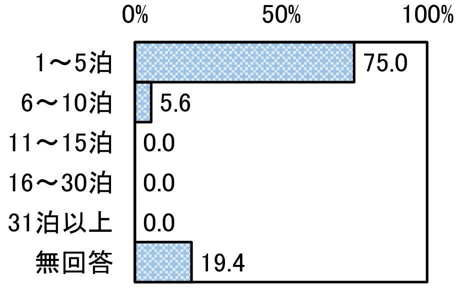
・ショートステイ以外の保育事業を利用した

（n=1）



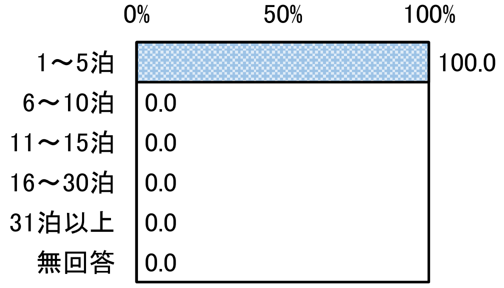
・子どもを同行させた

（n=36）



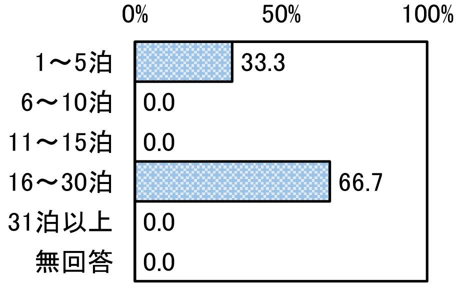
・子どもだけで留守番をさせた

（n=3）



・その他の対処

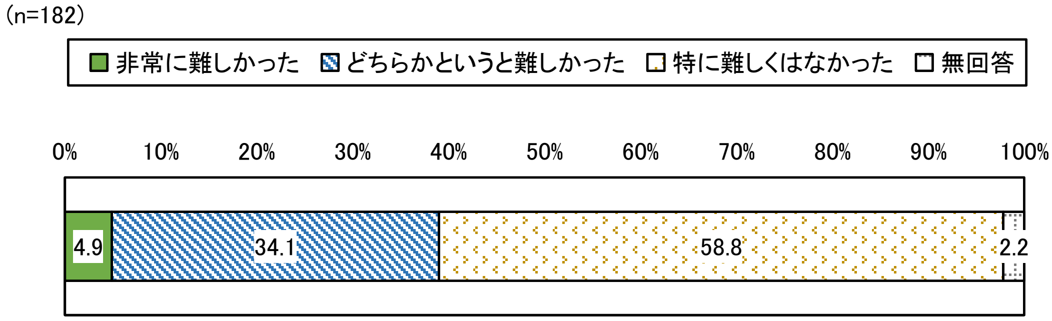
（n=3）



(5) 親族・知人にみてもらった場合の困難度

問 28 で「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に〇をつけた方のみ
問 28－１　親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。（１つに〇）

親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「特に難しくはなかった」が 58.8%で最も多く、次いで「どちらかというと難しかった」が 34.1%、「非常に難しかった」が 4.9%となっています。



１０　小学校就学後の放課後の過ごし方について

（1）希望する低学年時の放課後の過ごし方

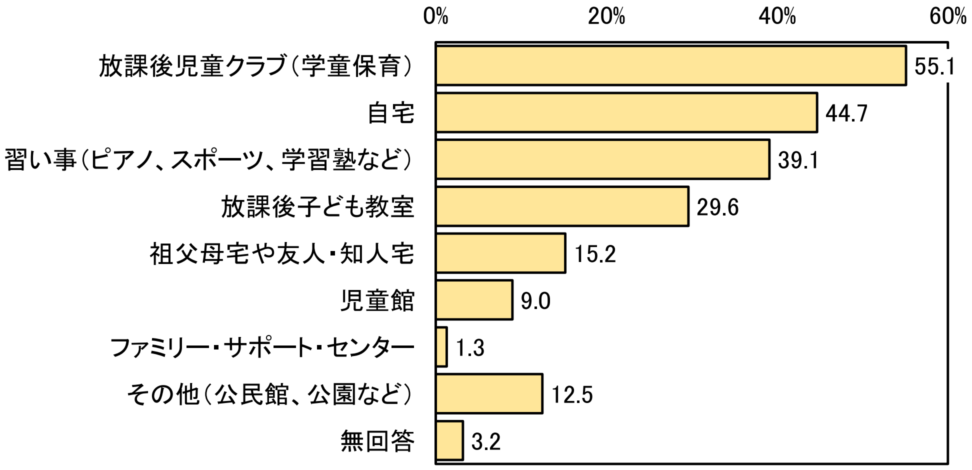
問 29　お子さんについて、小学校就学後、低学年（1～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「7. ファミリー・サポート・センター」の場合には利用を希望する時間を記入）

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 55.1％で最も多く、次いで「自宅」が 44.7％、「習い事（ピアノ、スポーツ、学習塾など）」が 39.1％、「放課後子ども教室」が 29.6％、「祖父母宅や友人・知人宅」が 15.2％となっています。

放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18 時」が 49.7％で最も多く、ファミリー・サポート・センターの利用終了時刻は、「18 時」が 58.8％で最も多くなっています。

なお、１週あたりの利用日数は、「自宅」、「児童館」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「ファミリー・サポート・センター」では「5 日」が最も多くなっています。

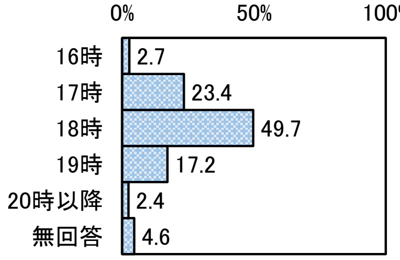
（n=1,349）



【利用終了時刻】

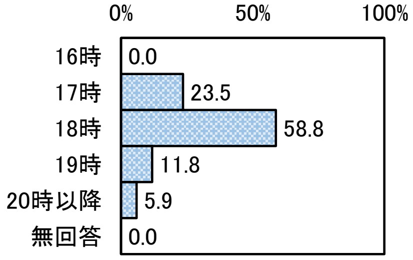
・放課後児童クラブ（学童保育）

（n=743）



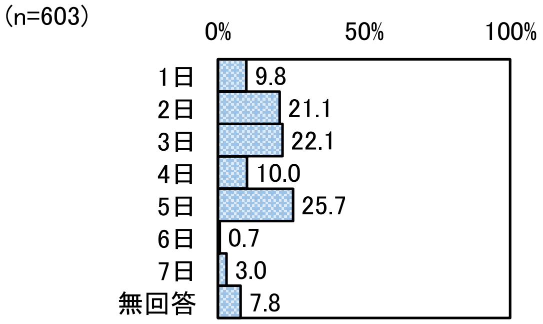
・ファミリー・サポート・センター

（n=17）

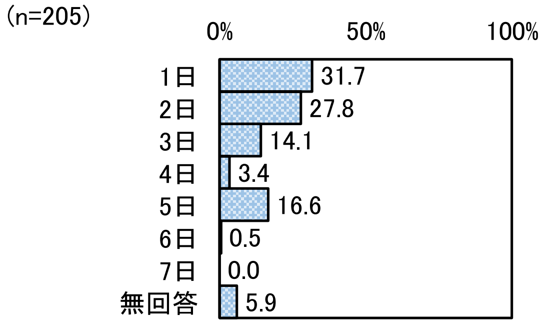


【１週あたりの利用日数】

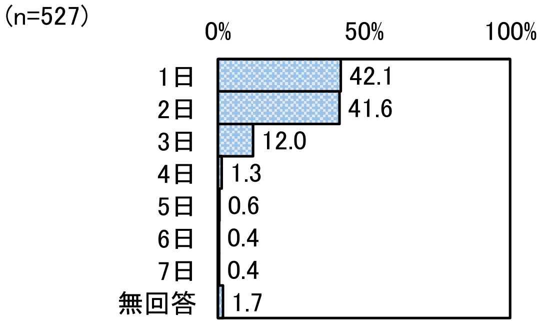
・自宅



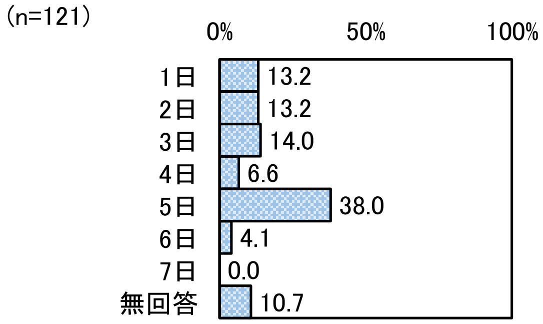
・祖父母宅や友人・知人宅



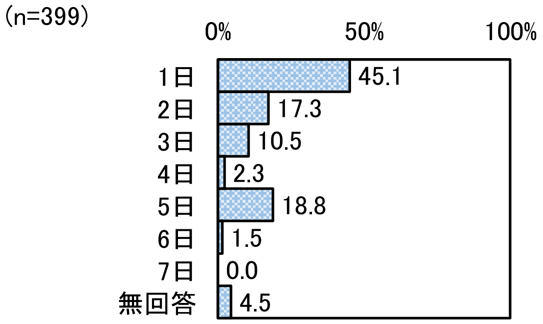
・習い事



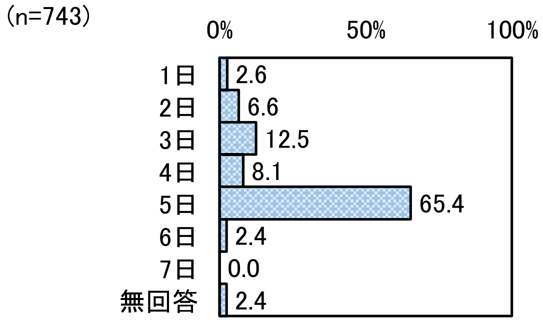
・児童館



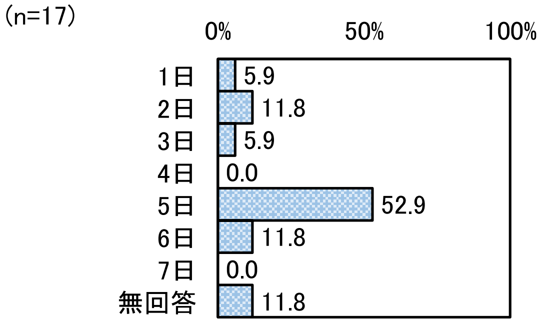
・放課後子ども教室



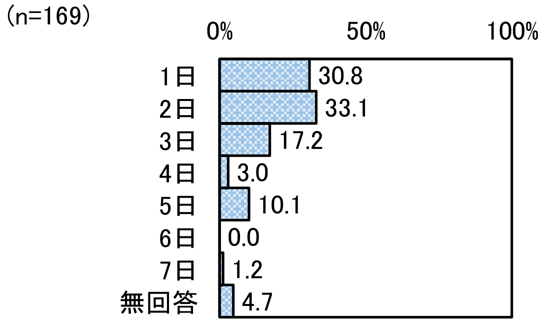
・放課後児童クラブ（学童保育）



・ファミリー・サポート・センター



・その他（公民館、公園など）



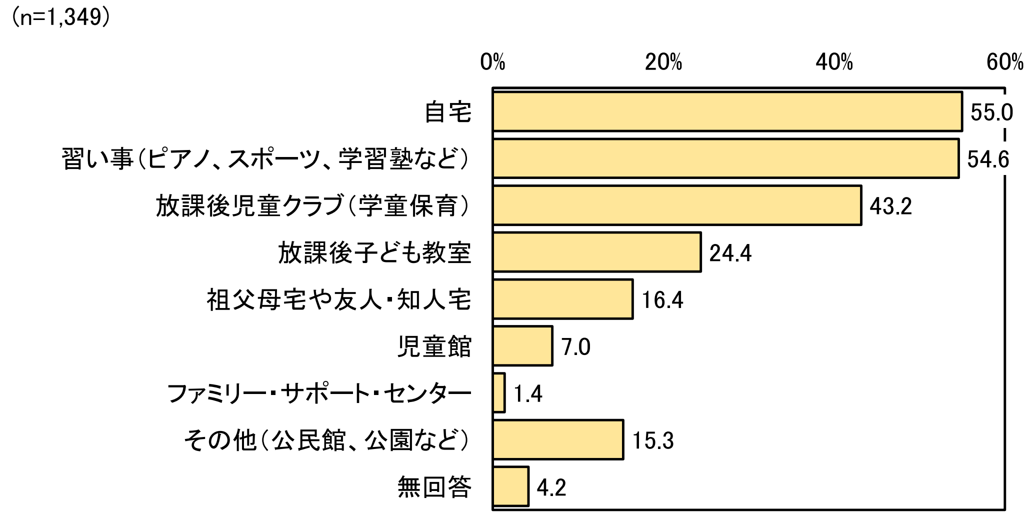
（2）希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 30 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「7. ファミリー・サポート・センター」の場合には利用を希望する時間を記入）

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が 55.0%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ、スポーツ、学習塾など）」が 54.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 43.2%、「放課後子ども教室」が 24.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 16.4%となっています。

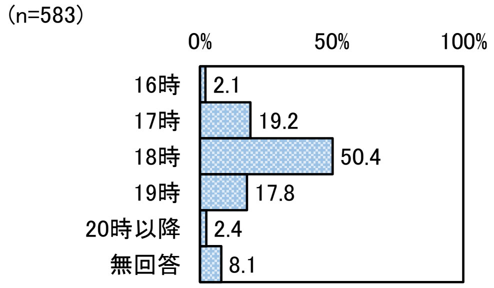
放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18 時」が 50.4%で最も多く、ファミリー・サポート・センターの利用終了時刻は、「18 時」が 42.1%で最も多くなっています。

なお、１週あたりの利用日数は、「自宅」、「児童館」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「ファミリー・サポート・センター」では「5 日」が最も多くなっています。

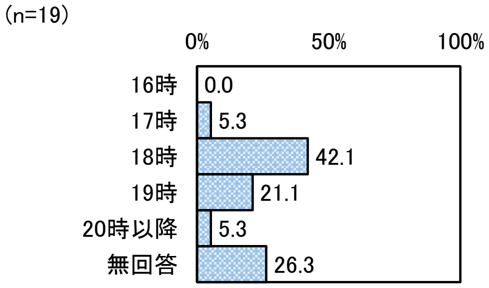


【利用終了時刻】

・放課後児童クラブ（学童保育）



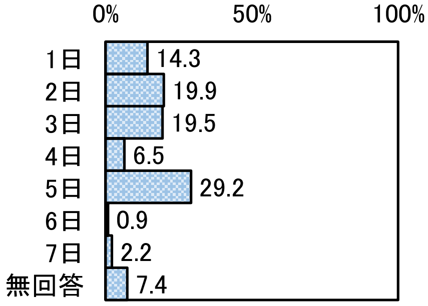
・ファミリー・サポート・センター



【１週あたりの利用日数】

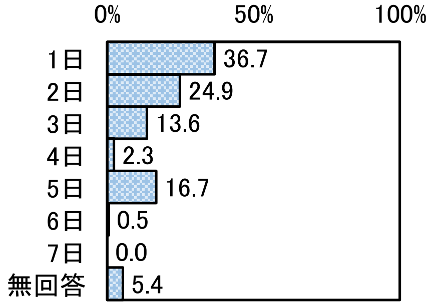
・自宅

（n=742）



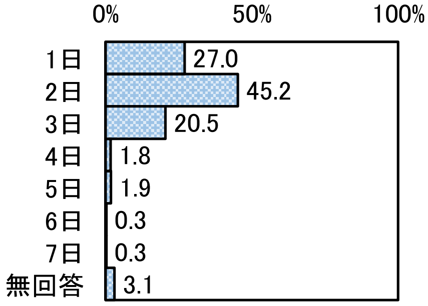
・祖父母宅や友人・知人宅

（n=221）



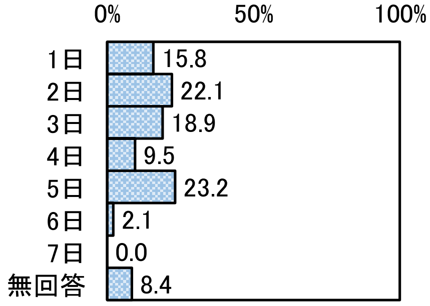
・習い事

（n=737）



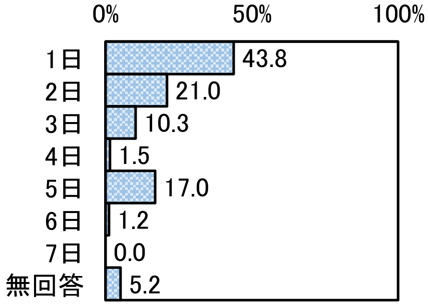
・児童館

（n=95）



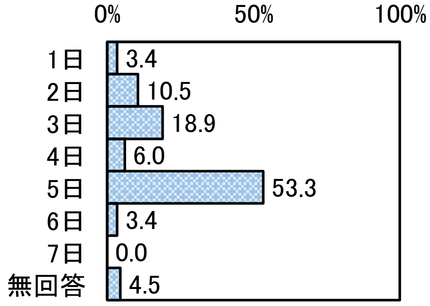
・放課後子ども教室

（n=329）



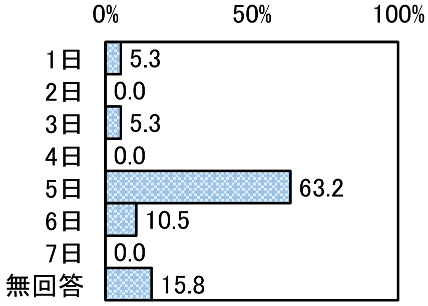
・放課後児童クラブ（学童保育）

（n=583）



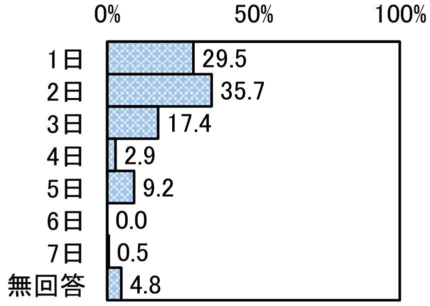
・ファミリー・サポート・センター

（n=19）



・その他（公民館、公園など）

（n=207）



（3）土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

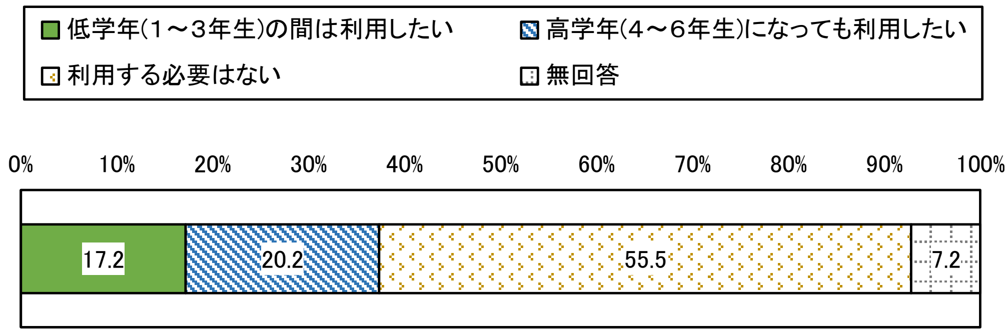
問 29 または問 30 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

問 31　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。（それぞれ１つに○、利用したい場合は時間帯を記入）

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」が 55.5％で最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 20.2％、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 17.2％となっています。

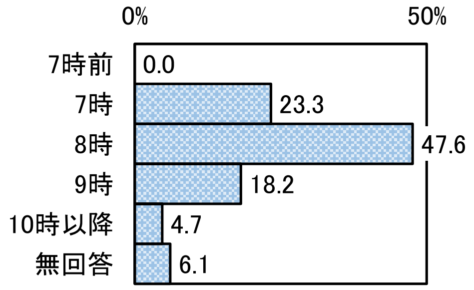
希望する利用開始時刻は「8 時」が 47.6％で最も多く、利用終了時刻は「18 時」が 46.6％で最も多くなっています。

（n=793）



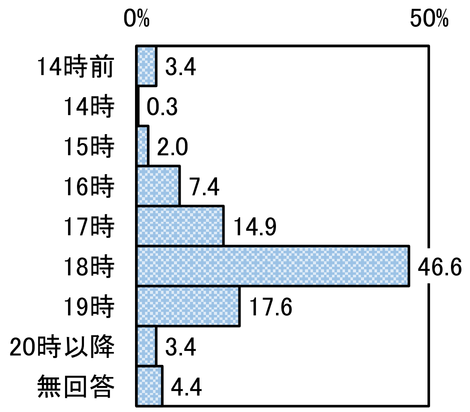
・利用開始時刻

（n=296）



・利用終了時刻

（n=296）



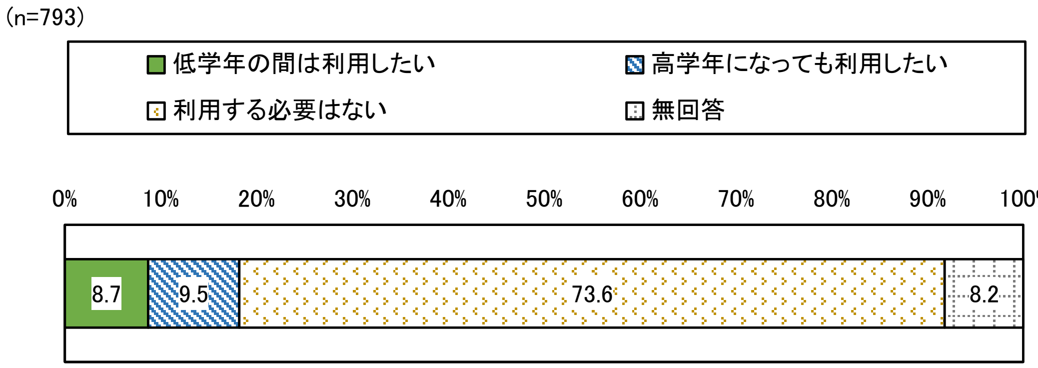
（4）日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

問 29 または問 30 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

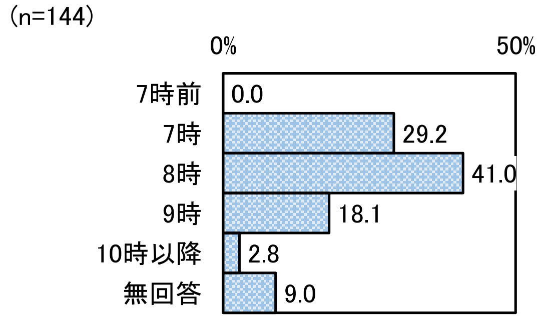
問 31　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。（それぞれ１つに○、利用したい場合は時間帯を記入）

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が 73.6％で最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が 9.5％、「低学年の間は利用したい」が 8.7％となっています。

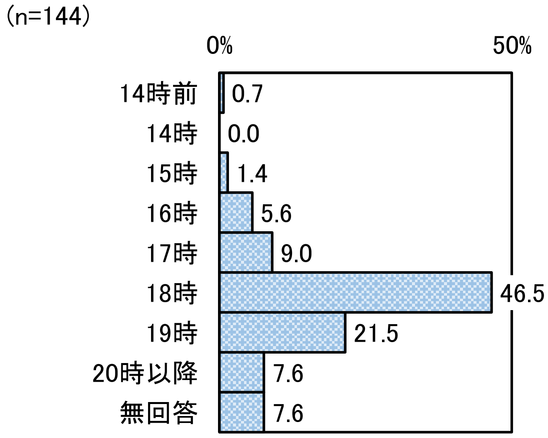
希望する利用開始時刻は「8 時」が 41.0％で最も多く、利用終了時刻は「18 時」が 46.5％で最も多くなっています。



・利用開始時刻



・利用終了時刻



（5）長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

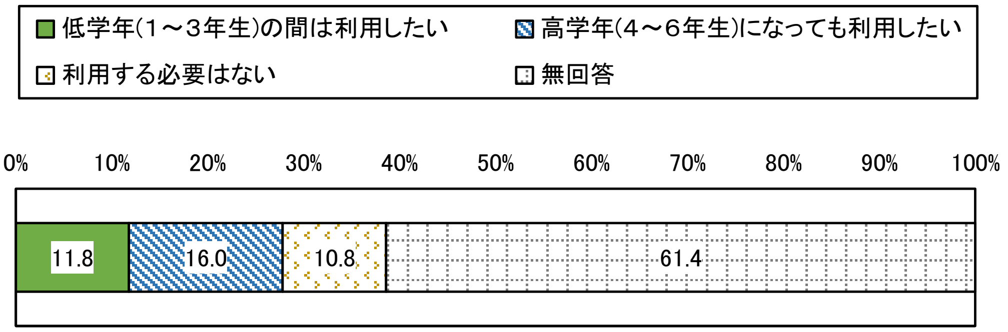
お子さんが5歳以上である方のみ

問 32　お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。（1つに○、利用したい場合は時間帯を記入）

長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 16.0％で最も多く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 11.8％、「利用する必要はない」が 10.8％となっています。

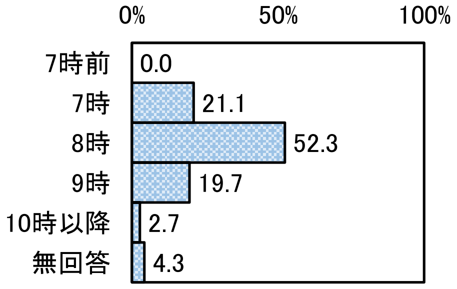
希望する利用開始時刻は「8 時」が 52.3％で最も多く、利用終了時刻は「18 時」が 35.5％で最も多くなっています。

（n=1,349）



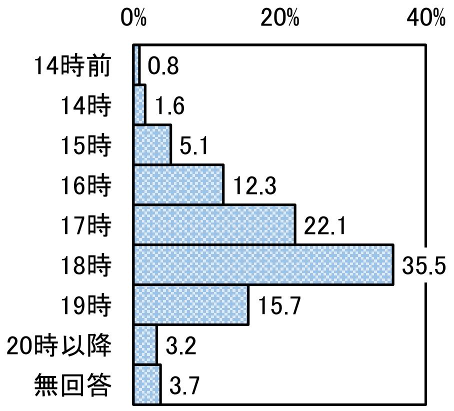
・利用開始時刻

（n=375）



・利用終了時刻

（n=375）



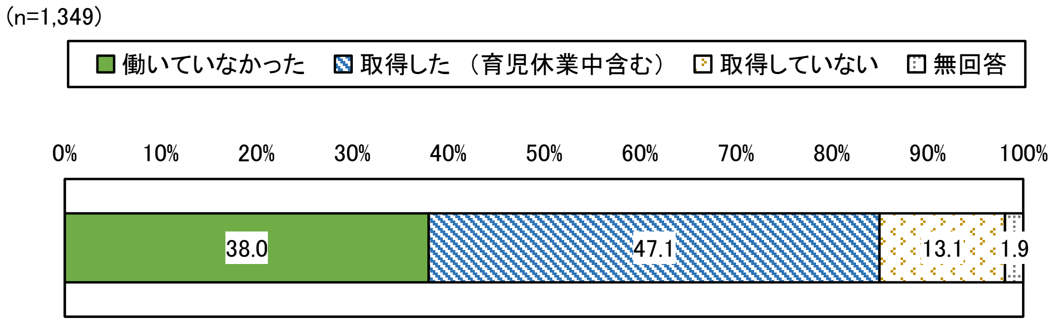
11　職場の両立支援制度について

(1) 母親の育児休業の取得状況

問 33　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(父親、母親それぞれ１つに○を付けてください、また、取得していない方はその理由を記入してください)

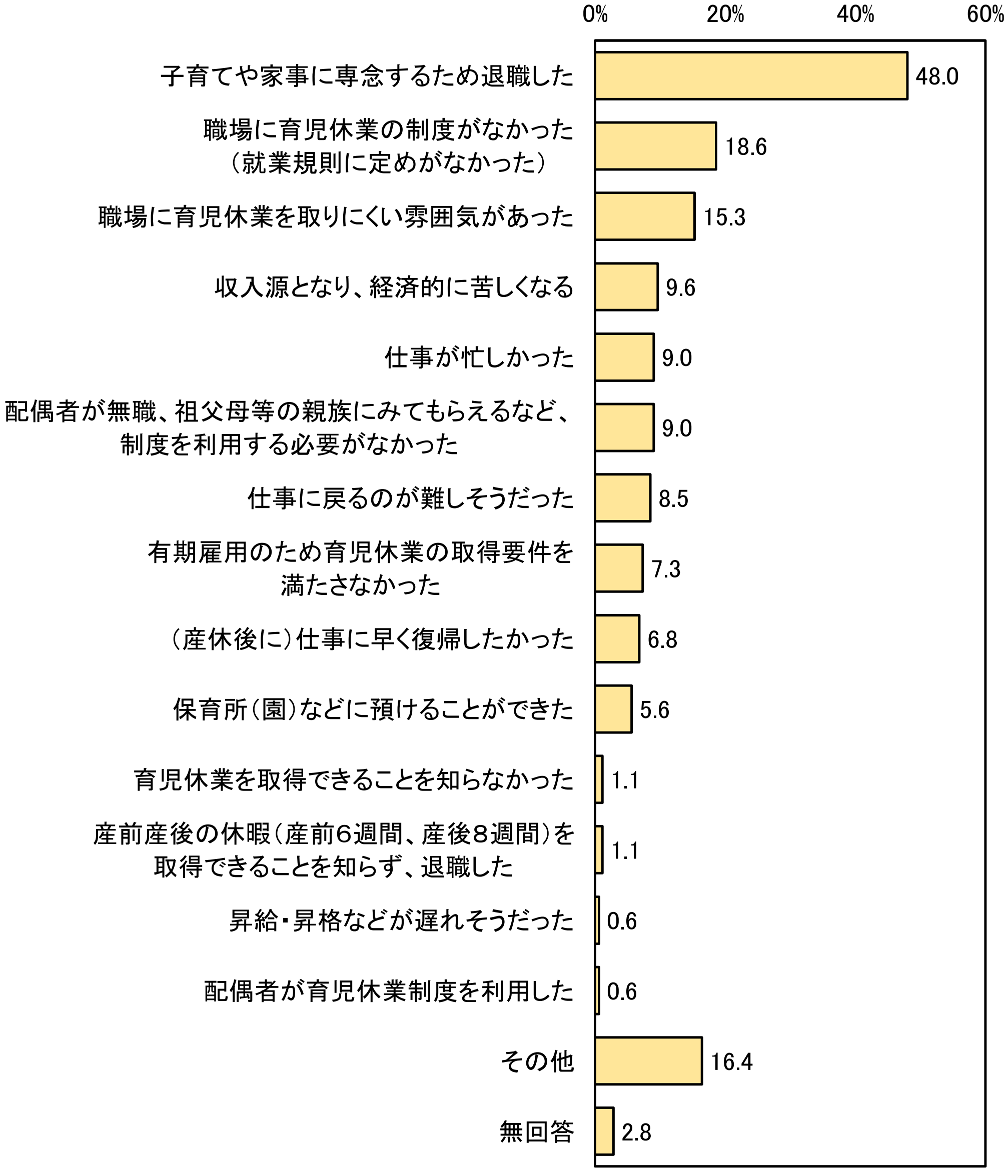
母親の育児休業の取得状況は、「取得した（育児休業中含む)」が 47.1%で最も多く、次いで「働いていなかった」が 38.0%、「取得していない」が 13.1%となっています。

育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 48.0%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった)」が 18.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 15.3%、「収入源となり、経済的に苦しくなる」が 9.6%、「仕事が忙しかった」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がともに 9.0%となっています。



・母親が育児休業を取得していない理由

(n=177)



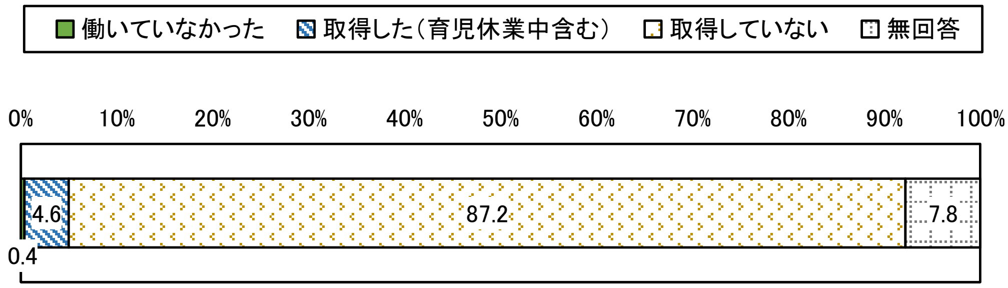
（2）父親の育児休業の取得状況

問 33 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。（父親、母親それぞれ１つに○を付けてください、また、取得していない方はその理由を記入してください）

父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が 87.2％で最も多く、次いで「取得した（育児休業中含む）」が 4.6％、「働いていなかった」が 0.4％となっています。

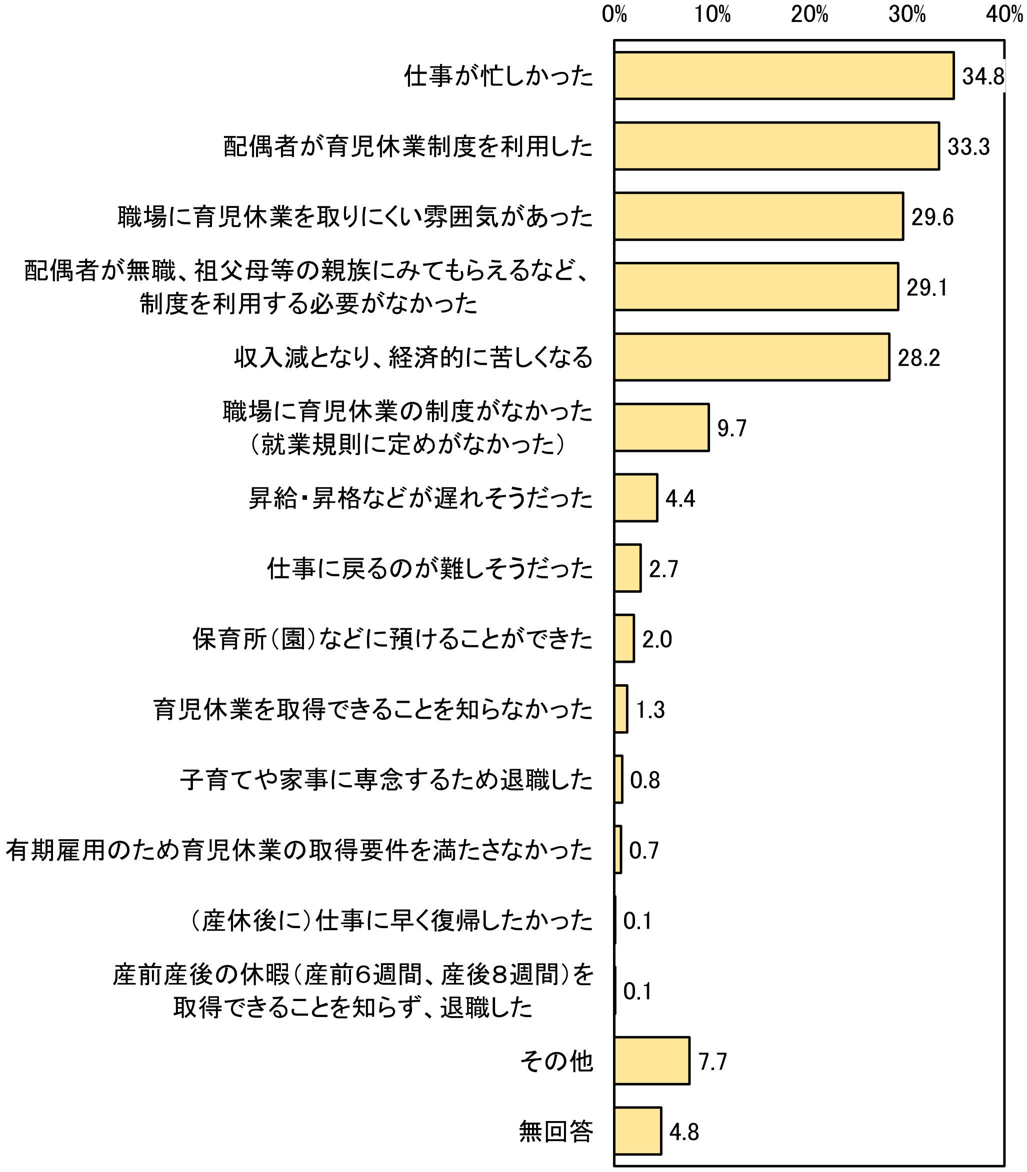
育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が 34.8％で最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が 33.3％、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 29.6％、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 29.1％、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 28.2％となっています。

(n=1,349)



・父親が育児休業を取得していない理由

（n=1,177）



(3) 育児休業取得後の状況

問 33 で「2. 取得した（育児休業中含む）」に○をつけた方のみ

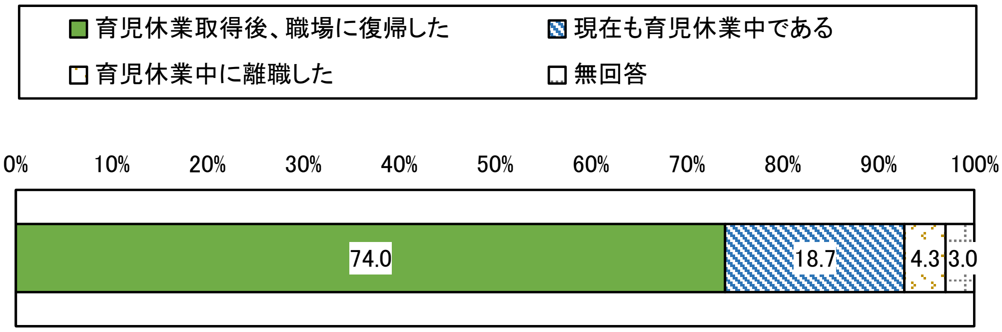
問 33－１　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ1つに○）

母親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 74.0%で最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 18.7%、「育児休業中に離職した」が 4.3%となっています。

また、父親の育児休業取得後の状況は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 85.5%となっています。

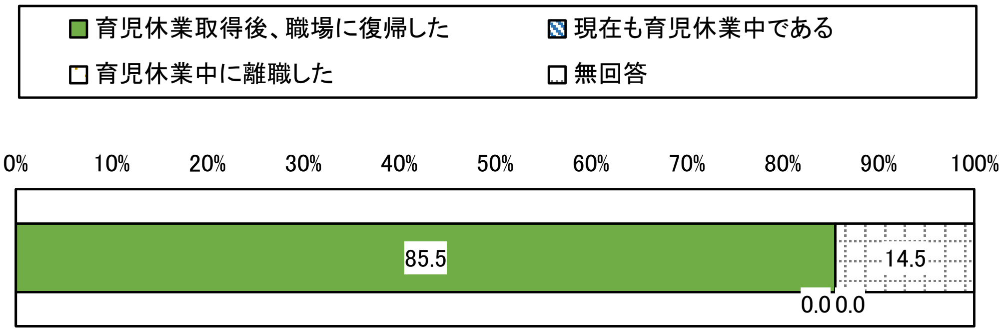
・母親の育児休業取得後の状況

(n=635)



・父親の育児休業取得後の状況

(n=62)



（4）育児休業から職場に復帰する時期

問 33－1で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方のみ

問 33－2　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ実際と希望の復帰時期を記入）

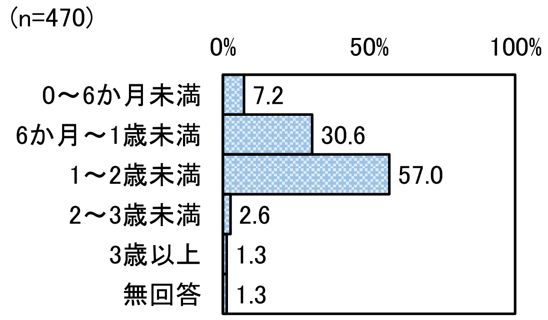
母親が職場に復帰した時期は、「1～2 歳未満」が 57.0％で最も多く、次いで「6 か月～1 歳未満」が 30.6％、「0～6 か月未満」が 7.2％、「2～3 歳未満」が 2.6％、「3 歳以上」が 1.3％となっています。

一方、母親が希望する職場への復帰時期は、「1～2 歳未満」が 63.8％で最も多く、次いで「2～3 歳未満」が 12.3％、「3 歳以上」が 11.1％、「6 か月～1 歳未満」が 6.4％、「0～6 か月未満」が 3.4％となっています。

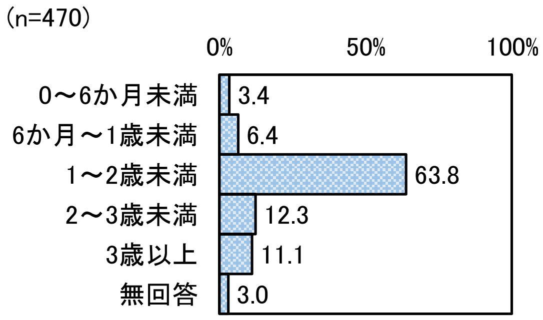
また、父親が職場に復帰した時期は、「0～6 か月未満」が 62.3％で最も多く、次いで「1～2 歳未満」が 7.5％、「6 か月～1 歳未満」が 5.7％となっています。

父親が希望する職場への復帰時期は、「0～6 か月未満」が 47.2％で最も多く、次いで「1～2 歳未満」が 20.8％、「6 か月～1 歳未満」、「3 歳以上」がともに 3.8％、「2～3 歳未満」が 1.9％となっています。

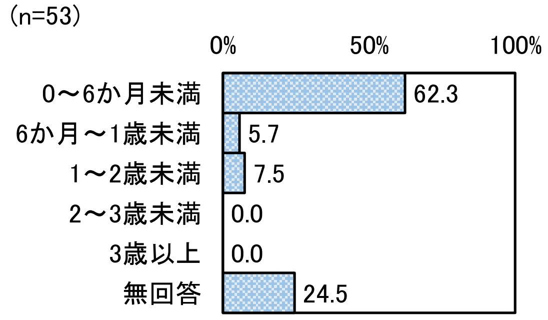
・母親の実際の復帰時期



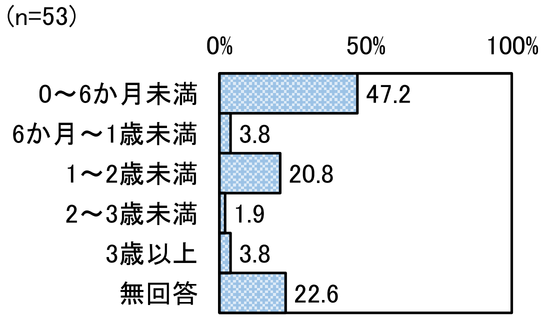
・母親の希望の復帰時期



・父親の実際の復帰時期



・父親の希望の復帰時期



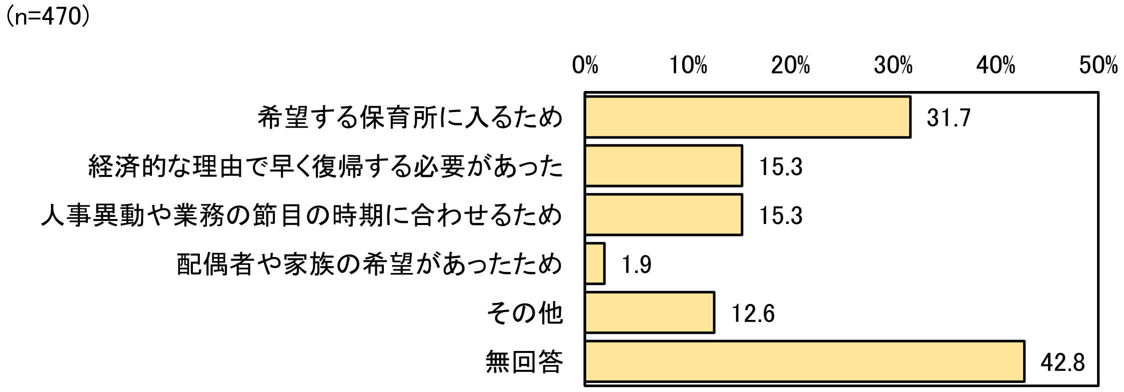
(5) 育児休業取得後、希望より早く復帰した理由

問 33－2で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
問 33－3　希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。
（1）希望より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

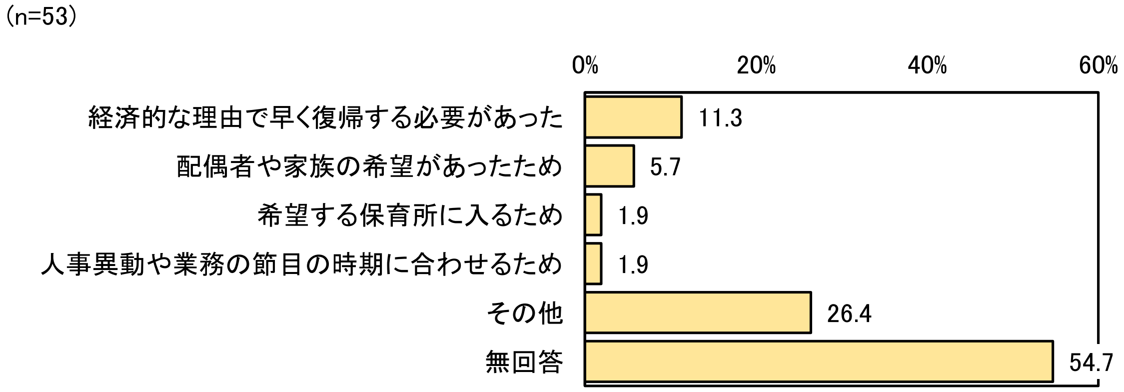
母親が希望より早く復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が 31.7％で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに 15.3％、「配偶者や家族の希望があったため」が 1.9％となっています。

一方、父親が希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 11.3％で最も多く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」が 5.7％、「希望する保育所に入るため」が 1.9％、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 1.9％となっています。

・母親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）



・父親が育児休業取得後、希望より早く復帰した理由（早く復帰した家庭のみの集計）



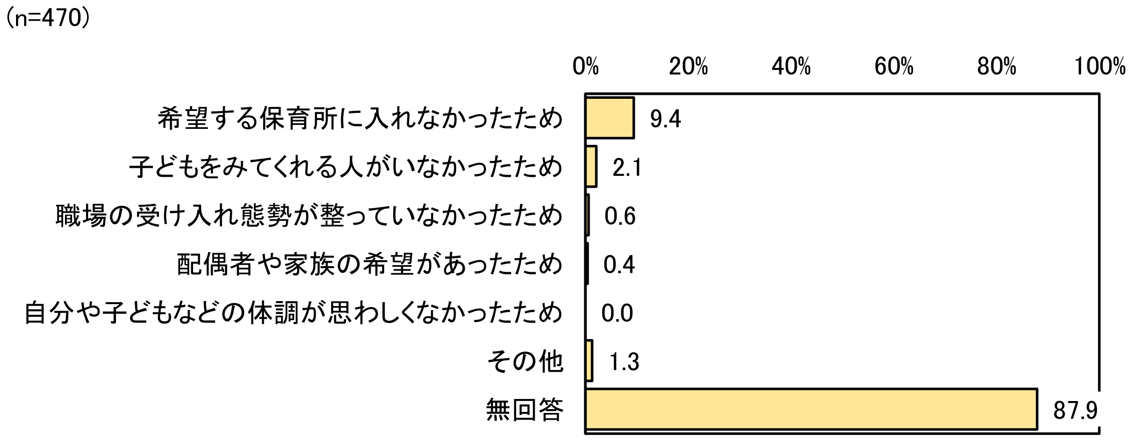
（6）育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由

問 33－2で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方のみ
問 33－3　希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。
（2）希望より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

母親が希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が 9.4%で最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 2.1%、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が 0.6%、「配偶者や家族の希望があったため」が 0.4%となっています。

父親が希望より遅く復帰した理由への回答は得られませんでした。

・母親が育児休業取得後、希望より遅く復帰した理由（遅く復帰した家庭のみの集計）



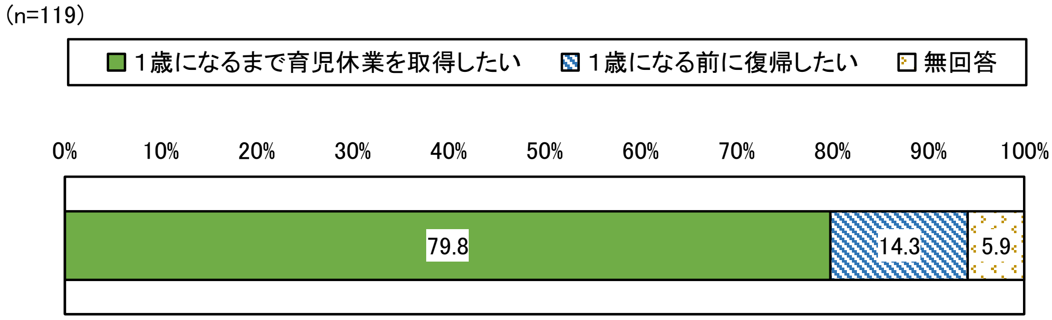
（7）子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の意向

問 33－1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方のみ
問　33－4　お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（それぞれ1つに○）

子どもが１歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向は、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 79.8%で最も多く、次いで「１歳になる前に復帰したい」が 14.3%となっています。

一方、父親の意向についての回答は得られませんでした。

・子どもが１歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の母親の意向

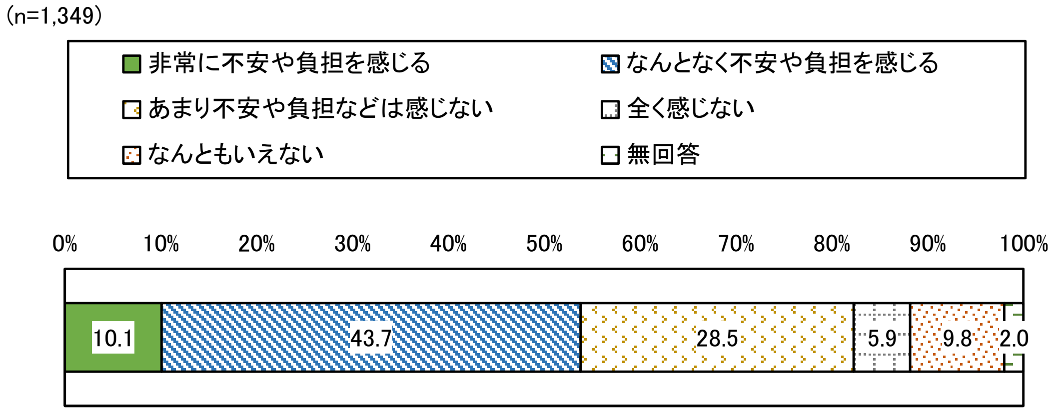


12　子育て支援施策全般について

(1) 子育てに関しての不安感や負担感

問 34　子育てに関して不安感や負担感などを感じていますか。(1つに○)

子育てに関しての不安感や負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 43.7%で最も多く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 28.5%、「非常に不安や負担を感じる」が 10.1%、「なんともいえない」が 9.8%、「全く感じない」が 5.9%となっています。

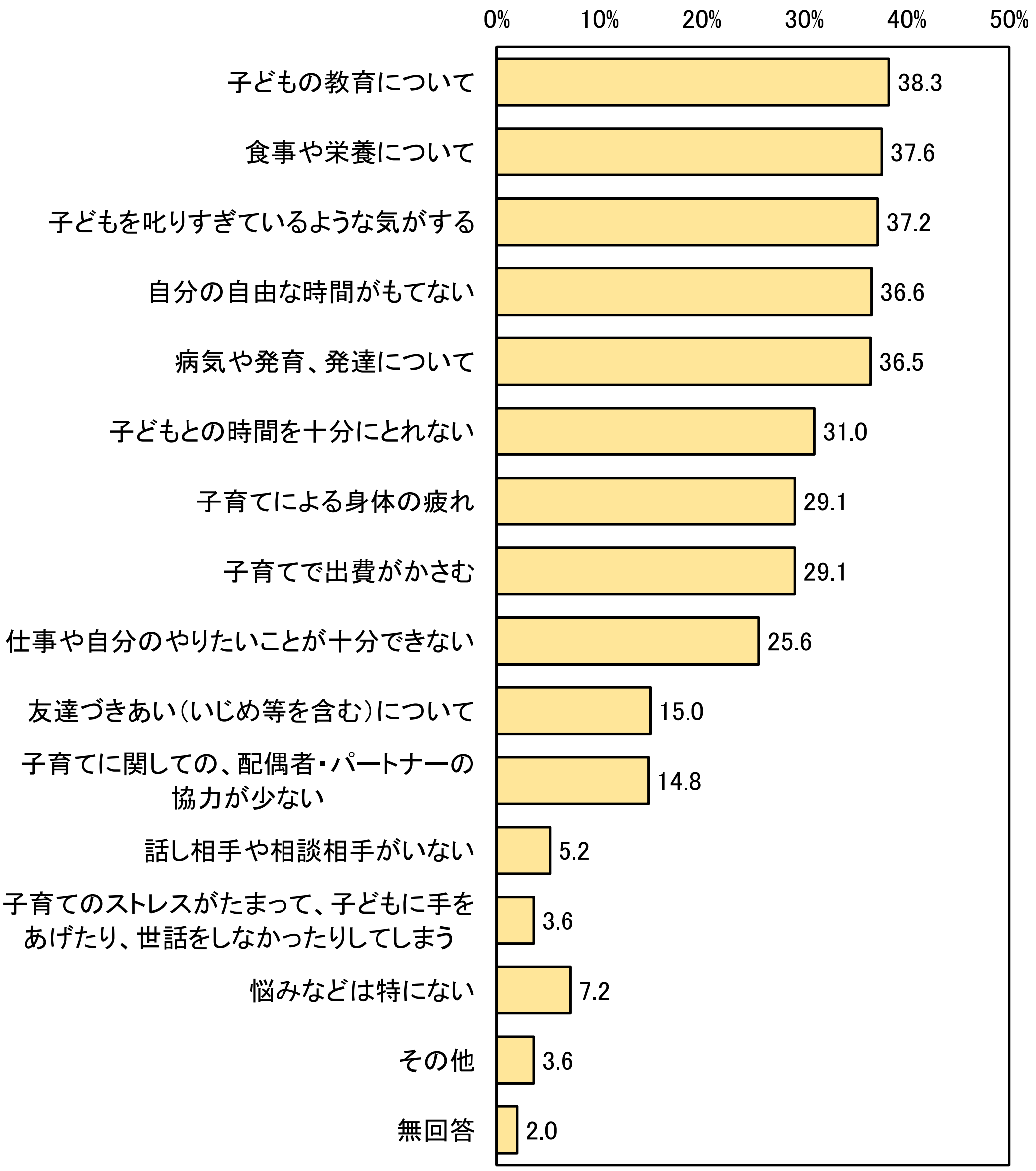


（2）子育てに関する悩み・気になること

問 35　子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）

子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることについては、「子どもの教育について」が 38.3％で最も多く、次いで「食事や栄養について」が 37.6％、「子どもを叱りすぎているような気がする」が 37.2％、「自分の自由な時間がもてない」が 36.6％、「病気や発育、発達について」が 36.5％となっています。

（n=1,349）



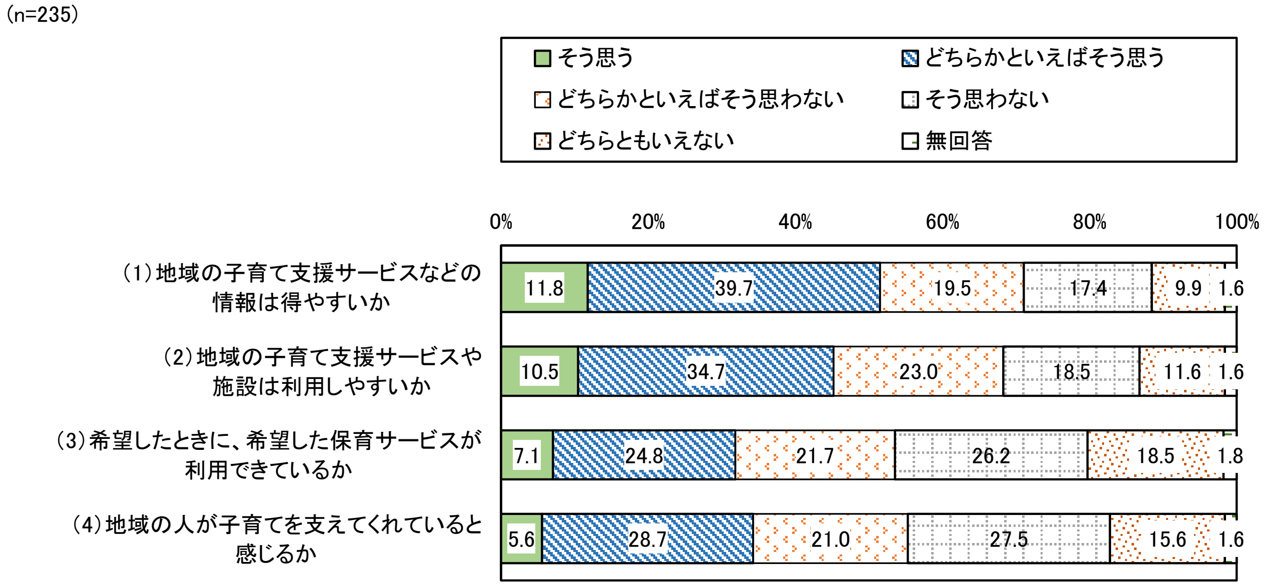
（3）阿見町の子育て環境について

問 36　阿見町の子育て環境について、どのように感じていますか。 （1）～（4）のそれぞれについて、あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。

阿見町の子育て環境について感じていることを、『思う』（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計）を多い順にみると、「（１）地域の子育て支援サービスなどの情報は得やすいと思いますか」（51.5％）、「（２）地域の子育て支援サービスや施設は利用しやすいと思いますか」（45.2％）、「（４）地域の人が子育てを支えてくれていると感じていますか」（34.3％）、「（３）希望したときに、希望した保育サービスが利用できていると思いますか」（31.9％）となっています。

一方、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計）では、多い順に、「（４）地域の人が子育てを支えてくれていると感じていますか」（48.5％）、「（３）希望したときに、希望した保育サービスが利用できていると思いますか」（47.9％）、「（２）地域の子育て支援サービスや施設は利用しやすいと思いますか」（41.5％）、「（１）地域の子育て支援サービスなどの情報は得やすいと思いますか」（36.9％）となっています。

・地域の子育て支援サービスについて感じていること

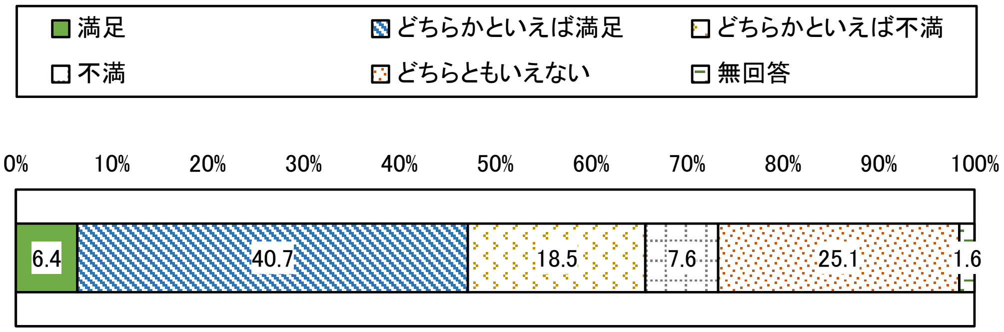


（4）子育ての環境や支援への満足度

問 37 阿見町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（1つに○）

阿見町における子育ての環境や支援への満足度は、「どちらかといえば満足」が 40.7%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 25.1%、「どちらかといえば不満」が 18.5%、「不満」が 7.6%、「満足」が 6.4%となっています。

(n=1,349)

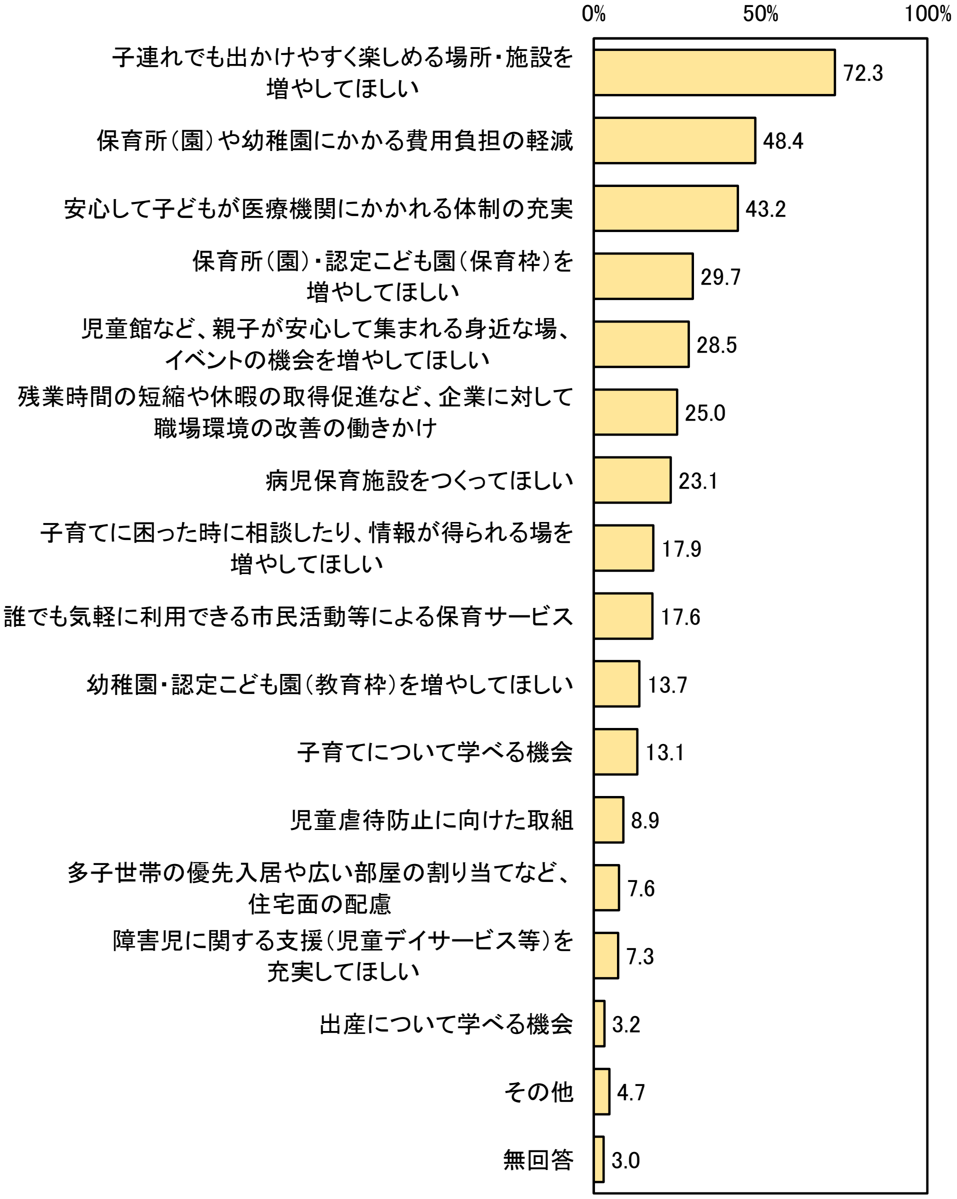


(5) 阿見町に期待する子育て支援

問 38　阿見町に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。
（あてはまるものすべてに○）

阿見町に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいかについては、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所・施設を増やしてほしい」が 72.3％で最も多く、次いで「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が 48.4％、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」が 43.2％、「保育所（園）・認定こども園（保育枠）を増やしてほしい」が 29.7％、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を増やしてほしい」が 28.5％となっています。

（n=1,349）



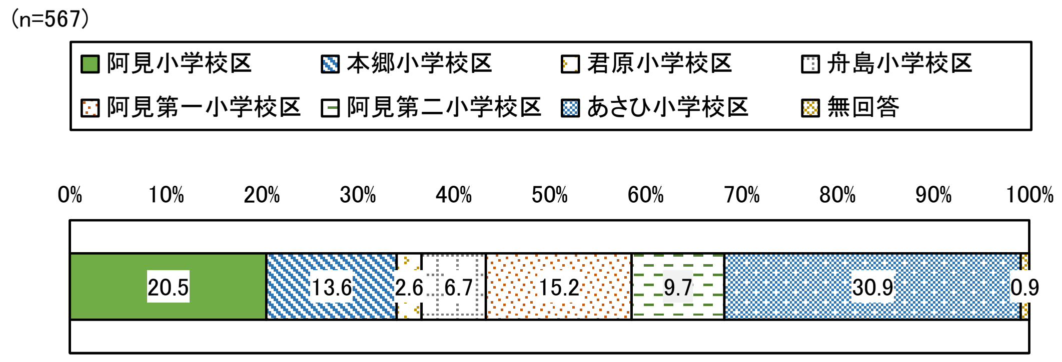
第3章　小学生保護者

1　お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1　お住まいの地区は次のうちどちらですか。(1つに○)

居住地区は、「あさひ小学校区」が 30.9%で最も多く、次いで「阿見小学校区」が 20.5%、「阿見第一小学校区」が 15.2%、「本郷小学校区」が 13.6%、「阿見第二小学校区」が 9.7%となっています。

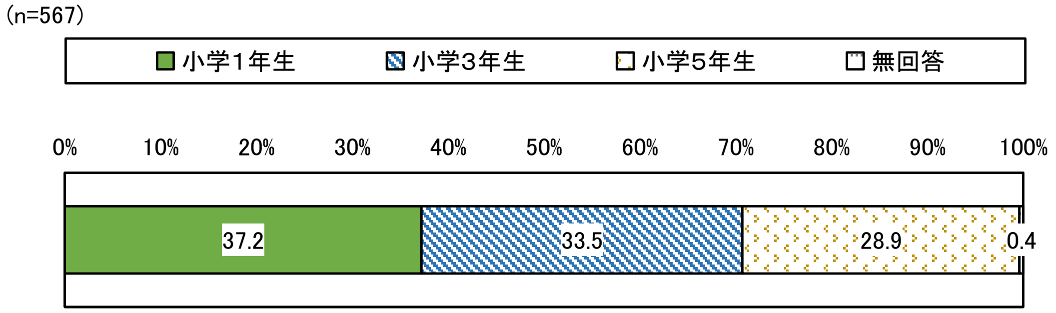


2 お子様とご家族のことについて

(1) 子どもの学年

問2　お子さんの現在の学年を記入してください。

子どもの学年は、「小学１年生」が 37.2％で最も多く、次いで「小学３年生」が 33.5％、「小学５年生」が 28.9％となっています。

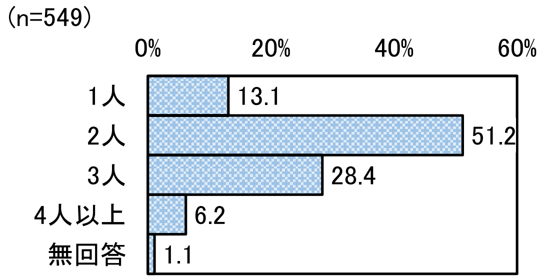


(2) 子どもの人数

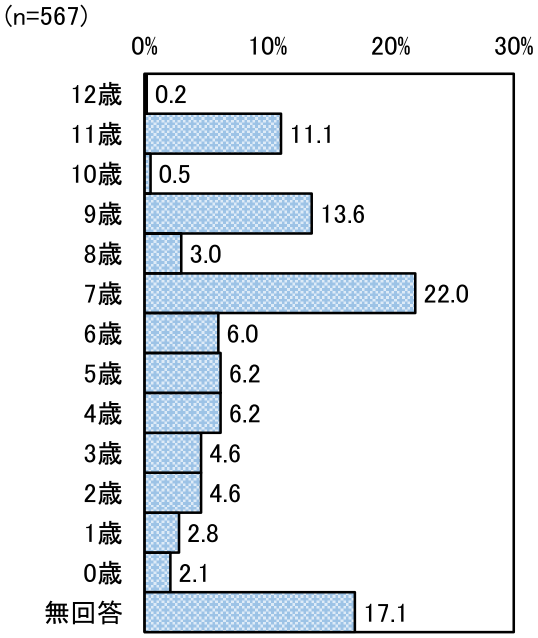
問3　お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

子どもの人数は、「2 人」が 51.2％で最も多く、次いで「3 人」が 28.4％、「1 人」が 13.1％、「4 人以上」が 6.2％となっています。また、末子の年齢は、「7 歳」が 22.0％で最も多く、次いで「9 歳」が 13.6％、「11 歳」が 11.1％、「5 歳」、「4 歳」がともに 6.2％となっています。

・きょうだいの数



・末子の年齢

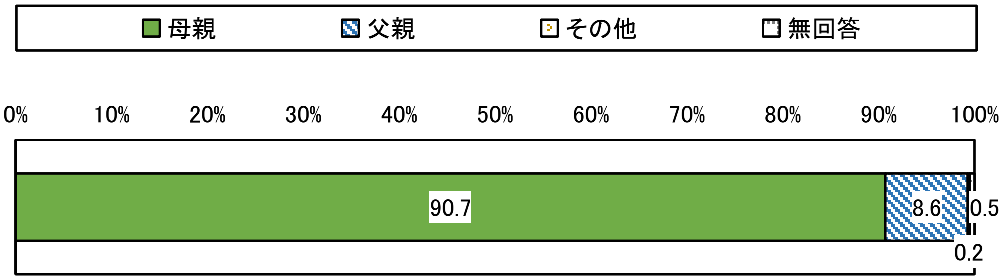


(3) 調査票回答者

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

調査票回答者は、「母親」が 90.7％、「父親」が 8.6％となっています。

(n=567)

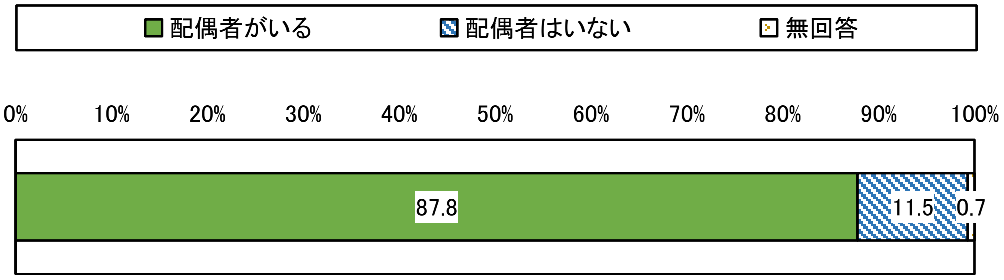


(4) 調査票回答者の配偶関係

問5　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

調査票回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 87.8％、「配偶者はいない」が 11.5％となっています。

(n=567)

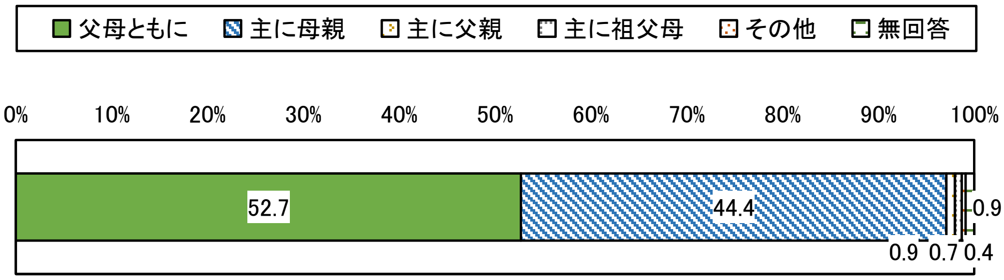


(5) 主に子育てをしている人

問6　お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

主に子育てをしている人は、「父母ともに」が 52.7％で最も多く、次いで「主に母親」が 44.4％、「主に父親」が 0.9％、「主に祖父母」が 0.7％となっています。

(n=567)



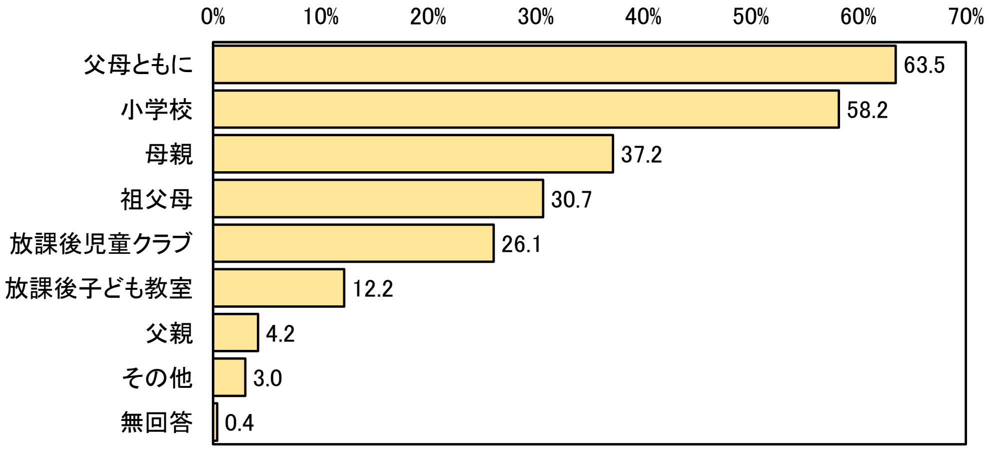
3　子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7　お子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

子育てに日常的に関わっている人・施設は、「父母ともに」が63.5%で最も多く、次いで「小学校」が58.2%、「母親」が37.2%、「祖父母」が30.7%、「放課後児童クラブ」が26.1%となっています。

(n=567)

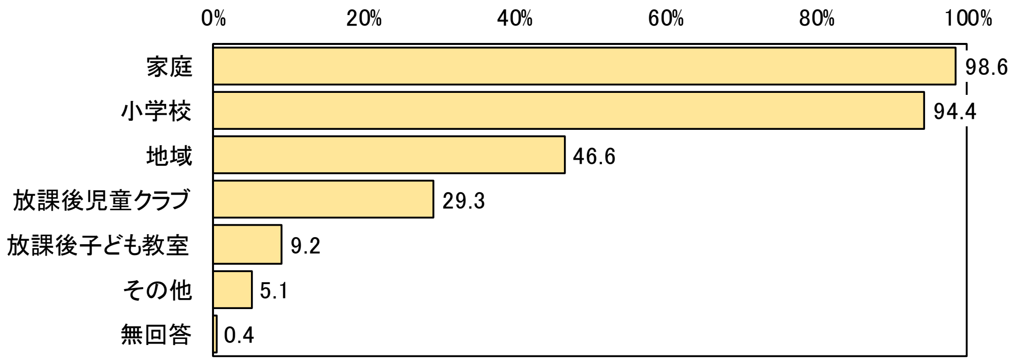


(2) 子育てに影響すると思われる環境

問8　お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」が98.6%で最も多く、次いで「小学校」が94.4%、「地域」が46.6%、「放課後児童クラブ」が29.3%、「放課後子ども教室」が9.2%となっています。

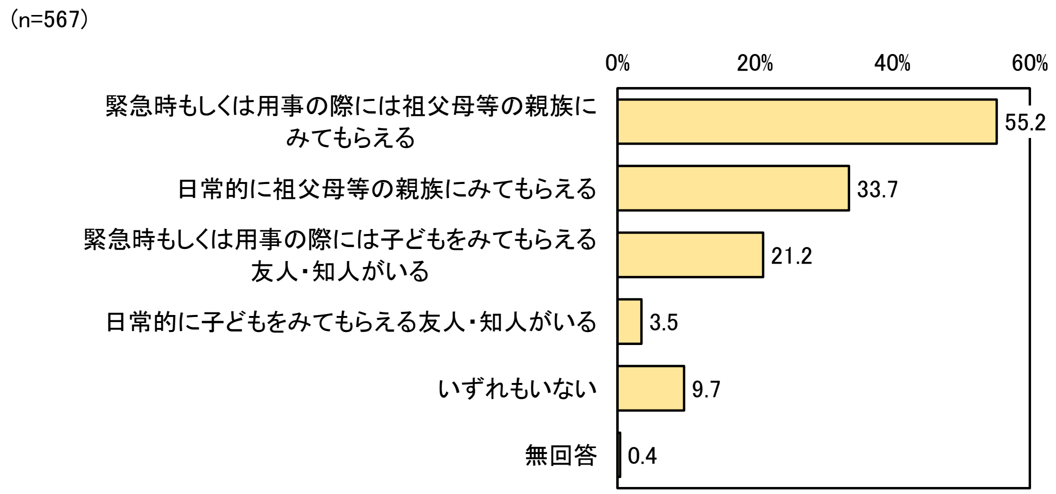
(n=567)



（3）子どもをみてもらえる親族・友人の有無

問9　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

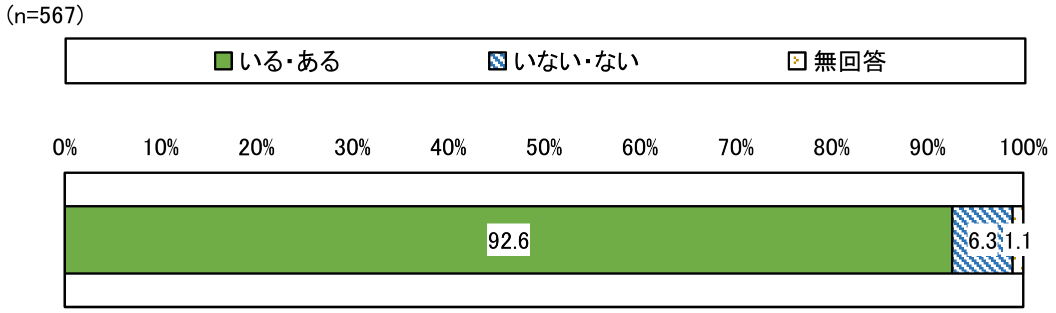
子どもをみてもらえる親族・友人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 55.2％で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 33.7％、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 21.2％、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 3.5％となっています。



（4）気軽に相談できる人・場所の有無

問 10　お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（1つに○）

気軽に相談できる人・場所の有無は、「いる・ある」が 92.6%、「いない・ない」が 6.3%となっています。

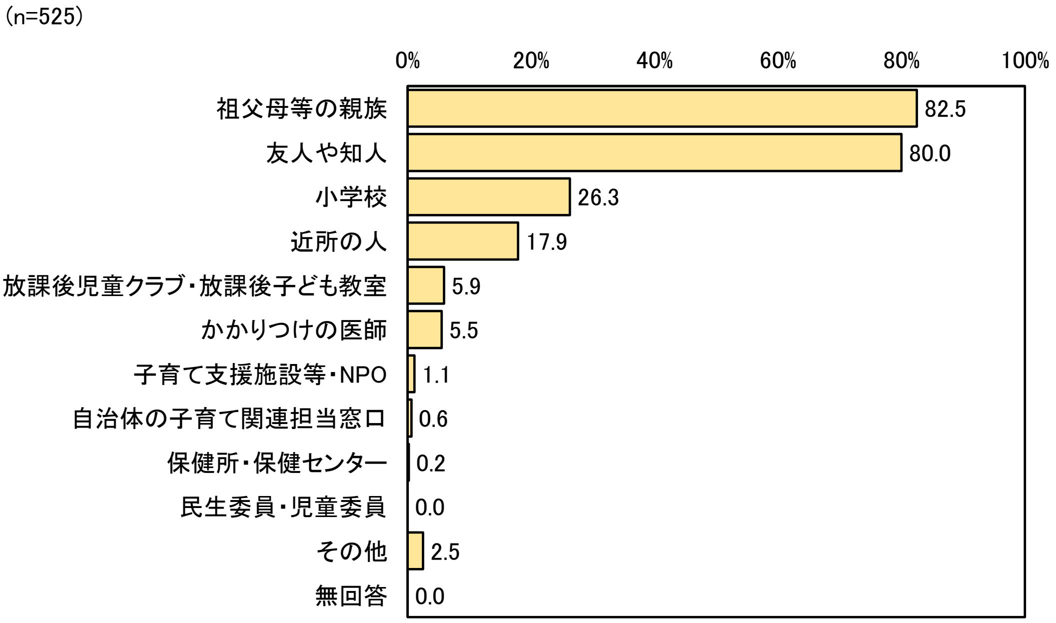


（5）気軽に相談できる人・場所

問 10 で「1. いる・ある」に○をつけた方のみ

問 10－1　お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

気軽に相談できる人・場所は、「祖父母等の親族」が 82.5%で最も多く、次いで「友人や知人」が 80.0%、「小学校」が 26.3%、「近所の人」が 17.9%、「放課後児童クラブ・放課後子ども教室」が 5.9%となっています。

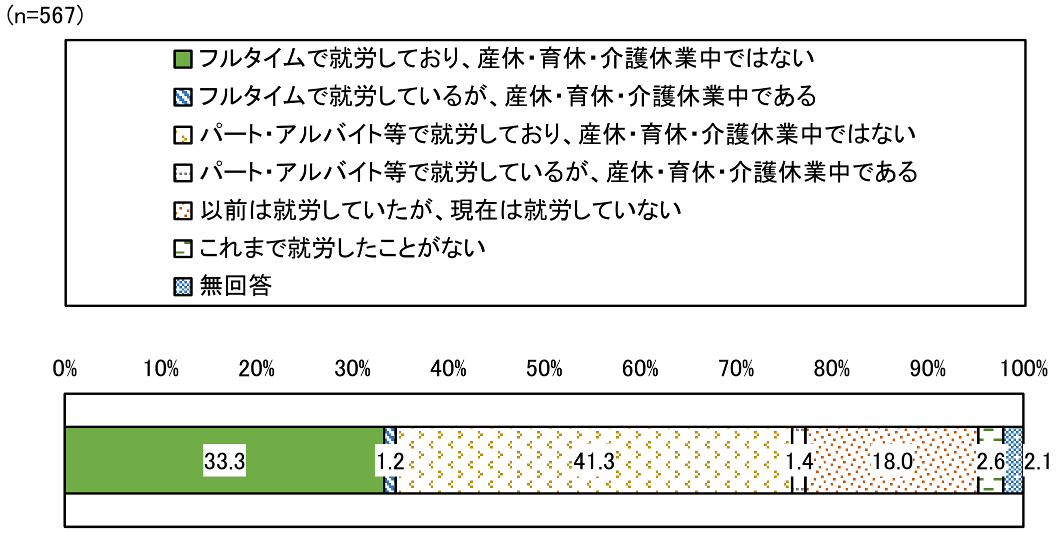


４　保護者の就労状況について

（1）母親の就労状況

問 12　お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つに○）
（1）母親 【父子家庭の場合は記入不要】

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 41.3％で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 33.3％、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 18.0％、「これまで就労したことがない」が 2.6％、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 1.4％となっています。



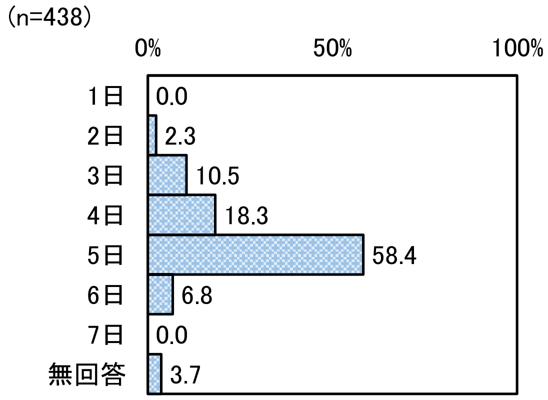
（2）就労している母親の就労日数・就労時間

（1）で「１」～「４」に〇をつけた方のみ
（1）－１　１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

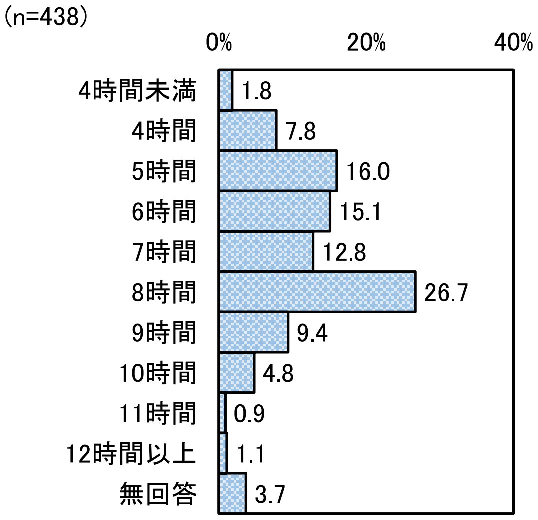
就労している母親の１週あたりの就労日数は、「5 日」が 58.4％で最も多く、次いで「4 日」が 18.3％、「3 日」が 10.5％、「6 日」が 6.8％、「2 日」が 2.3％となっています。

また、１日あたりの就労時間は、「8 時間」が 26.7％で最も多く、次いで「5 時間」が 16.0％、「6 時間」が 15.1％、「7 時間」が 12.8％、「9 時間」が 9.4％となっています。

・１週あたりの就労日数



・１日あたりの就労時間



（3）就労している母親の家を出る時刻・帰宅時刻

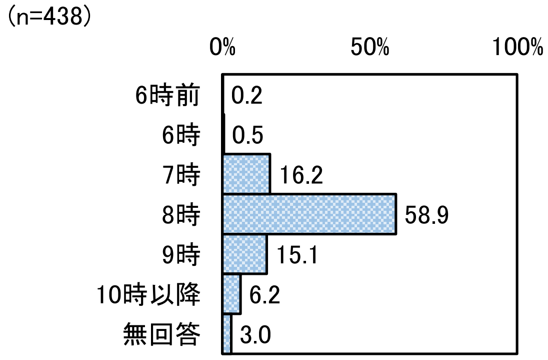
（1）で「１」～「４」に○をつけた方のみ

（1）－２　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

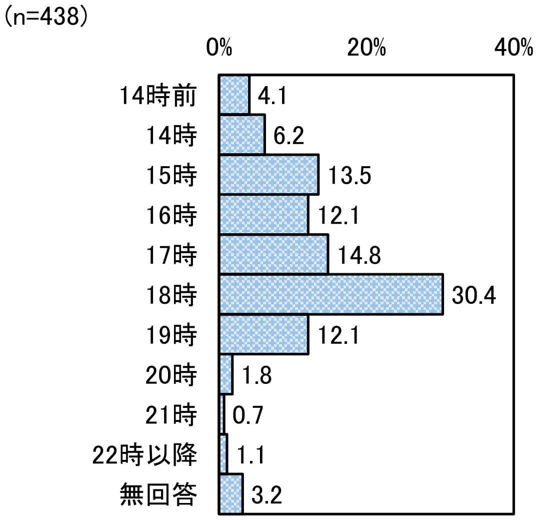
就労している母親の家を出る時刻は、「8 時」が 58.9％で最も多く、次いで「7 時」が 16.2％、「9 時」が 15.1％、「10 時以降」が 6.2％、「6 時」が 0.5％となっています。

また、帰宅時刻は、「18 時」が 30.4％で最も多く、次いで「17 時」が 14.8％、「15 時」が 13.5％、「16 時」、「19 時」がともに 12.1％となっています。

・家を出る時刻



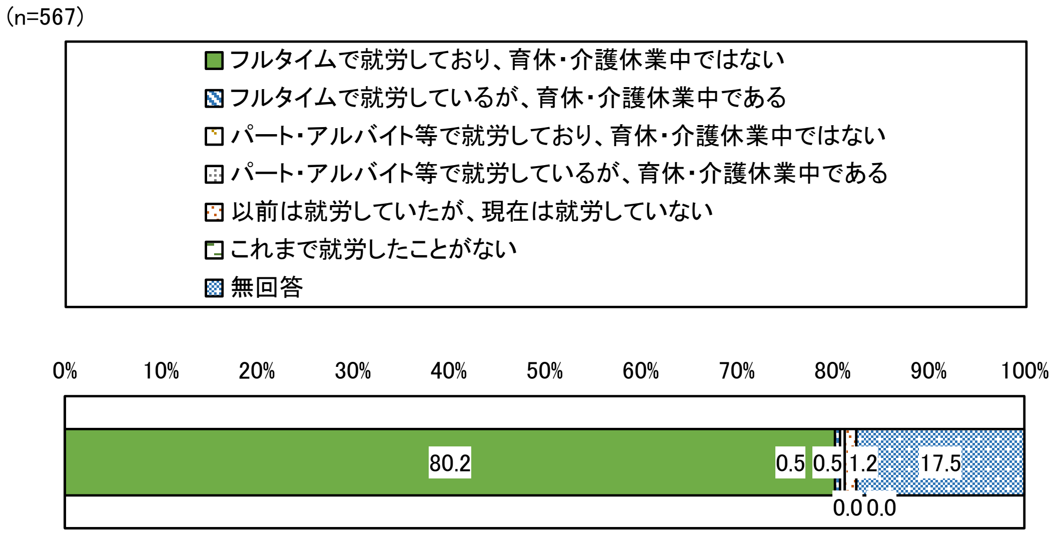
・帰宅時刻



(4) 父親の就労状況

問 12　お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(1つに○) (2)父親 【母子家庭の場合は記入不要】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 80.2%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 1.2%、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」がともに 0.5%となっています。



（5）就労している父親の就労日数・就労時間

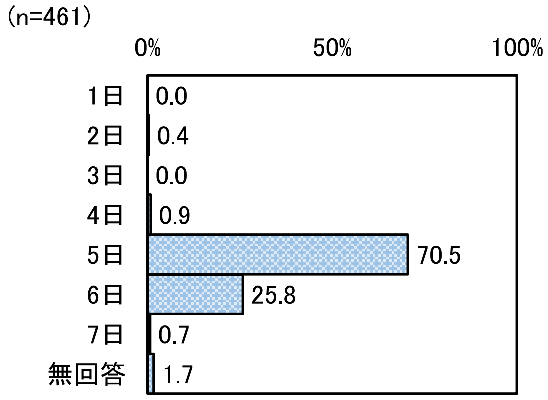
（2）で「1」～「4」に○をつけた方のみ

（2）－１　１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

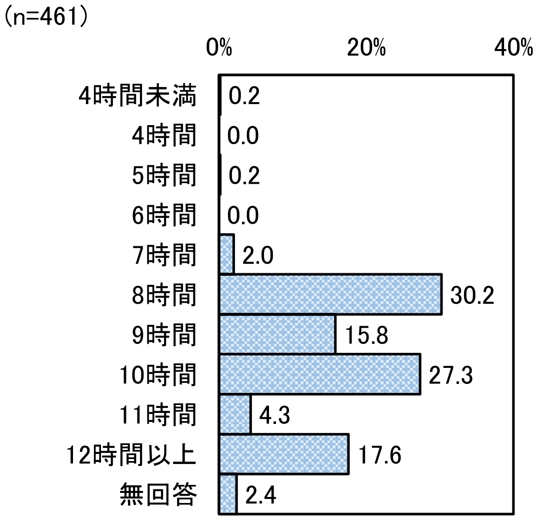
就労している父親の１週あたりの就労日数は、「5 日」が 70.5％で最も多く、次いで「6 日」が 25.8％、「4 日」が 0.9％、「7 日」が 0.7％、「2 日」が 0.4％となっています。

また、１日あたりの就労時間は、「8 時間」が 30.2％で最も多く、次いで「10 時間」が 27.3％、「12 時間以上」が 17.6％、「9 時間」が 15.8％、「11 時間」が 4.3％となっています。

・１週あたりの就労日数



・１日あたりの就労時間



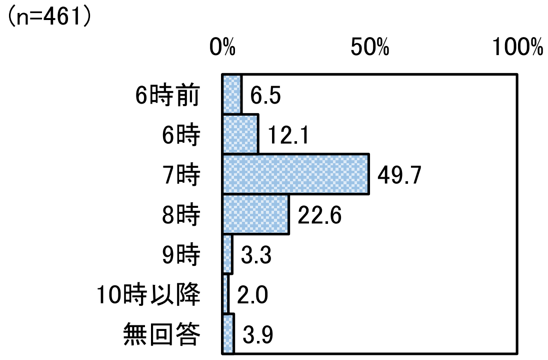
(6) 就労している父親の家を出る時刻・帰宅時刻

(2)で「1」～「4」に○をつけた方のみ
(2)－2　家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

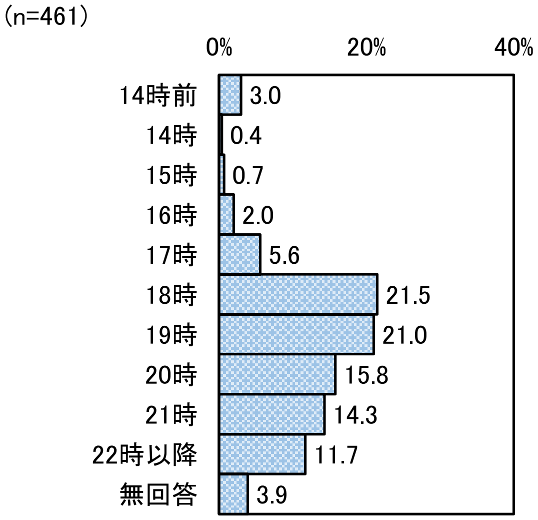
就労している父親の家を出る時刻は、「7 時」が 49.7％で最も多く、次いで「8 時」が 22.6％、「6 時」が 12.1％、「6 時前」が 6.5％、「9 時」が 3.3％となっています。

また、帰宅時刻は、「18 時」が 21.5％で最も多く、次いで「19 時」が 21.0％、「20 時」が 15.8％、「21 時」が 14.3％、「22 時以降」が 11.7％となっています。

・家を出る時刻



・帰宅時刻

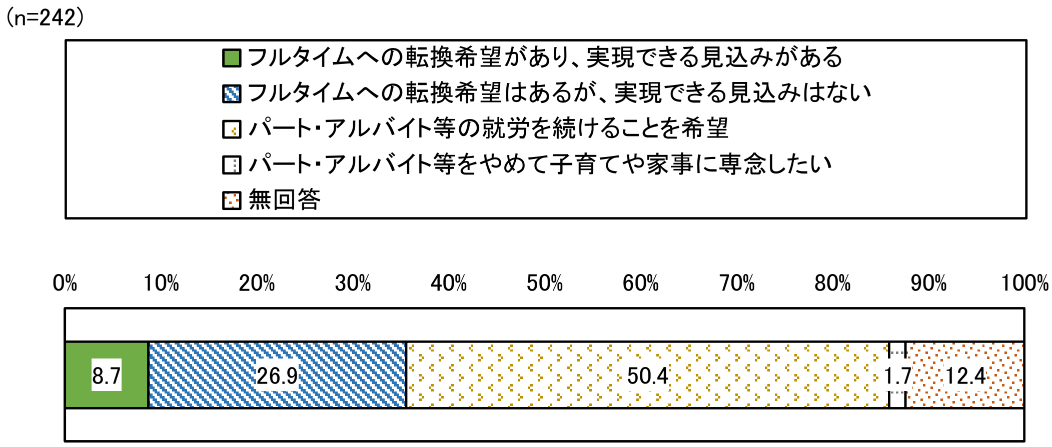


（7）パート･アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望

問 12 の（1）または（2）で「3」、「4」（パート･アルバイト等で就労）に〇をつけた方のみ

問 13　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに〇）

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 50.4％で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 26.9％、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.7％、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が 1.7％となっています。

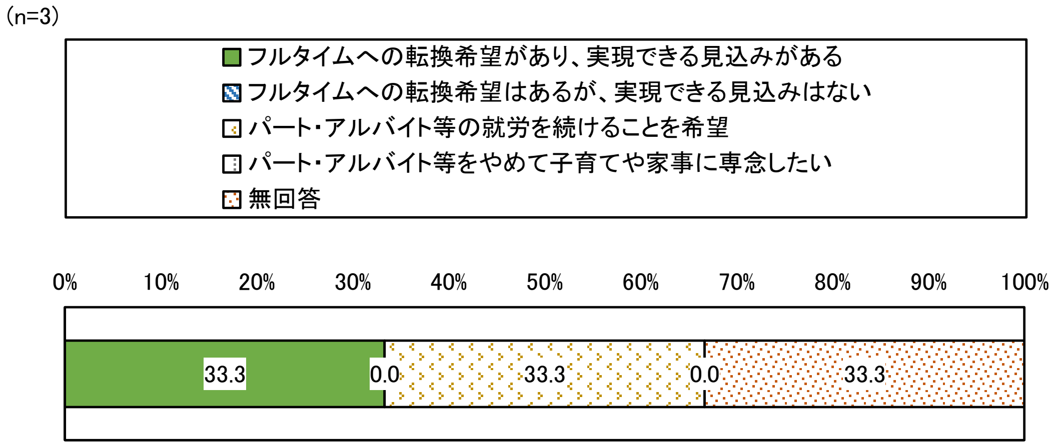


（8）パート･アルバイト等で働く父親のフルタイムへの転換希望

問 12 の（1）または（2）で「3」、「4」（パート･アルバイト等で就労）に〇をつけた方のみ

問 13　フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ1つに〇）

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」、「無回答」がともに 33.3％（3 名）となっています。

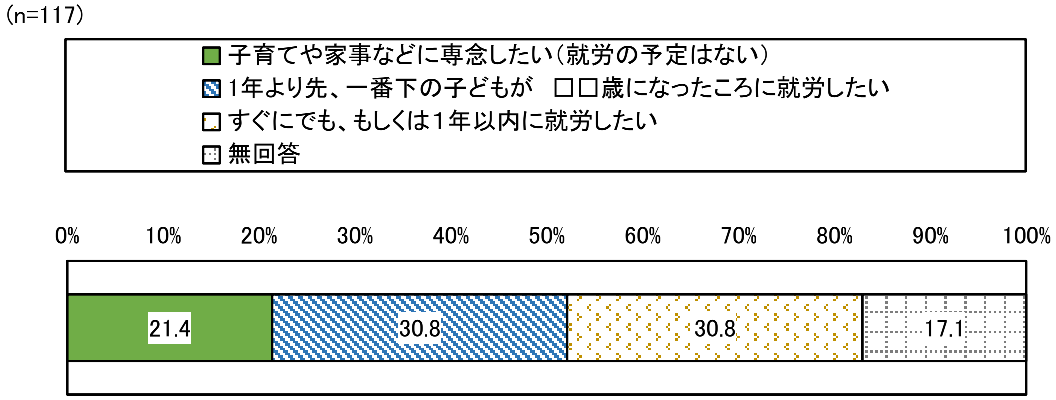


（9）就労していない母親の就労希望

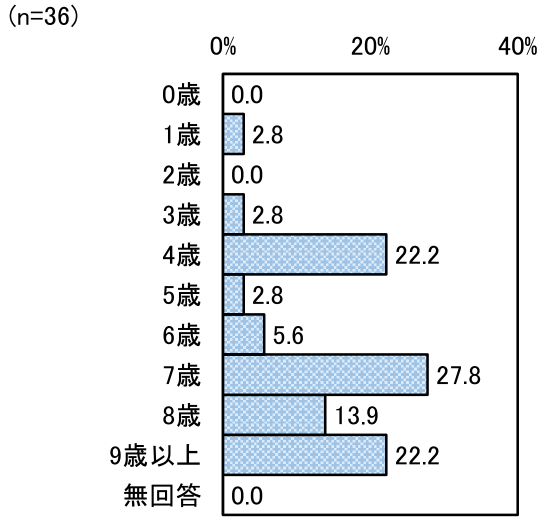
> 問 12 の（1）または（2）で「5」、「6」（就労していない）に〇をつけた方のみ
> 問 14　就労したいという希望はありますか。（それぞれ該当する番号・記号1つに○、該当する□内に記入）

就労していない母親の就労希望は、「1 年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」がともに 30.8%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 21.4%となっています。

なお、母親の就労希望時の下の子どもの年齢は、「7 歳」が 27.8%で最も多く、次いで「4 歳」、「9 歳以上」がともに 22.2%、「8 歳」が 13.9%、「6 歳」が 5.6%となっています。



・母親の就労希望時の下の子どもの年齢

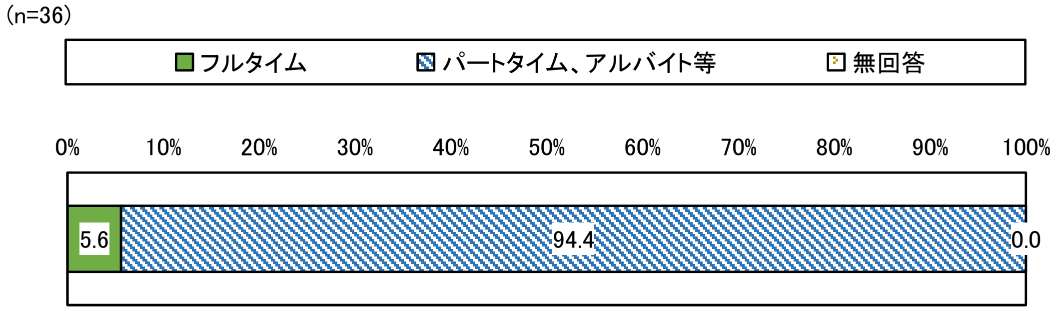


１年以内に就労したい母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が 94.4%、「フルタイム」が 5.6%となっています。

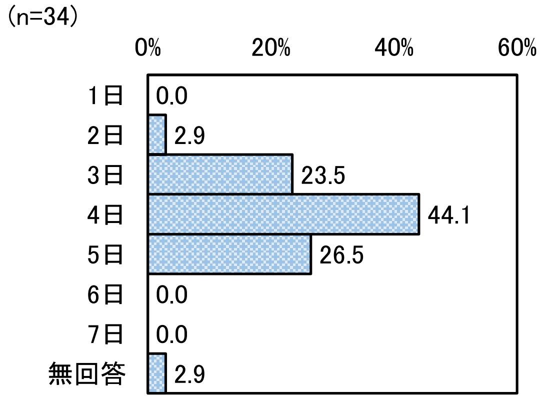
パートタイム、アルバイト等を希望する場合の１週当たりの就労日数は、「4 日」が 44.1%で最も多く、次いで「5 日」が 26.5%、「3 日」が 23.5%、「2 日」が 2.9%となっています。

また、１日当たりの就労時間は、「5 時間」が 41.2%で最も多く、次いで「4 時間」が 23.5%、「6 時間」が 23.5%、「7 時間」が 8.8%となっています。

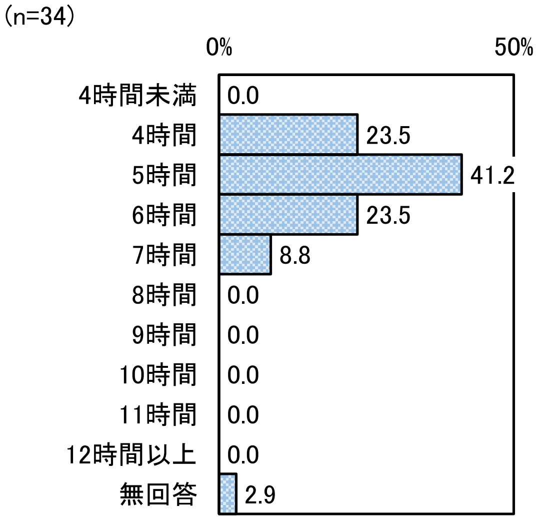
・希望する就労形態



・希望する１週あたりの就労日数



・希望する１日あたりの就労時間

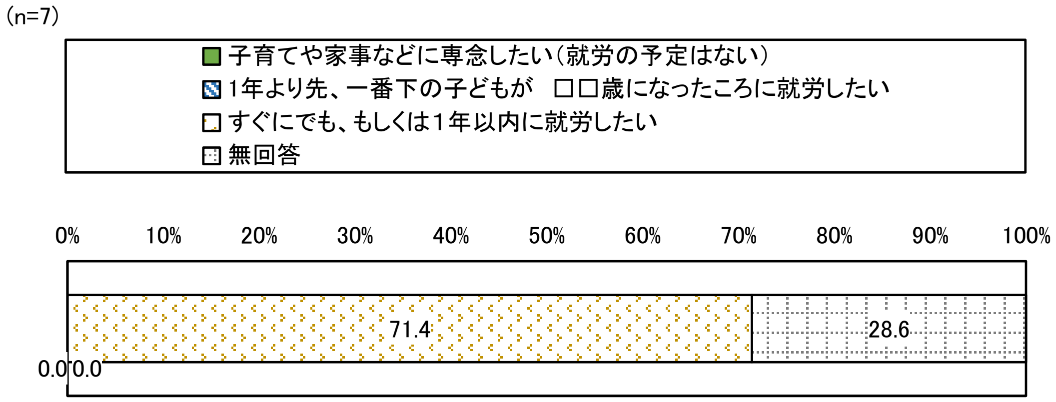


（10）就労していない父親の就労希望

問 12 の（1）または（2）で「5」、「6」（就労していない）に○をつけた方のみ
問 14　就労したいという希望はありますか。（それぞれ該当する番号・記号1つに○、該当する□内に記入）

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 71.4％で最も多くなっています。

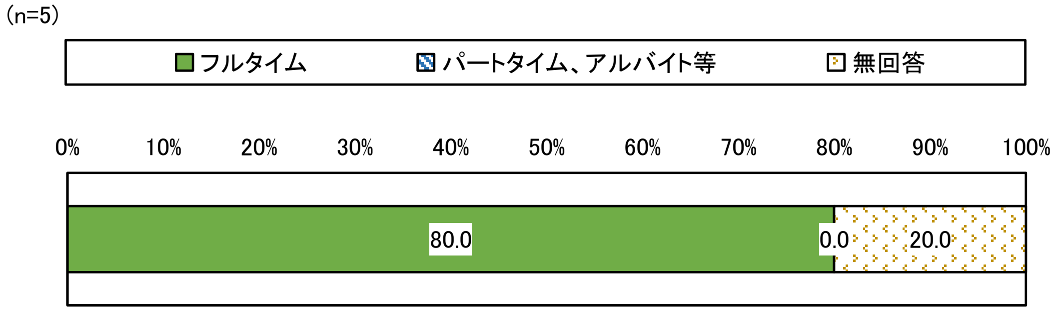
なお、父親の就労希望時の下の子どもの年齢についての回答は得られませんでした。



１年以内に就労したい父親が希望する就労形態は、「フルタイム」が 80.0％、「パートタイム、アルバイト等」が 0.0％となっています。

パートタイム、アルバイト等を希望する場合の１週当たりの就労日数、１日当たりの就労時間についての回答は得られませんでした。

・希望する就労形態

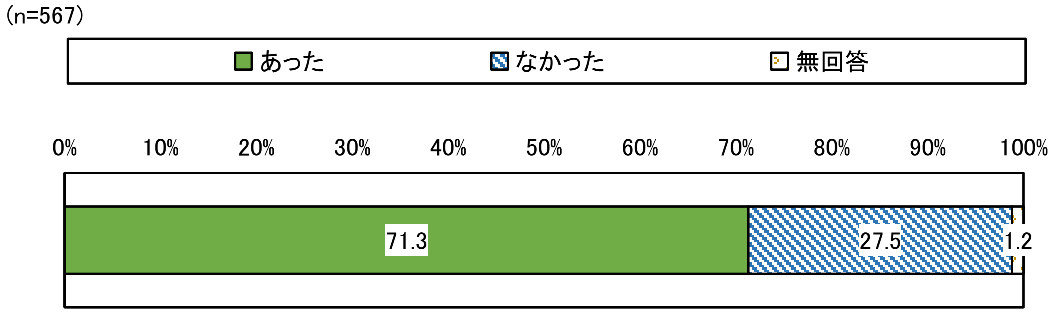


5　お子様の病気の際の対応について

（1）病気やケガで学校を休まなければならなかったこと

問 15　この１年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。
（1つに○）

子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことは、「あった」が 71.3%、「なかった」が 27.5%となっています。



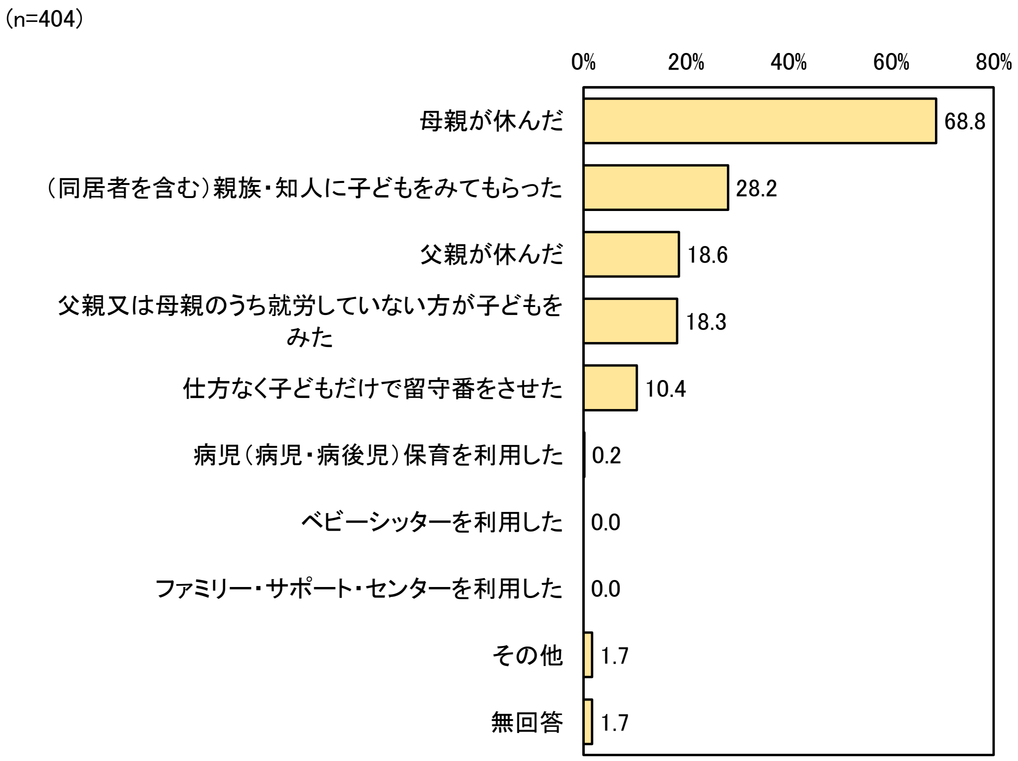
（2）学校を休んだり、預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法

問 15 で「1．あった」に○をつけた方のみ

問 15－1　お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお答えください。

事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が 68.8％で最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が 28.2％、「父親が休んだ」が 18.6％、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 18.3％、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 10.4％となっています。

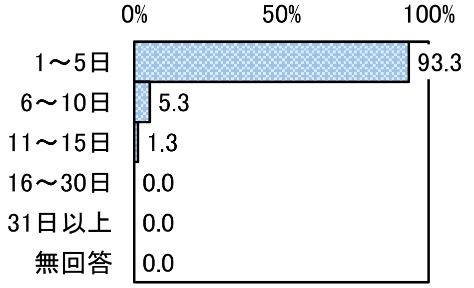
１年間の対処日数は、「1～5 日」が最も多くなっています。



【１年間の対処日数】

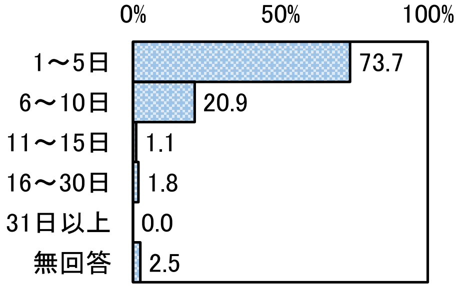
・父親が休んだ

（n=75）



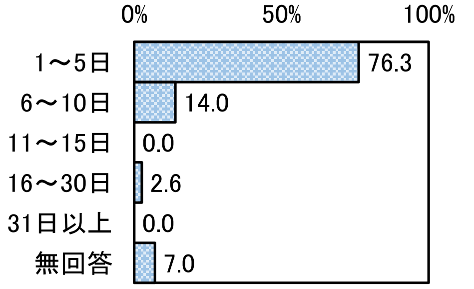
・母親が休んだ

（n=278）



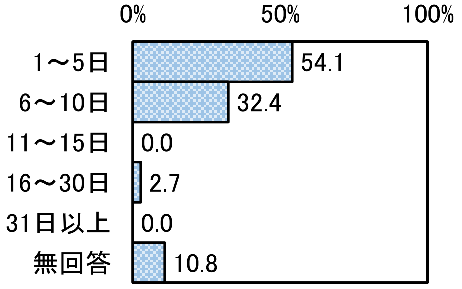
・親族・知人にみてもらった

（n=114）



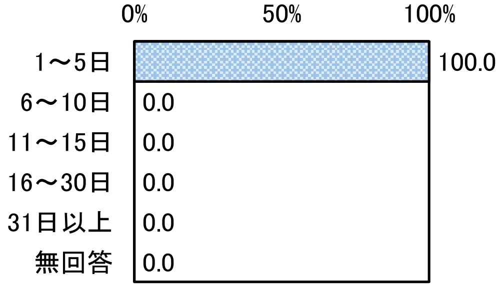
・父母のうち就労していない方が子どもをみた

（n=74）



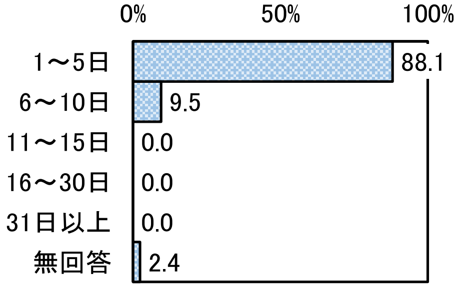
・病児・病後児の保育を利用した

（n=1）



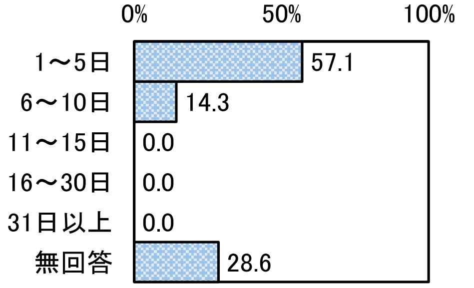
・子どもだけで留守番をさせた

（n=42）



・その他の対処

（n=7）



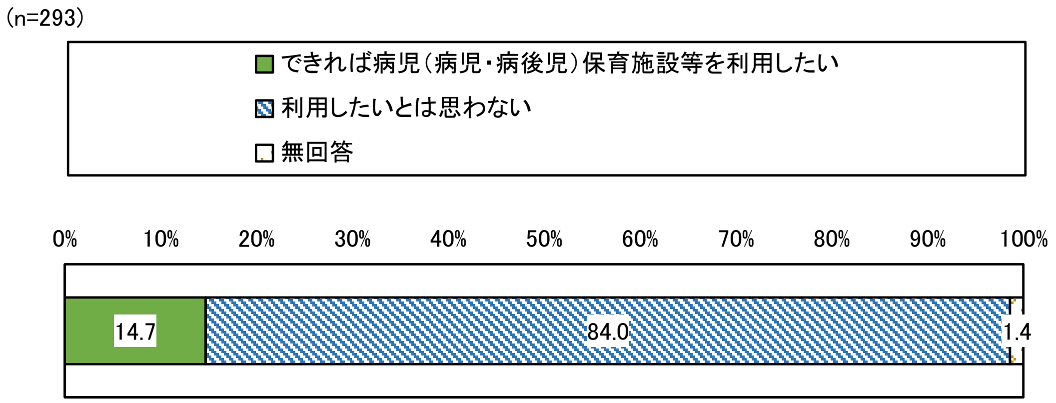
（3）病児・病後児保育施設等の利用希望

問 15ー1で「1．父親が休んだ」、「2．母親が休んだ」に〇をつけた方のみ

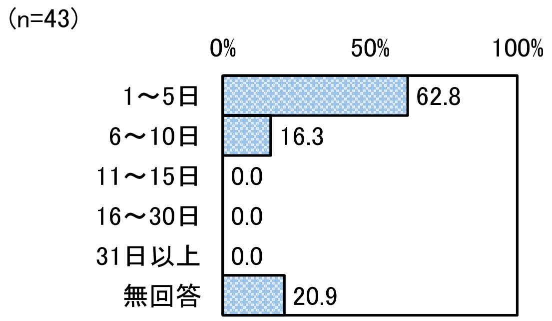
問 15－2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（1つに〇、日数を記入）

父親または母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が 84.0％、「できれば病児（病児・病後児）保育施設等を利用したい」が 14.7％となっています。

希望する病児・病後児保育施設等の１年間の利用日数は、「1～5 日」が 62.8％で最も多くなっています。



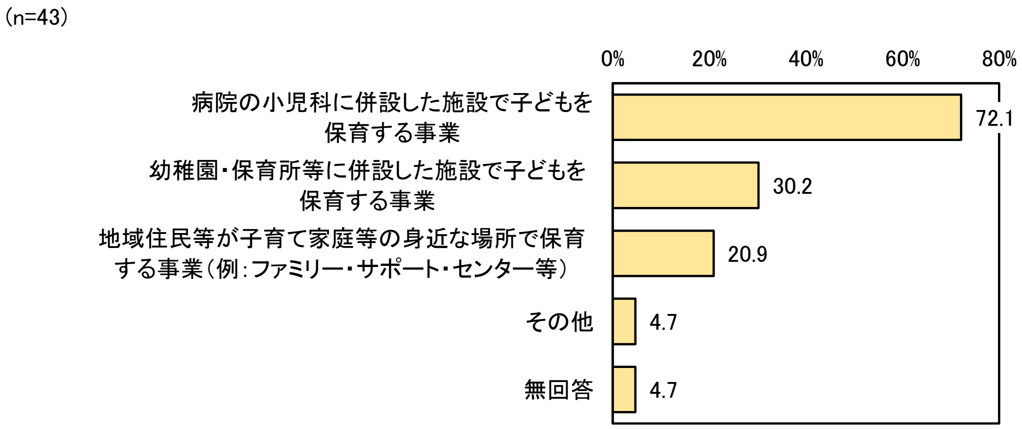
・１年間の利用日数



（4）病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問 15－2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ
問 15－3　上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
（あてはまるものすべてに○）

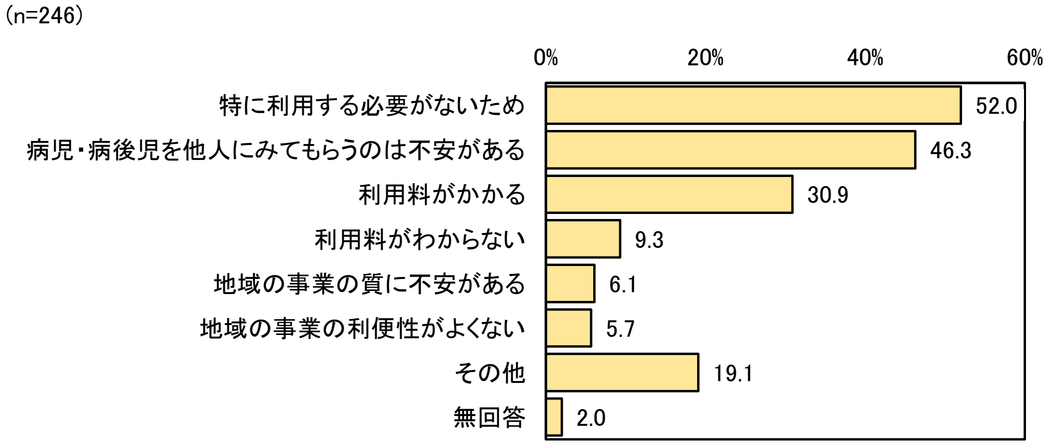
病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態は、「病院の小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 72.1％で最も多く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業 」が 30.2％、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 20.9％となっています。



（5）病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

問 15－2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ
問 15－4　利用したいとは思わない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「特に利用する必要がないため（親が仕事を休んで対応する）」が 52.0％で最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安がある」が 46.3％、「利用料がかかる（1 日当たり、2,000 円～3,000 円程度が一般的です）」が 30.9％、「利用料がわからない」が 9.3％となっています。



(6) 父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか

問 15－1で「3」～「9」に○をつけた方のみ

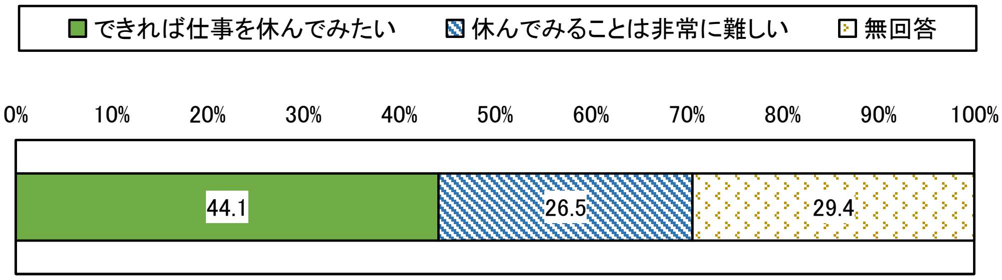
問 15－5　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。

（1つに○、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んでみたかった日数を数字で記入）

父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったかどうかは、「できれば仕事を休んでみたい」が 44.1%、「休んでみることは非常に難しい」が 26.5%となっています。

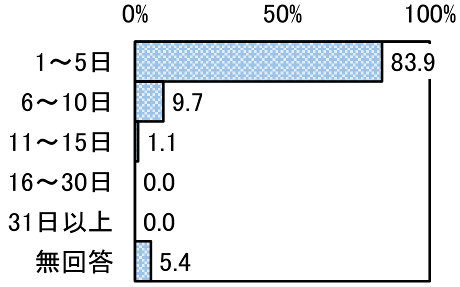
仕事を休んでみたい１年間の日数は、「1～5 日」が 83.9%で最も多くなっています。

(n=211)



・１年間の日数

(n=93)



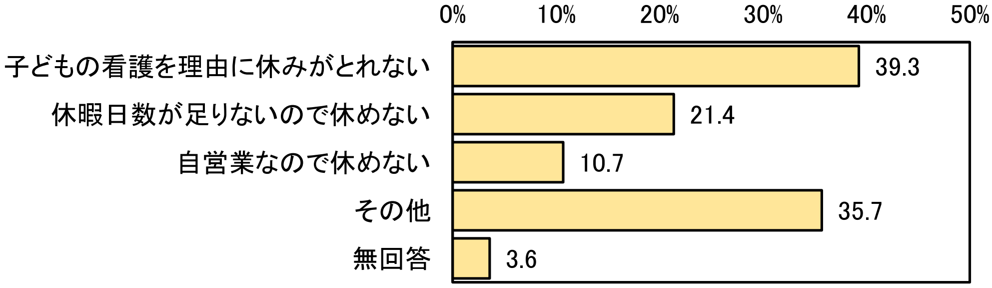
(7) 休んでみることが難しい理由

問 15－5で「2. 休んでみることは非常に難しい」に○をつけた方のみ

問 15－6　そう思われる理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

仕事を休んで、病児・病後児をみることは非常に難しいと思う理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 39.3%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 21.4%、「自営業なので休めない」が 10.7%となっています。

(n=56)



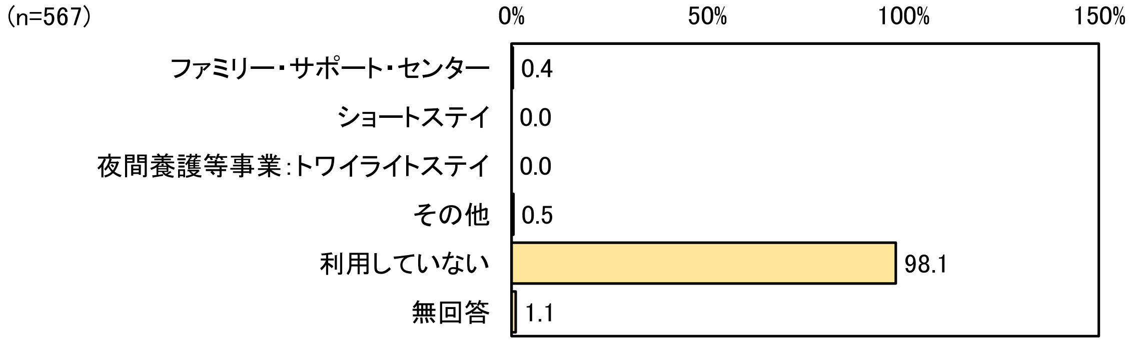
６　不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

（1）利用している不定期の教育・保育の事業

問 16　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
（あてはまるものすべてに○、１年間のおおよその利用日数を記入）

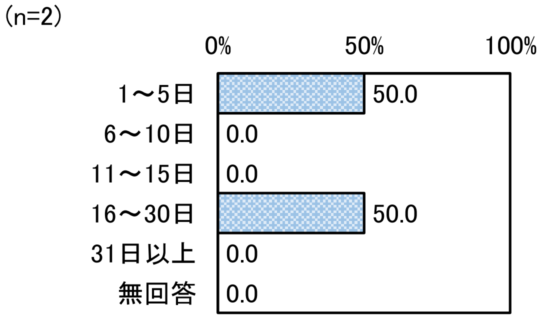
利用している不定期の教育・保育の事業は、「利用していない」が 98.1%で最も多く、次いで「その他」が 0.5%、「ファミリー・サポート・センター」が 0.4%となっています。

１年間の利用日数は、「ファミリー・サポート・センター」が「1～5 日」、「16～30 日」がともに 50.0%、「その他」が「1～5 日」、「6～10 日」、「31 日以上」がともに 33.3%となっています。

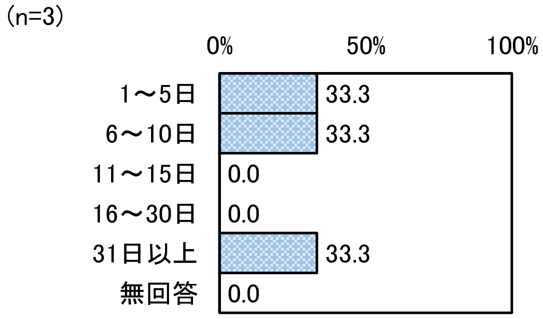


【１年間の利用日数】

・ファミリー・サポート・センター



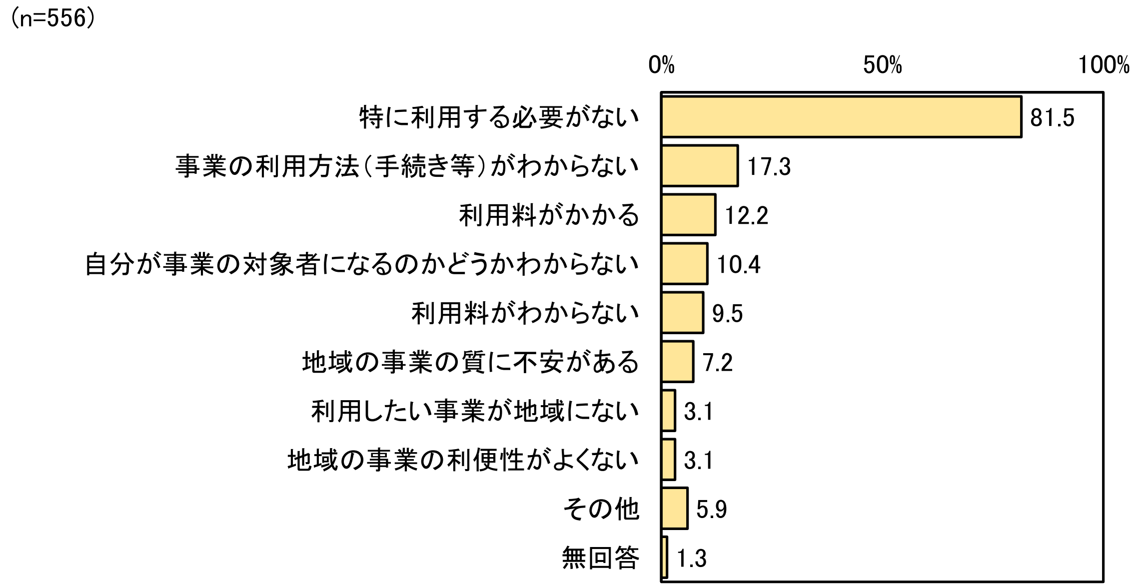
・その他



（2）不定期の教育・保育の事業を利用していない理由

問 16 で「7. 利用していない」に〇をつけた方のみ
問 16－1　現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

不定期の教育・保育の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 81.5％で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 17.3％、「利用料がかかる」が 12.2％、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が 10.4％、「利用料がわからない」が 9.5％となっています。



（3）私用等の目的での事業の利用希望

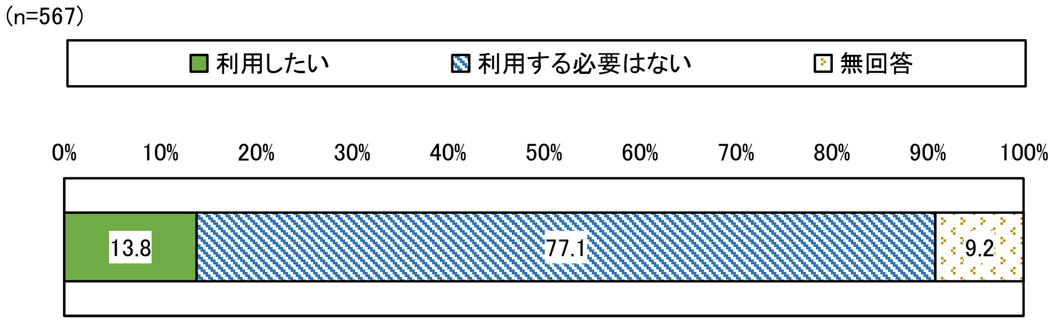
問 17 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（あてはまる番号・記号すべてに○、利用したい場合は日数の合計と目的別の内訳の日数を記入）

私用等の目的での事業の利用希望は､｢利用する必要はない｣が 77.1%､｢利用したい｣が 13.8%となっています。

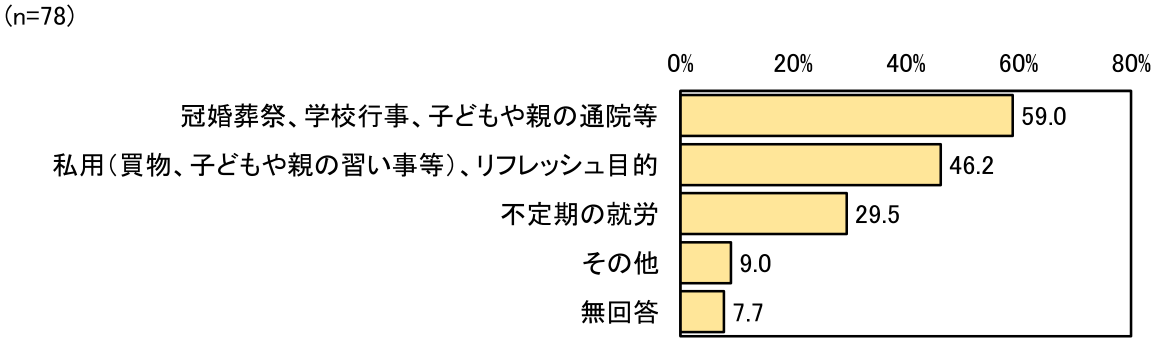
利用したい場合の１年間の合計日数は、「1～5 日」が 17.9%で最も多く、次いで「6～10 日」が 16.7%、「16～30 日」が 10.3%、「31 日以上」が 9.0%、「11～15 日」が 6.4%となっています。

事業の利用目的は､「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 59.0%で最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 46.2%、「不定期の就労」が 29.5%となっています。

また、それぞれ１年間に必要な日数は､「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」のみ「6～10 日」が最も多くなっています。

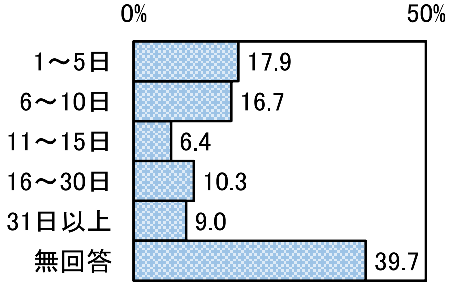


・事業の利用目的



・利用したい場合の１年間の合計日数

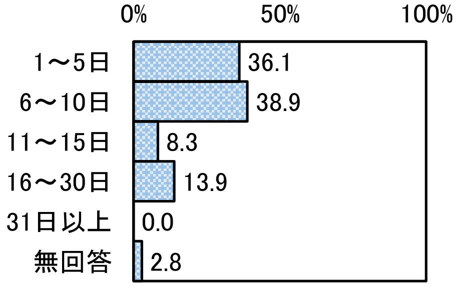
（n=78）



【１年間に必要な日数】

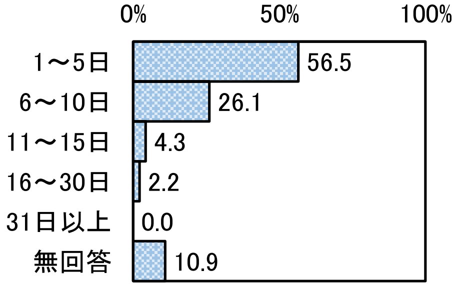
・私用、リフレッシュ目的

（n=36）



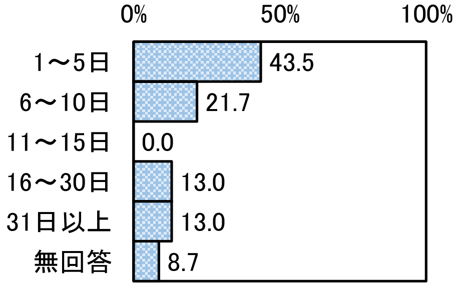
・冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

（n=46）



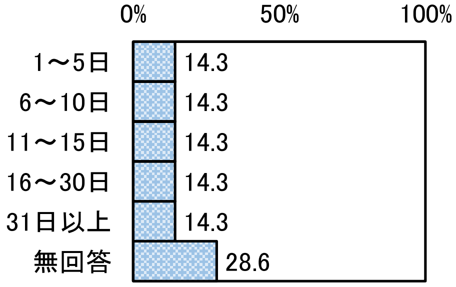
・不定期の就労

（n=23）



・その他の目的

（n=7）



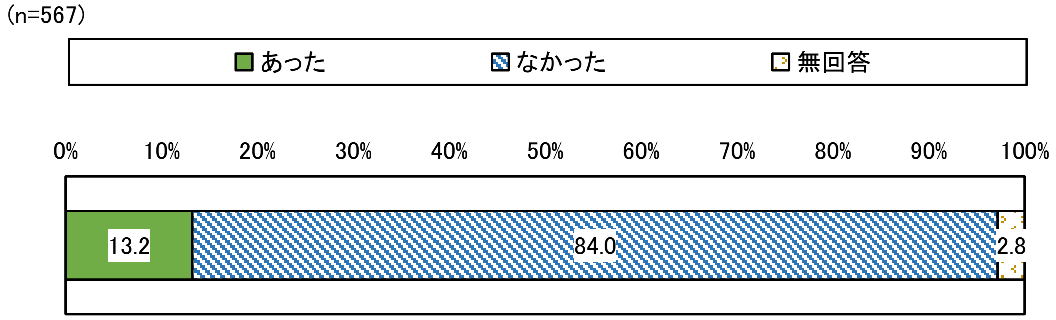
（4）子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったこと

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないこと（預け先が見つからなかった場合も含みます）はありましたか。（あてはまる番号・記号すべてに○、あった場合はそれぞれの日数を記入）

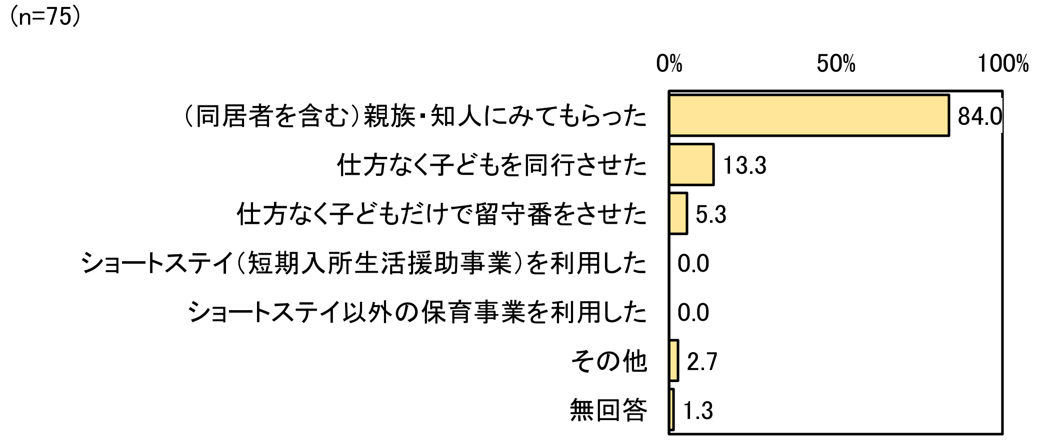
この１年間に、保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことは、「なかった」が 84.0%、「あった」が 13.2%となっています。

対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 84.0%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が 13.3%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 5.3%となっています。

１年間の対処泊数は、「1～5 泊」が最も多くなっています。



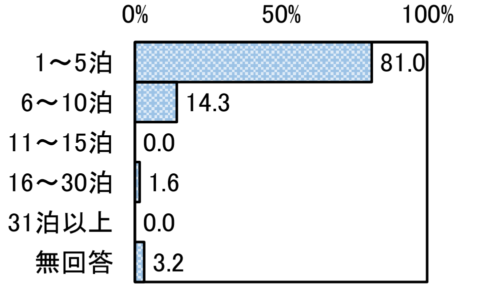
・対処方法



【１年間の対処泊数】

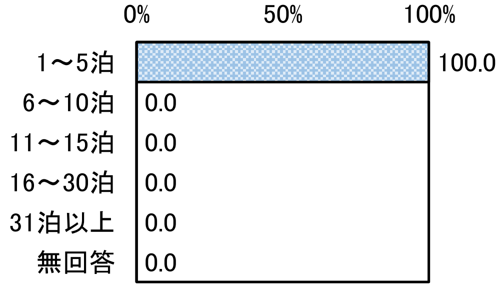
・親族・知人にみてもらった

（n=63）



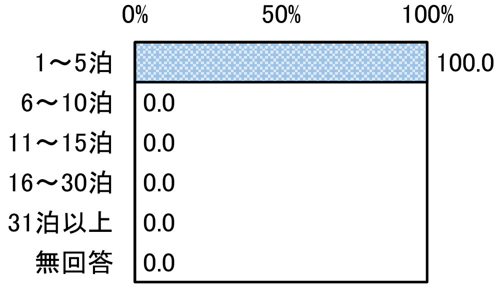
・子どもを同行させた

（n=10）



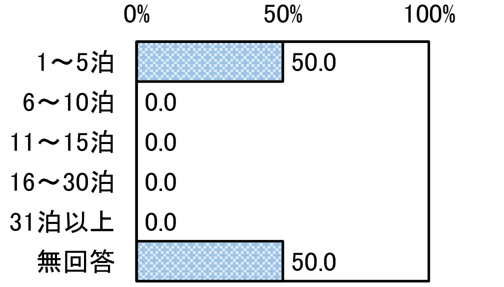
・子どもだけで留守番をさせた

（n=4）



・その他の対処

（n=2）



7　小学校就学後の放課後の過ごし方について

（1）希望する低学年時の放課後の過ごし方

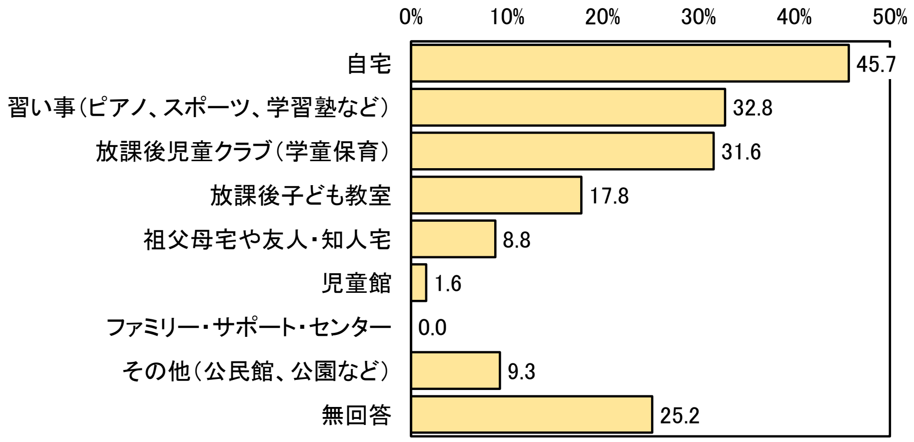
小学校低学年（1，3年生）の方のみお答えください

問 19　お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）時間をどのような場所で過ごしていますか。
（あてはまるものすべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6．放課後児童クラブ（学童保育）」、「7．ファミリー・サポート・センター」の場合には利用を希望する時間を記入）

希望する低学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が 45.7％で最も多く、次いで「習い事（ピアノ、スポーツ、学習塾など）」が 32.8％、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 31.6％、「放課後子ども教室」が 17.8％、「その他（公民館、公園など）」が 9.3％となっています。

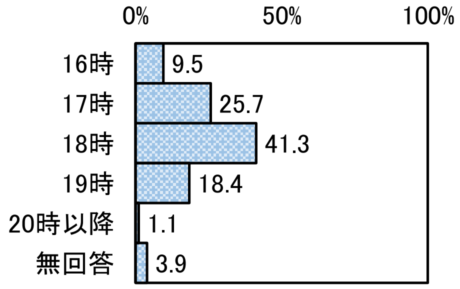
放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18 時」が 41.3％で最も多くなっています。

(n=567)



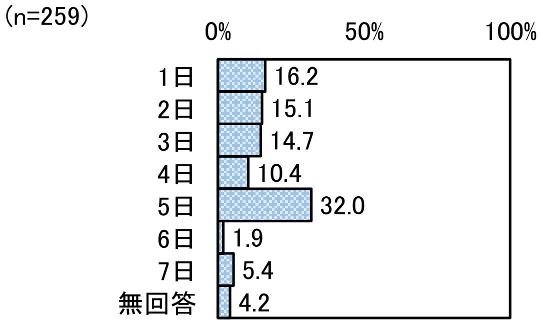
・放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

(n=179)

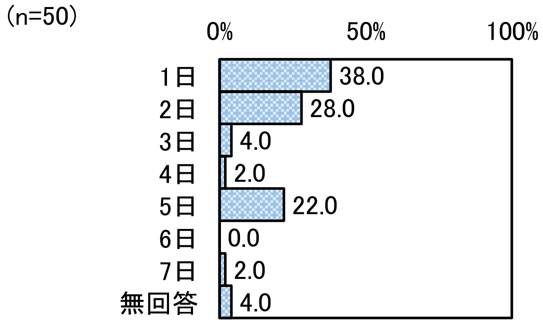


【１週あたりの利用日数】

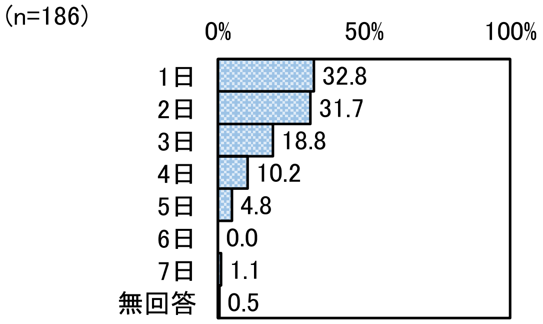
・自宅



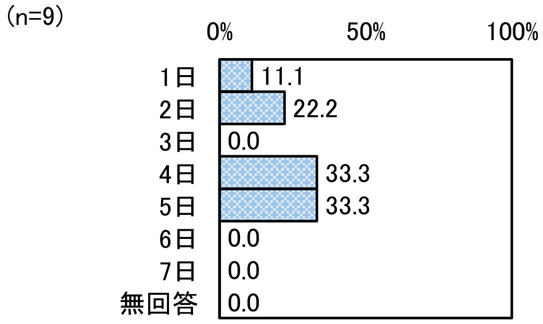
・祖父母宅や友人・知人宅



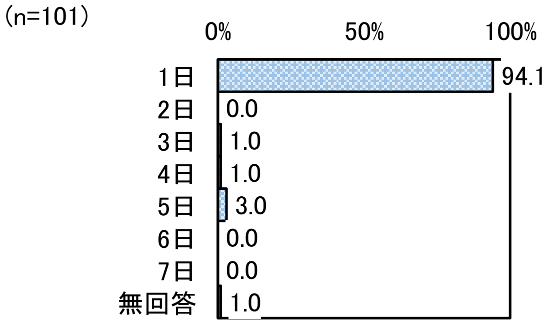
・習い事



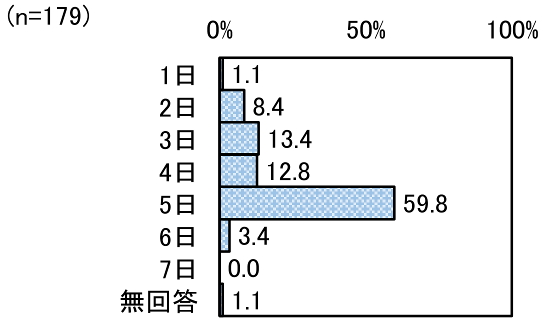
・児童館



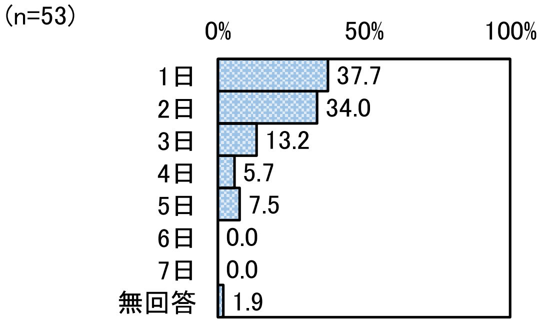
・放課後子ども教室



・放課後児童クラブ（学童保育）



・その他（公民館、公園など）



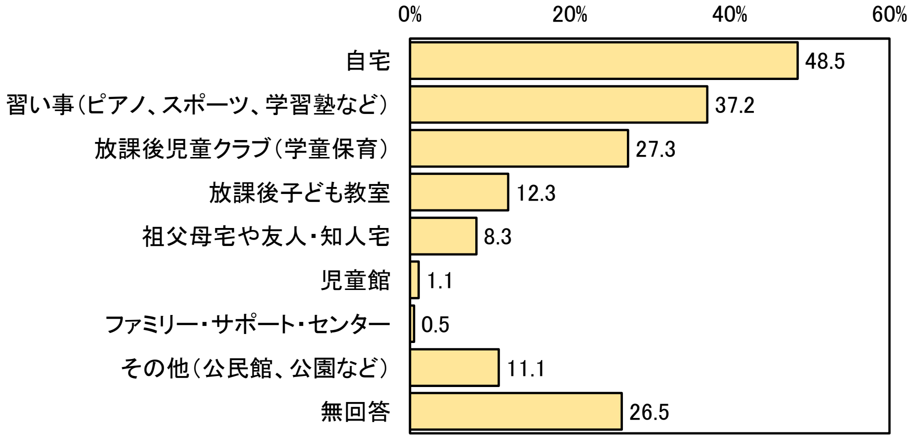
（2）希望する高学年時の放課後の過ごし方

問 20　お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」、「7. ファミリー・サポート・センター」の場合には利用を希望する時間を記入）

希望する高学年時の放課後の過ごし方は、「自宅」が 48.5％で最も多く、次いで「習い事（ピアノ、スポーツ、学習塾など）」が 37.2％、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 27.3％、「放課後子ども教室」が 12.3％、「その他（公民館、公園など）」が 11.1％となっています。

放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18 時」が 43.2％で最も多く、ファミリー・サポート・センターの利用終了時刻は、「19 時」が 66.7％で最も多くなっています。

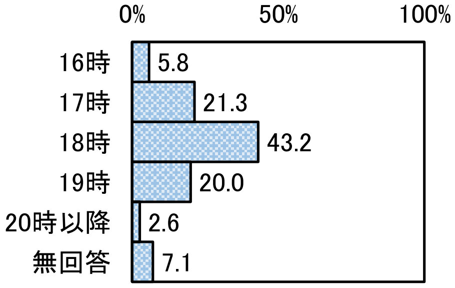
(n=567)



【利用終了時刻】

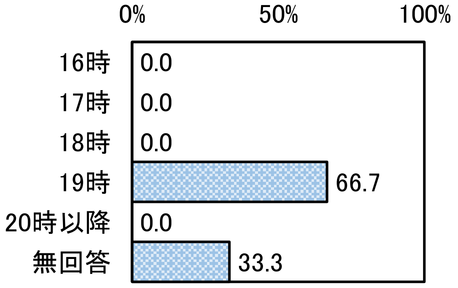
・放課後児童クラブ（学童保育）

(n=155)



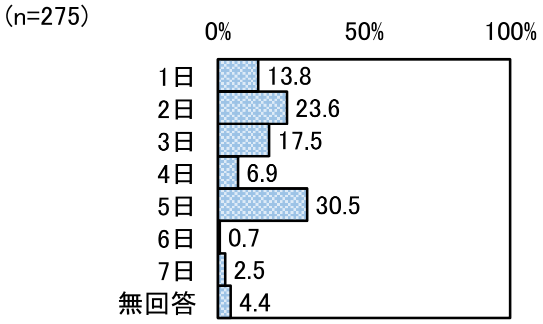
・ファミリー・サポート・センター

(n=3)

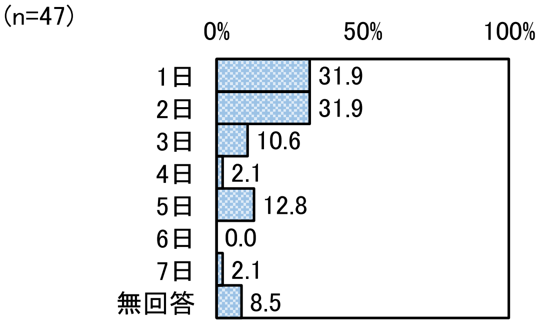


【１週あたりの利用日数】

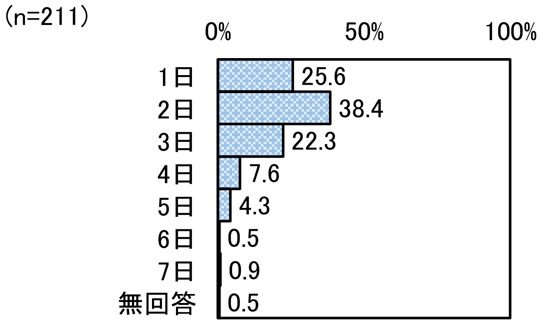
・自宅



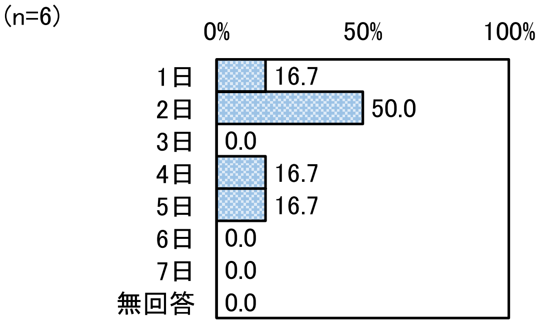
・祖父母宅や友人・知人宅



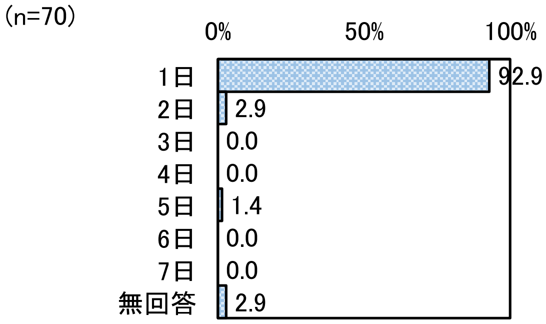
・習い事



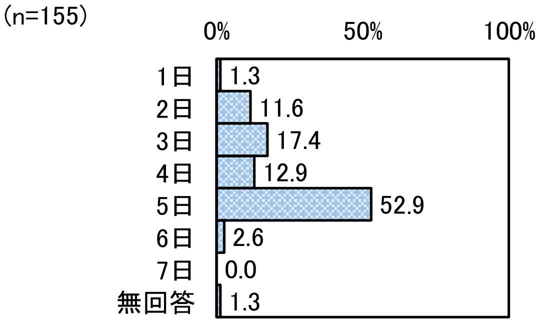
・児童館



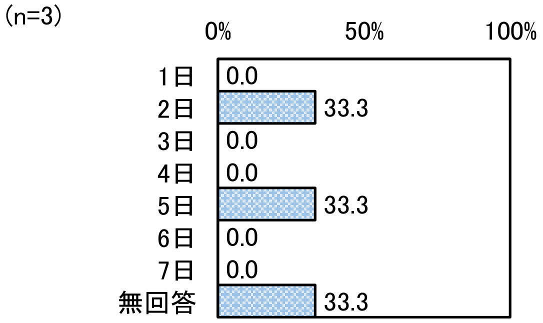
・放課後子ども教室



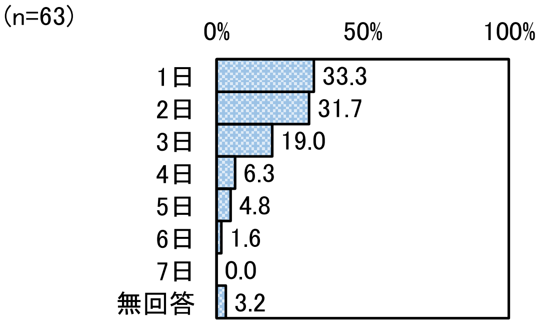
・放課後児童クラブ（学童保育）



・ファミリー・サポート・センター



・その他（公民館、公園など）

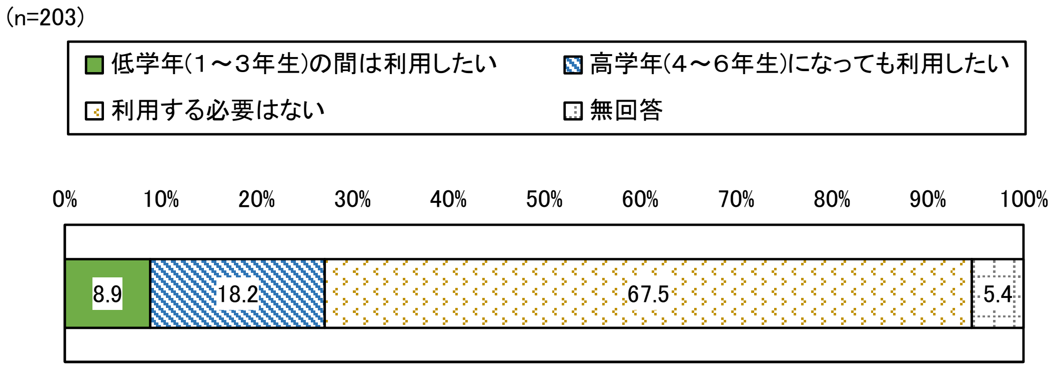


（3）土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

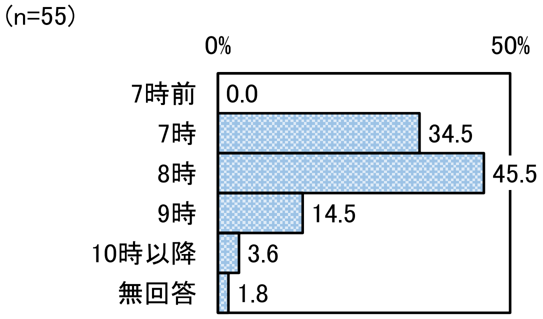
問 19 または問 20 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方のみ
問 21　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。(それぞれ1つに○、利用したい場合は時間帯を記入)

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「利用する必要はない」が 67.5%で最も多く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 18.2%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 8.9%となっています。

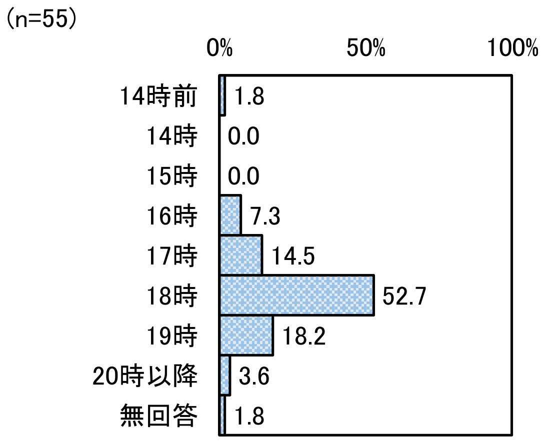
希望する利用開始時刻は「8 時」が 45.5%で最も多く、利用終了時刻は「18 時」が 52.7%で最も多くなっています。



・利用開始時刻



・利用終了時刻



（4）日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望

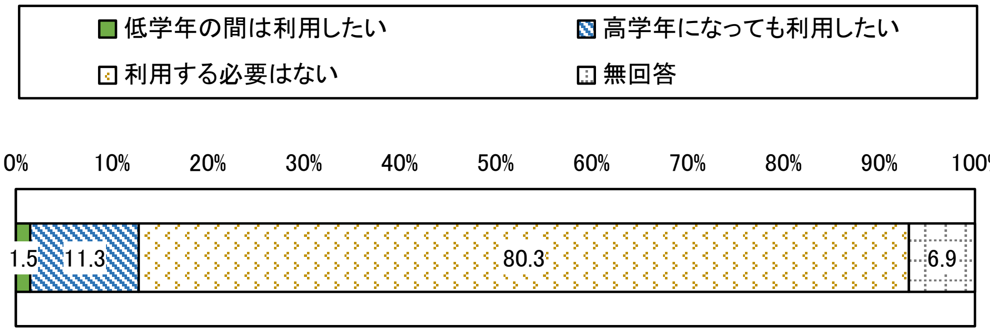
問 19 または問 20 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

問 21　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。（それぞれ１つに○、利用したい場合は時間帯を記入）

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が 80.3％で最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が 11.3％、「低学年の間は利用したい」が 1.5％となっています。

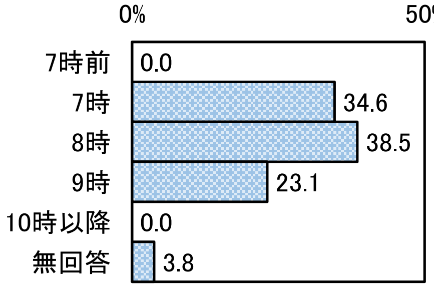
希望する利用開始時刻は「8 時」が 38.5％で最も多く、利用終了時刻は「18 時」が 57.7％で最も多くなっています。

（n=203）



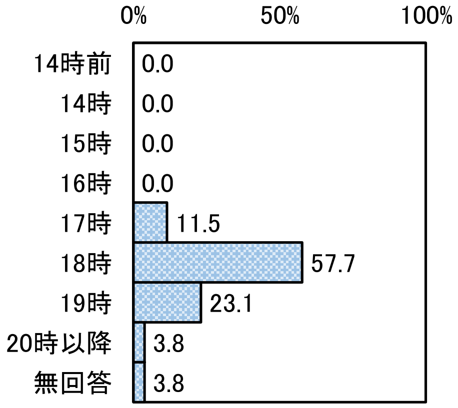
・利用開始時刻

（n=26）



・利用終了時刻

（n=26）



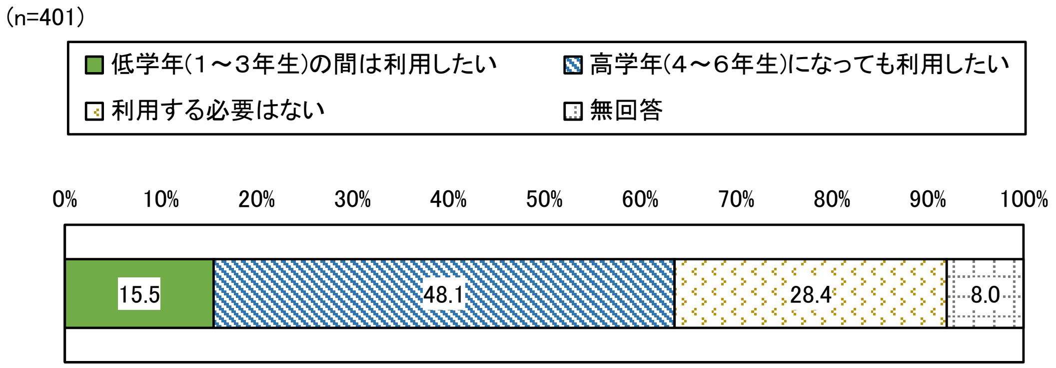
(5) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望

【すべての方】 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について

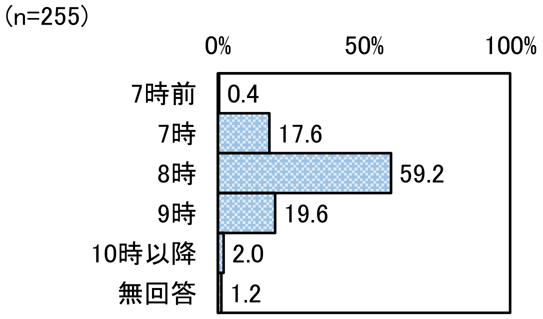
問 22　お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 48.1％で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 28.4％、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 15.5％となっています。

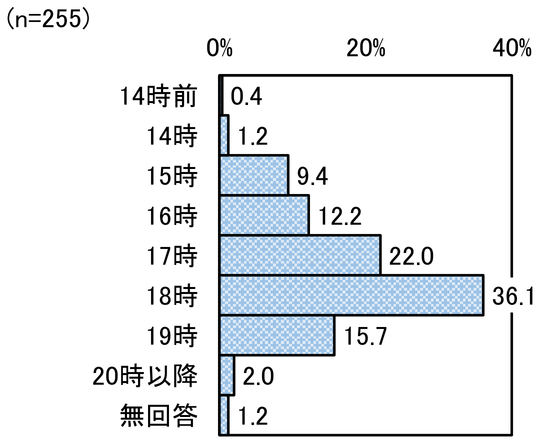
希望する利用開始時刻は「8 時」が 59.2％で最も多く、利用終了時刻は「18 時」が 36.1％で最も多くなっています。



・利用開始時刻



・利用終了時刻



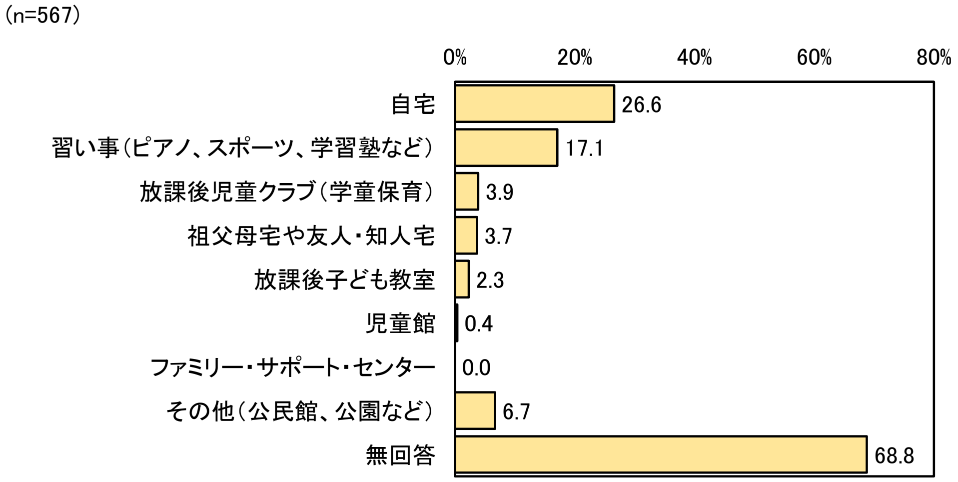
（6）現在の放課後の過ごし方

小学校高学年(5 年生)の方のみお答えください

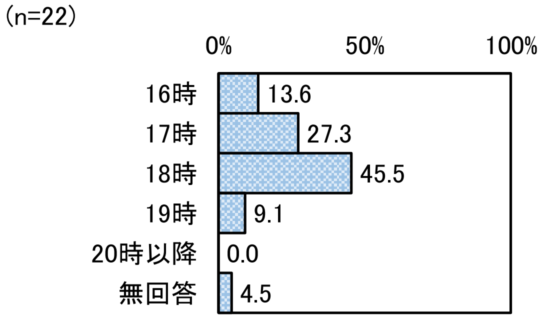
問 23　お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)時間をどのような場所で過ごしていますか。
（あてはまるものすべてに○、希望する週あたりの日数を記入、「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」、「7. ファミリー･サポート･センター」の場合には利用を希望する時間を記入）

現在の放課後の過ごし方は、「自宅」が 26.6％で最も多く、次いで「習い事（ピアノ、スポーツ、学習塾など）」が 17.1％、「その他（公民館、公園など）」が 6.7％、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 3.9％、「祖父母宅や友人・知人宅」が 3.7％となっています。

放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻は、「18 時」が 45.5％で最も多くなっています。

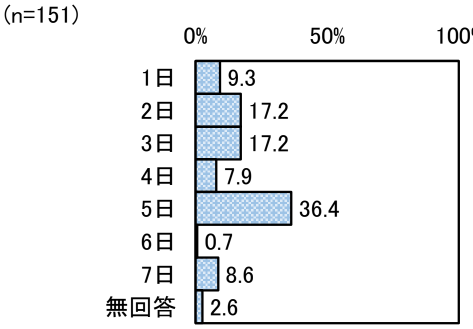


・放課後児童クラブ（学童保育）の利用終了時刻

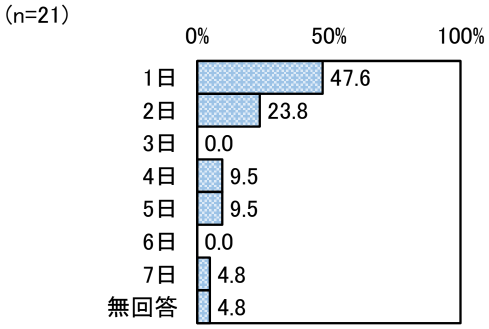


【１週あたりの利用日数】

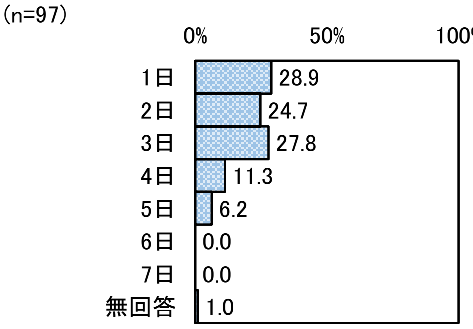
・自宅



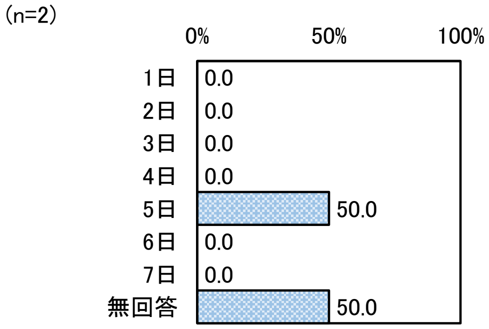
・祖父母宅や友人・知人宅



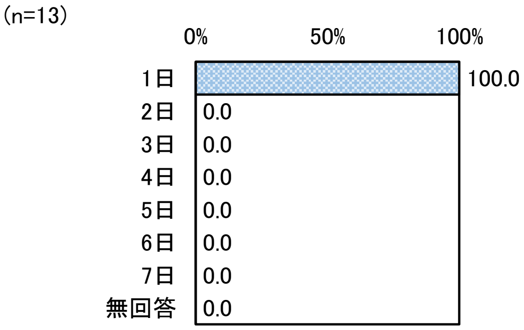
・習い事



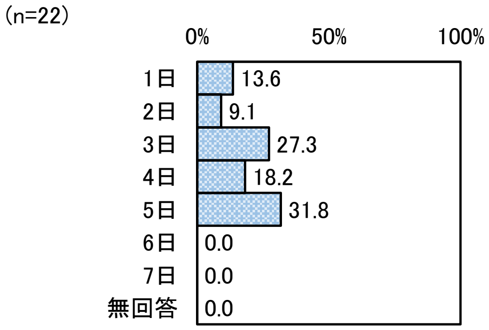
・児童館



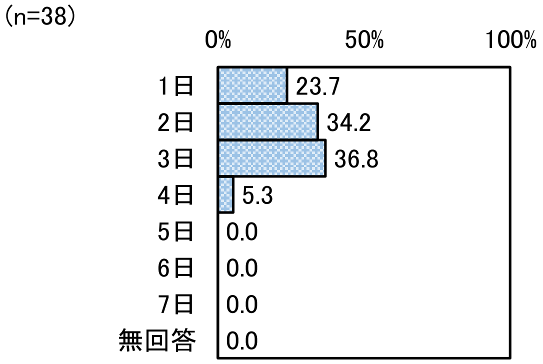
・放課後子ども教室



・放課後児童クラブ（学童保育）



・その他（公民館、公園など）

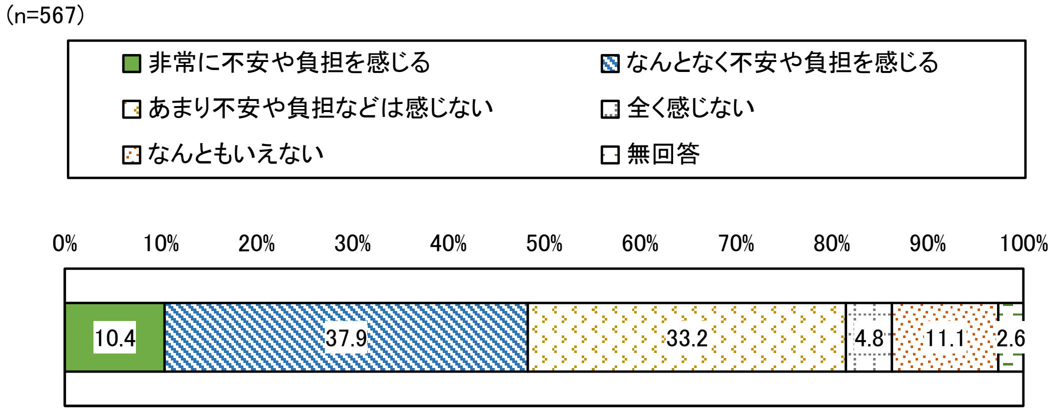


8　子育て支援施策全般について

(1) 子育てに関しての不安感や負担感

問 24　子育てに関して不安感や負担感などを感じていますか。（1つに○）

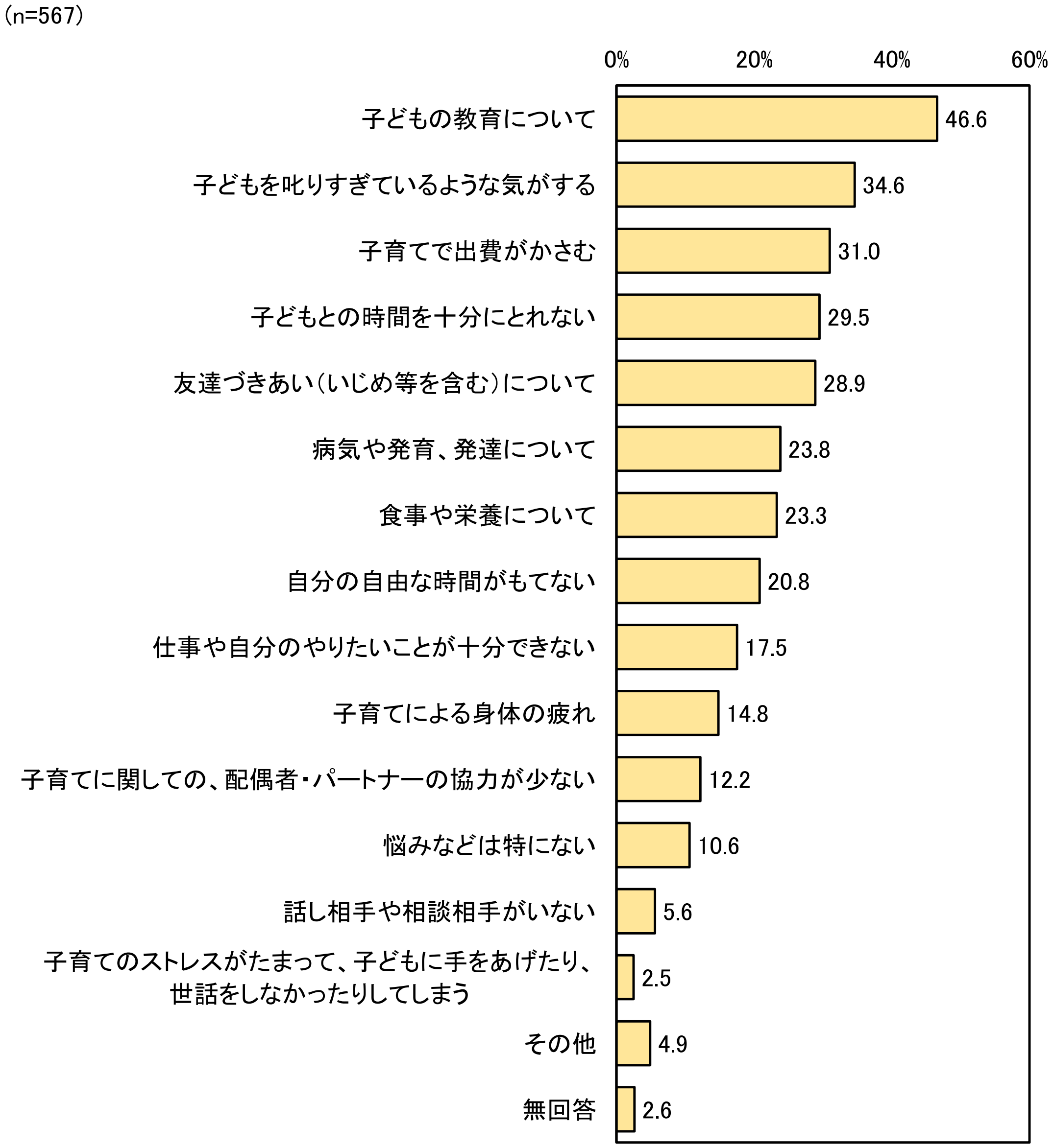
子育てに関しての不安感や負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 37.9%で最も多く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 33.2%、「なんともいえない」が 11.1%、「非常に不安や負担を感じる」が 10.4%、「全く感じない」が 4.8%となっています。



（2）子育てに関する悩み・気になること

問 25　子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

　子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることについては、「子どもの教育について」が 46.6％で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が 34.6％、「子育てで出費がかさむ」が 31.0％、「子どもとの時間を十分にとれない」が 29.5％、「友達づきあい（いじめ等を含む）について」が 28.9％となっています。



(3) 阿見町の子育て環境について

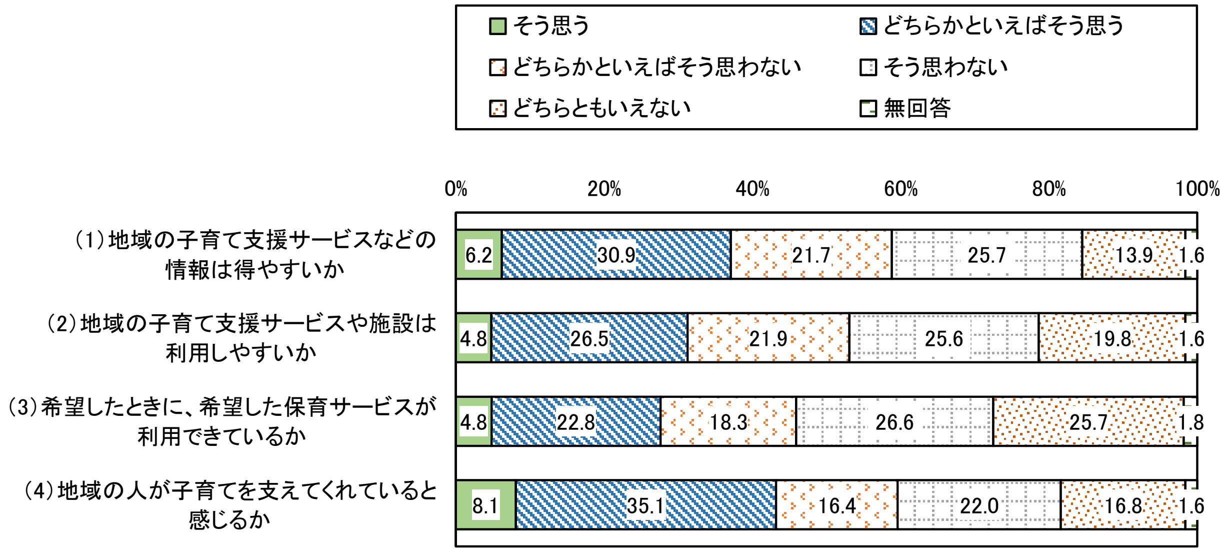
問 26 阿見町の子育て環境について、どのように感じていますか。(1)～(4)のそれぞれについて、あてはまる答えの番号に１つだけ○をつけてください。

阿見町の子育て環境について感じていることを、『思う』(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計) を多い順にみると、「(４) 地域の人が子育てを支えてくれていると感じていますか」(43.2%)、「(１) 地域の子育て支援サービスなどの情報は得やすいと思いますか」(37.1%)、「(２) 地域の子育て支援サービスや施設は利用しやすいと思いますか」(31.3%)、「(３) 希望したときに、希望した保育サービスが利用できていると思いますか」(27.6%) となっています。

一方、『思わない』(「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の合計) では、多い順に、「(２) 地域の子育て支援サービスや施設は利用しやすいと思いますか」(47.5%)、「(１) 地域の子育て支援サービスなどの情報は得やすいと思いますか」(47.4%)、「(３) 希望したときに、希望した保育サービスが利用できていると思いますか」(44.9%)、「(４) 地域の人が子育てを支えてくれていると感じていますか」(38.4%) となっています。

・地域の子育て支援サービスについて感じていること

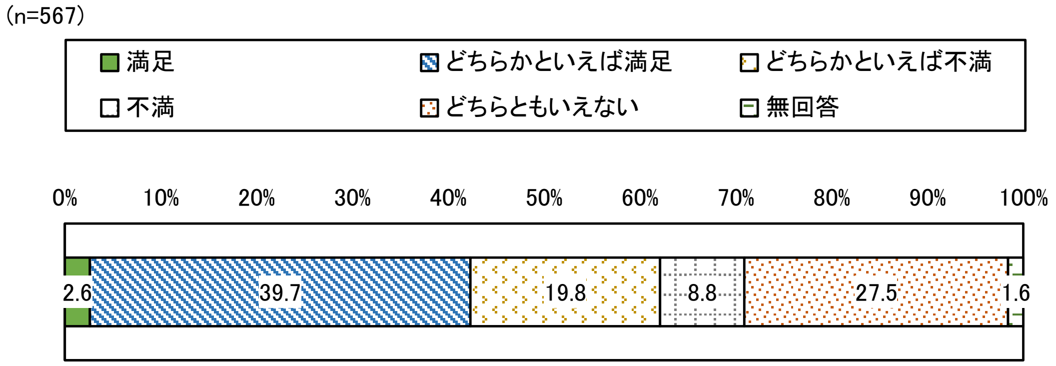
(n=235)



（4）子育ての環境や支援への満足度

問 27 阿見町における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（1つに○）

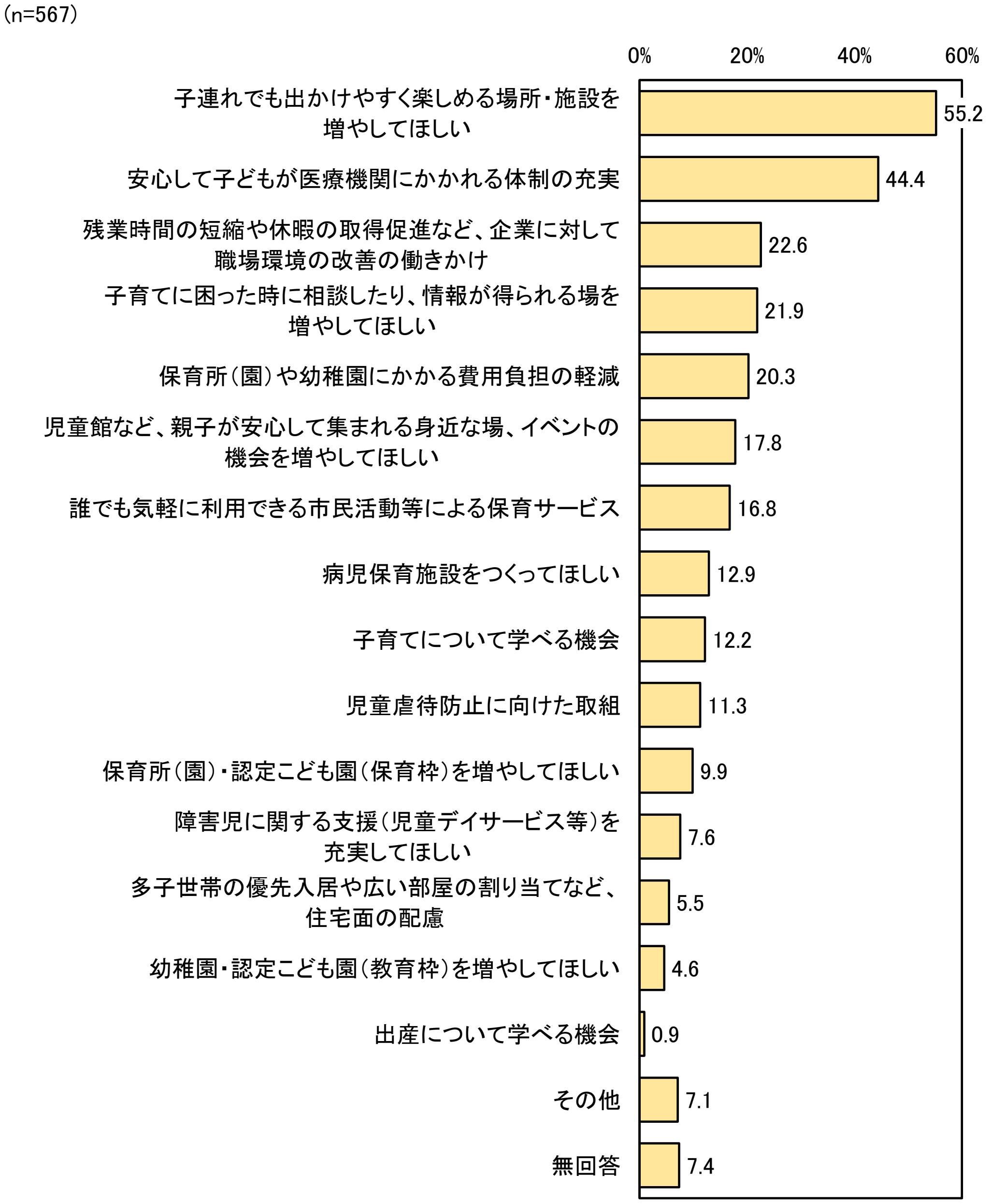
阿見町における子育ての環境や支援への満足度は、「どちらかといえば満足」が 39.7%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 27.5%、「どちらかといえば不満」が 19.8%、「不満」が 8.8%、「満足」が 2.6%となっています。



(5) 阿見町に期待する子育て支援

問 28　阿見町に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。
（あてはまるものすべてに○）

阿見町に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいかについては、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所・施設を増やしてほしい」が 55.2%で最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」が 44.4%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけ」が 22.6%、「子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を増やしてほしい」が 21.9%、「保育所(園)や幼稚園にかかる費用負担の軽減」が 20.3%となっています。



子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書

発　行　阿見町　保健福祉部子ども家庭課
発行日　平成 31 年３月
住　所　〒300-0392
茨城県稲敷郡阿見町中央一丁目１番１号１
TEL　029-888-1111
Fax　029-887-9560